Victor
"HIS MASTER'S VOICE"

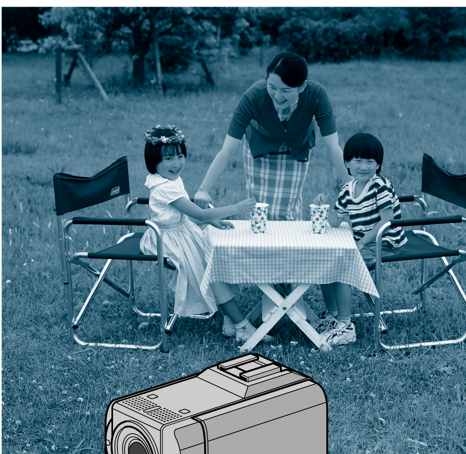
取扱説明書

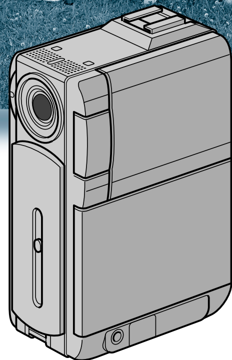
デジタルビデオカメラ

型名 GR-DVP3

Mini DV NTSC i. DSC DIGITAL STILL CAMERA









e-movie!

お買い上げありがとうございます。

⚠ ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」（16～26ページ）は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LYT0812-001B

目 次

はじめに

これだけは知っておこう編

目 次

その他

索引

はじめに

本書の読み方

取扱説明書は、デジタルビデオカメラの使い方に応じて 8 つの編に分かれています。

■ これだけは知っておこう編

ビデオカメラの各部の名前から、はじめて使うときの準備、ビデオの撮影や再生の基本的な手順を説明します。お買い上げ後にはじめて使うときは、必ずお読みください。

■ 撮影・初級テクニック編

操作は簡単でも効果が大きい、知っていると便利な機能について説明します。『これだけは知っておこう編』の操作に慣れてから、お読みください。

■ 撮影・上級テクニック編

画像の明るさや画面の色のバランスを手動で調節する方法や、ビデオ撮影中にさまざまな効果を挿入する方法などを説明します。

■ 再生を工夫しよう編

静止画の一覧表示の方法や、テープからメモリーカードへの画像のコピーを説明します。また、再生時の映像に変化をつける方法を説明します。

■ ビデオを編集してみよう編

撮影したビデオを編集して、個性的な作品に仕上げるための機能について説明します。また、パソコンへ映像をコピーするために必要な USB ドライバソフトウェアのインストール方法を説明します。

■ 設定を変えて使いこなそう編

ビデオカメラには、上記の編では説明しきれない数多くの機能があります。この編では、各種機能の設定について説明します。

■ その他

故障かなと思ったときの対処方法や、使用上のご注意、日常のお手入れ、主な仕様などについて記載しています。

■ 索引

五十音順索引のほか、メニュー一覧、画面表示の見方を記載しています。

著作権について

あなたがビデオカメラで録画、録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、鑑賞や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場所がありますのでご注意ください。

記号の意味

本文中には、次の記号が使われています。



操作上の注意などが書かれています。

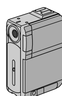


使用上の制限や、知っていると便利な内容が書かれています。


使用中に起こりうるトラブルや、トラブルのように見える現象について書かれています。


関連するページを示しています。

ページの上部または右下には、次の記号が使われています。


ビデオ撮影にのみ関わる操作を説明するページです。

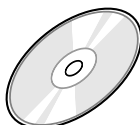

静止画の撮影にのみ関わる操作を説明するページです。

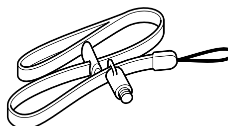


次のページに説明が続きます。

付属品について

付属品をお確かめください。


ソフトウェア CD-ROM


ストラップ

はじめに

こんなことができます

世界最小、最軽量の フルフラットボディ

世界最小サイズで最軽量を実現（2001年3月現在）。凸凹のないフラットなボディは小さなカバンやポケットにも気軽に入れて持ち歩けるので、これまで以上に活躍の幅が広がります。

電子メールにも 添付できる －動画メモリー機能－

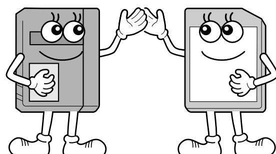
ビデオ映像をMPEG4ファイルとしてメモリーカードに保存できる、動画メモリー機能を搭載しました。メモリーカードからパソコンに取り込めば、電子メールに添付して送ることもできます（☞P.113）。

デジタルサウンドで ビデオ編集を さらに楽しく

アクセサリーキットのメモリーカードに、12種類のデジタルサウンド（効果音）を用意しました。アフレコ編集で、また撮影中に、音声にデジタルサウンドを挿入できます（☞P.100、141）。

ビデオはテープ、 静止画はカード

ビデオ（動画）はミニDVカセットテープに録画し、静止画はメモリーカード（MultiMediaCard、またはSD Memory Card）に保存します。ビデオと分けて保存するので、簡単に静止画を探せます。USBケーブルを使えば、お持ちのパソコンに静止画を素早く取り込めます（☞P. 53、56、145）。



電源の切り忘れを防ぐ －クイックパワーオフ 機能－

撮影しているときは、液晶画面を閉じる、または引き出したファインダーを元に戻すだけで電源が切れます。また、次に撮影したいときには液晶画面を開く、またはファインダーを引き出すと、すぐに電源が入るので撮影のチャンスを逃しません。（☞P. 42）

デジタルダビングで劣化知らず

デジタルビデオ専用の入力／出力端子を搭載しました。デジタルだから、画質と音質を損なうことなくダビング＆編集ができます(☞ P. 126)。

逆光でも大丈夫 スポットライトでも平気

普通の撮影では、太陽を背にした人の顔は真っ黒に、スポットライトが当たった人の顔は真っ白に写るもの。逆光補正ボタン（☞ P. 75）を押したり、プログラムAEメニューのスポットライト機能（☞ P. 96）を使えば、こんなときでも自然な画像を撮影できます。

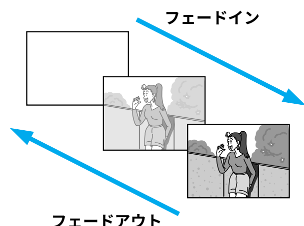
拡大しても滑らか画像

被写体を光学ズームで10倍まで、デジタルズームなら200倍まで拡大できます。光学ズームは被写体そのままの美しさを、デジタルズーム時も補正技術で滑らかで鮮明な画像を保ちます(☞ P. 52、163)。



場面演出で個性を演出

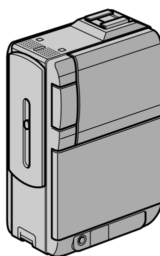
さまざまな演出効果を用意しています。これらを駆使して個性的な映像を創造してみましょう。演出効果は、録画時と編集時のどちらでもご利用になれます(☞ P. 90、96、119、132)。



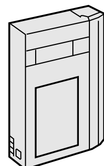
いますぐ
ビデオと静止画を撮影してみよう

箱を開けたら、何はともあれビデオを撮影してみましょう！
最初はバッテリーが充電されていないので、コンセントにつないで撮影し、再生してみます。ボタンやランプの名前なんて知らなくても大丈夫。ともかく、この通り操作すれば撮影できます。

用意するもの

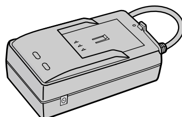


本体

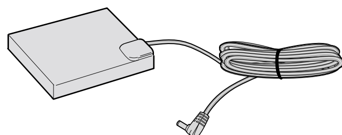


ミニDV
カセットテープ（別売）

アクセサリーキットから



ACアダプター

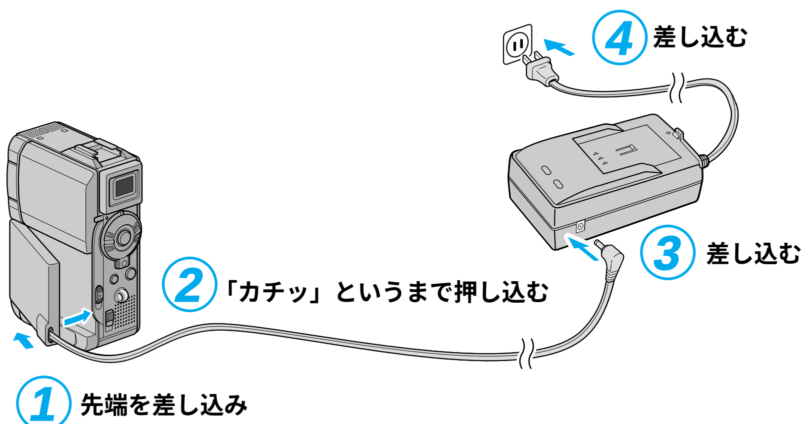


DCコード



メモリーカード（8MB）

コンセントにつなぐ



カセットテープを入れる

1 スライドさせたまま

2 カバーを開く
中のホルダーが
自動的に開く

3 カセットテープを
奥まで入れる

4 ここを押す を押す
ホルダーが自動的に閉じる

5 カバーを閉じる

メモリーカードを入れる

1 スライドさせて開く

2 メモリーカードを
奥まで入れる

3 カバーを上げて押し込む

撮影できる状態にする

1 押しながら下げる

2 液晶画面を開く

3 ロック解除ボタンを押したまま

4 「撮る」の位置に合わせる
電源ランプが点灯し、画面が映る

電源ランプ

ビデオを撮影する

1 スイッチを「ビデオ」の位置に合わせる

2 撮影ボタンを押し、撮影を開始する
画面表示: 録画

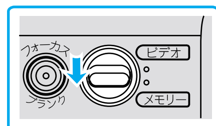
画面の状態が表示される

3 もう一度押し、撮影を停止する
画面表示: ストップ

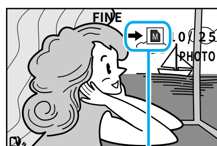
画面の状態が表示される

静止画を撮影する

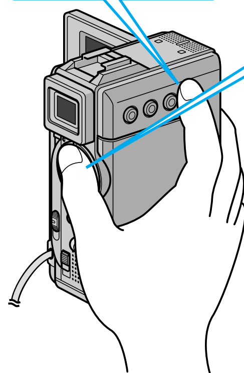
1 スイッチを「メモリー」の位置に合わせる

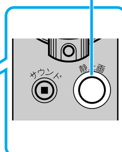


2 静止画ボタンを押す
画面表示: ➡ M



画面に状態が表示される

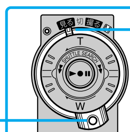




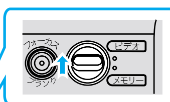
3 手順2を繰り返す

撮ったビデオを見る

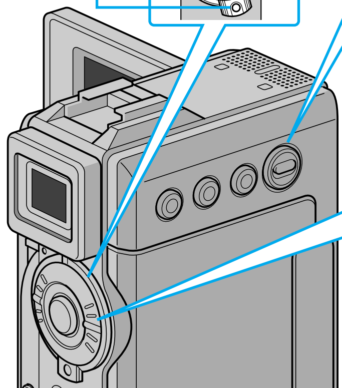
2 ロック解除ボタンを押したまま

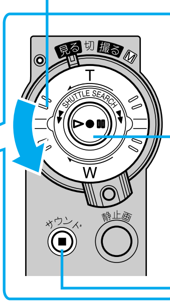


3 「見る」の位置に合わせる



1 スイッチを「ビデオ」の位置に合わせる





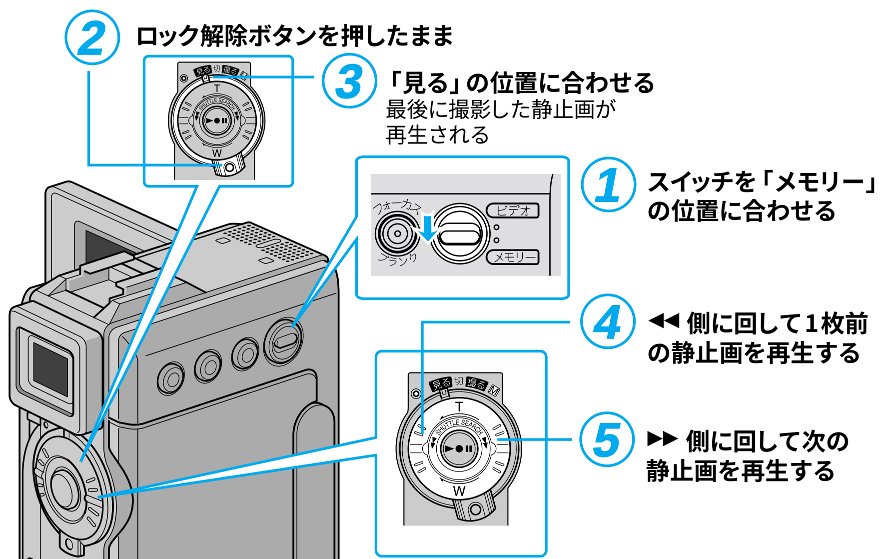
4 ◀◀側に回して巻き戻す
画面表示: ◀◀
テープの先頭まで巻き戻ると、停止する

5 ▶/II を押して再生する
画面表示: ▶

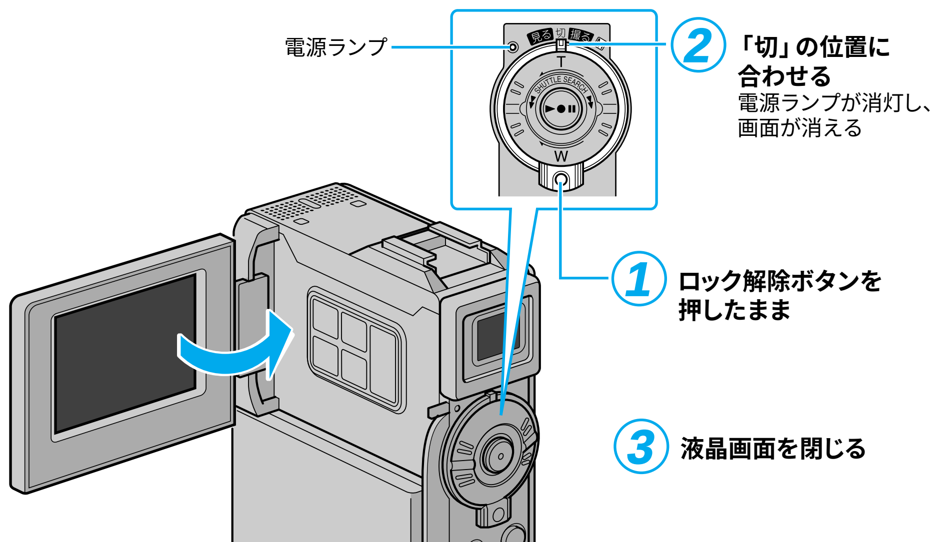
6 ■ を押して停止する

はじめに

撮った静止画を見る



電源を切る



機能デモを見てみよう

本機には、プログラム AE などの機能を確認するためのデモモードがあります。ビデオカメラをお使いになる前に、是非一度ご覧になってください。

機能デモを表示させるには

カセットテープを入れずに電源ダイヤルを「撮る」または「M」の位置に合わせると、液晶画面にビデオカメラの機能デモが自動的に表示されます。
機能デモを途中でやめるには、電源を切ってください。

機能デモを表示しないようにすることもできます ☞ **P.** 169、170

ビデオ撮影、本番へGO!

とにかくすぐに撮影をしてみるステップはこれで終了。次は、いよいよ撮影本番！バッテリーを使い、いろいろなシーンを撮影しましょう。
バッテリーの充電には約 90 分（BN-V107 の場合）かかります。この待ち時間を利用して、いくつかのページに目を通してみてください。きっと撮影のときに役立ちます。

バッテリーで撮影する ☞ **P.** 31

上手に撮るコツ ☞ **P.** 51、58

安全上のご注意

安全のために必ずお守りください

絵記号について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵記号が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵記号の意味をよく理解して本文をお読みください。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると､人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の説明

●注意（危険、警告を含む）が必要なことを示す記号


一般的注意


手がはさまれる

●してはいけない行為（禁止行為）を示す記号


禁止


水場での使用禁止


接触禁止


分解禁止


ぬれ手禁止


水ぬれ禁止

●必ずしてほしい行為（強制、指示行為）を示す記号


一般的指示


プラグをコンセントから抜く

⚠警告




■煙が出たり、へんな臭いがするときなどは、バッテリーをはずす、または電源プラグを抜く

・販売店に修理を依頼してください。
・そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
・お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。




■落としたり、壊れたときなどは、バッテリーをはずす、または電源プラグを抜く

・販売店に修理を依頼してください。
・そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
・お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。




■内部に水や異物が入ったときは、バッテリーをはずす、または電源プラグを抜く

・販売店に修理を依頼してください。
・そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
・お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。




■電源コードが傷んだときは、電源プラグを抜く

・販売店に修理を依頼してください。
・芯線が露出していたり、断線したままで使用すると、火災や感電の原因になります。



■持ち運ぶときには、液晶画面やファインダーを持たない

・液晶画面、またはファインダーを持って運ぶと、故障したり落として、 けがの原因となります。



■不安定な場所に置かない

・ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。
・落ちたり、倒れたりして、故障やけがの原因となります。

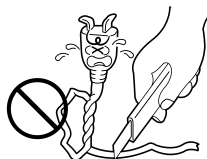


■指定の電源電圧以外で使用しない

・火災や感電の原因となります。

⚠警告

■電源コードを傷つけない



・火災や感電の原因となります。
・次のようなことをすると、傷つく原因となります。ご注意ください。
加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものをのせる、
熱器具に近づける。

■内部に物を入れない



・カセットテープの出し入れ口などから、金属類や燃えやすいものなどを入れない でください。
・火災や感電の原因となります。
・特にお子様にご注意ください。

■内部の部品に触らない



・カセットテープの出し入れ口から見える部品に触らないでください。
・感電や故障の原因となります。

■機器を接続するときは、電源を切る



・電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因となります。

■分解や改造はしない



・火災や感電の原因となります。
・お客様ご自身による点検、整備、修理は危険です。絶対おやめください。
・内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

■自動車などの運転中に使用しない



・運転をしながら、撮影、再生をすることは絶対におやめください。
交通事故の原因になります。

■レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けない



・レンズやファインダーを太陽に向けたまま放置しておくと、集光により内部部品が破損して発熱し、火災や故障の原因となります。

⚠警告

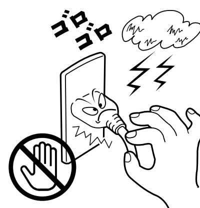
■ぬらさない





・火災や感電の原因となります。
・風呂場では使用しないでください。
・雨天、降雪中、海岸、水辺で使用するときは、ご注意ください。
・水などの入った容器（花びん、植木鉢、コップ、化粧水、薬品など）は、こぼれたりしますので、機器の近くに置かないでください。

■雷が鳴り出したら、電源プラグにはふれない



・感電の原因となります。

■電源プラグが不完全な接続状態で使用しない



・接触不良で発熱し、火災や感電の原因となります。
・最後までしっかりと接続してください。

■電源プラグにほこりや金属物を付着させない



・ほこりや金属物を伝わって電気が流れ、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や感電の原因となります。
・ほこりや金属物が付着しているときは、電源プラグを抜き、取り除いてください。

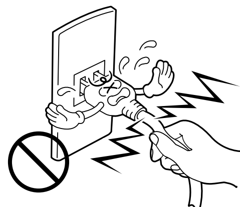
■上に乗らない



・倒れたり、こわれたりして、けがの原因になります。特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください。

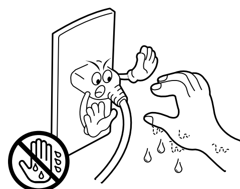
⚠注意

■電源コードはコードの部分を持って抜かない



・コードの部分を持って抜くと、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
・プラグの部分を持って抜いてください。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



・感電の原因となることがあります。

■次のような場所には置かない、使わない



・砂浜などの砂ぼこりのある所
・湿気やほこりの多い所
・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気の当たる所
・熱器具の近くなど
・真夏の車内など高温になる所
・直射日光の強い所
火災や感電、故障の原因となることがあります。

■上に重い物を置かない



・バランスがくずれて倒れたり落下して､けがの原因となることがあります。

■カセットの出し入れ口に手を入れない





・手をはさまれてけがをする原因となります。
・特にお子様にご注意ください。

■本体に衝撃を与えない



・けがをするおそれがあります。また、本機が故障する原因となります。

⚠注意

■指定以外のアクセサリーを使わない



・性能や形状が異なると、火災や故障、感電の原因となることがあります。
・本機に指定されたものか確かめ、アクセサリーの取扱説明書もよくお読みください。

■別売の照明用ライトなどを使うときはライト部に顔、素手、髪の毛などを近づけない



・高温のため、やけどや髪の毛が燃える原因となります。

■本機やアクセサリーなどを布などでおおった状態で使用しない



・熱がこもって変形したり、火災の原因となることがあります。

■コード類は正しく配置する



・ACアダプターの電源コードや接続用コードなどは、足にひっかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。
・十分注意して接続、配置してください。

■長期間使用しないときはバッテリーをはずし､電源プラグを抜く



・電源が「切」でも本機に電気が流れていますので、安全のためにお守りください。

■別売の三脚を不安定な状態で使用しない



・足などの上に倒れる、けがをする原因となります。また、本機が故障する原因となります。
・足などを引っかけないようにご注意ください。強風にもご注意ください。

■移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす



・接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
・カセットテープも取り出しておいてください。

⚠注意

■バッテリーやグリップベルトは正しく取り付ける



・正しく取り付けられていないと、落下によりけがや故障の原因となることがあります。

■お手入れするときは、バッテリーをはずし、電源プラグを抜く



・電源が「切」でも機器に電源が流れていますので感電の原因となることがあります。

■5 年に一度は内部の点検を販売店に依頼する



・内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないで使用し続けると、火災や感電の原因となることがあります。
・湿気の多くなる梅雨期の前に点検すると、より効果的です。
・費用については、販売店にご相談ください。

■強い電波や磁気の発生する所、または雷が近いときは使用しない



・故障の原因となることがあります。
・テレビの上や近くでは使用しないでください。
・ AC アダプターを使用しているときは、なるべく本機から遠ざけてご使用ください。

■飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う



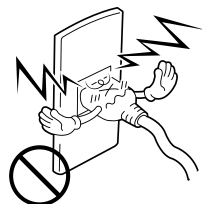
・本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与える原因となります。

ACアダプター、バッテリーや乾電池について

⚠危険

■ACアダプターを指定の電源電圧以外で使用しない

・火災や感電の原因となります。



■ACアダプターは指定以外のビデオカメラやバッテリーには使わない



・性能や形状が異なると、火災や故障、感電の原因となることがあります。
・指定されたものか確かめ、ビデオカメラやアクセサリーの取扱説明書もよくお読みください。

■ACアダプターの分解や改造をしない



・火災や感電の原因となります。
・お客様ご自身による点検・整備・修理は危険です。絶対におやめください。
・内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

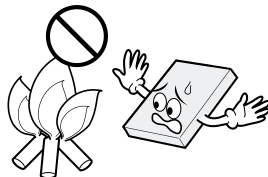
■バッテリーを充電するときは、指定のACアダプターを使う



・性能や形状が異なると、液漏れ、発熱、破裂、発火の原因となります。

■バッテリーは絶対に分解、加工（はんだ付けなど）、加熱、火中投入などをしない

・液漏れ、発熱、破裂、発火し、火災やけがの原因となります。



ACアダプター、バッテリーや乾電池について

⚠危険

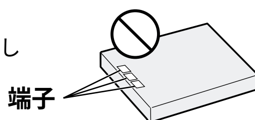
■高温の場所（60 ℃以上）に置かない



・発熱、破裂、発火の原因となります。

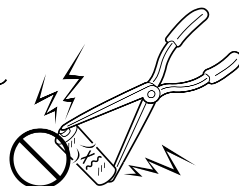
■バッテリーの端子部に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない

・ショートして発熱し、火災やけがの原因となります。
・持ち運びの際にはキャップを取り付けて、金属物と端子が接触しないようにしてください。



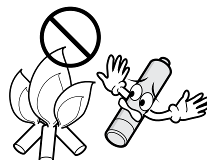
■乾電池の端子部（⊕と⊖）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない

・液漏れ、発熱の原因となります。
・持ち運びの際にはビニール袋などに入れ、金属物と端子が接触しないようにしてください。



■乾電池は絶対に分解、加工（はんだ付けなど）、充電、加熱、火中投入などをしない

・液漏れ、破裂などの原因となります。



ＡＣアダプター、バッテリーや乾電池について

警告

■指定以外の乾電池は使わない、また液漏れを起こしたバッテリーや乾電池を使わない



・液漏れを起こした電池はショートによる発熱で、さわるとやけどをする原因となります。
・電池を入れる前に品番をよく確かめてください。
・電池の液が漏れたときは、電池取り付け部の液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
・電池の液が身体や衣服についたときには、水でよく洗い流してください。
万一、目などに液が入った場合はきれいな水で洗った後、ただちに医師に相談してください。

■乾電池は幼児の手の届かない所に置く



・万一、誤って飲み込んだときは、ただちに医師と相談してください。

■濡れたバッテリーは使わない



・故障、感電、発熱、発火の原因となります。

注意

■乾電池を入れるときは､極性表示（⊕ と⊖ ）の向きに注意する



・機器の指示通りに乾電池を入れてください。間違えると電池の破壊、液漏れにより、火災やけが、周囲を汚す原因になることがあります。

■通電中のＡＣアダプターや充電中のバッテリーに長時間触れない



・温度が上がり、長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

リモコンについて



■高温になる場所に置かない



・晴天の閉めきった車内など、高温になる場所に放置しないでください。

■次のような場所に長時間置かない



・直射日光などにさらされる場所
・ゴムまたはプラスチック製品に接触する場所

付属のソフトウェア CD-ROM について



■オーディオ用 CD プレーヤーで再生しない



・オーディオ用 CD プレーヤーや CD ラジカセでソフトウェア CD-ROM を再生しようとすると、過大な信号が流れて、回路やスピーカーに障害を与えることがあります。

■鏡面（文字などが印刷されている面と反対の面）を汚したり、傷を付けない



・汚れたときは柔らかい布で中心孔から外側へ放射状に軽く拭き取ってください。

■従来のレコード・クリーナーやスプレーは使わない



・変形の原因となります。

■裏表どちらの面にも文字を書いたり、シールなどを貼らない



・読みとりができなくなる原因となります。

■ディスクを曲げたり、鏡面に触れたりしない



・読みとりができなくなる原因となります。

■次のような場所に長時間置かない



・湿気やほこりが多い所
・直射日光の当たる所

各部の名前とはたらき

本体

カメラセンサー
撮影に必要なセンサーです。
指などでふさがないようにしてください。

ステレオマイク
撮影時とアフレコ編集時に音声を吹き込みます。

インフォ・シュー
別売のフラッシュ（VL-F3）やライト（VL-V3）などを取り付けます。
フラッシュ、ライトおよびビデオカメラの電源を切った状態で取り付けてください。

撮影ランプ
撮影中は点灯します。

レンズカバー
ロックボタンを押しながら開閉します。

ロックボタン

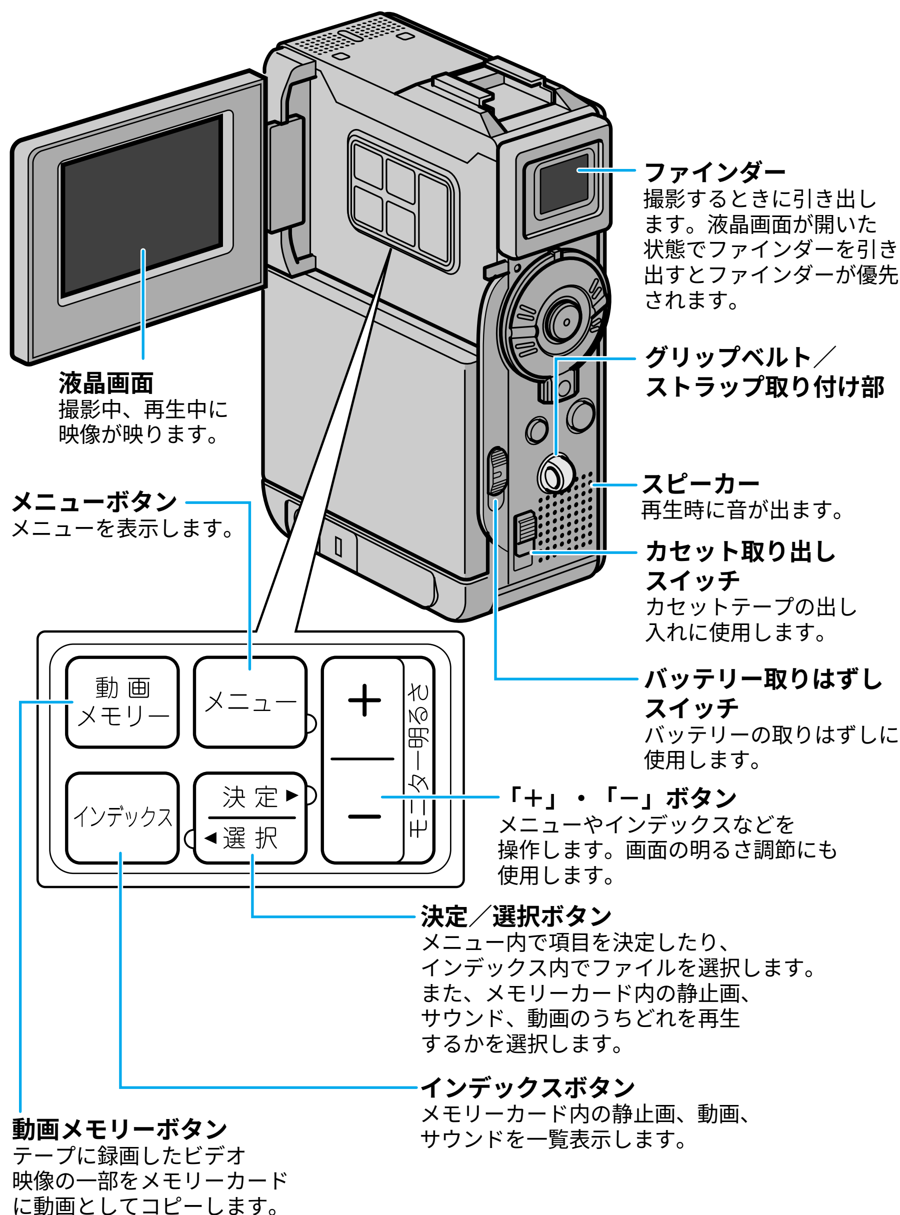
DV入力/出力端子（i-LINK*）
DV端子付きのビデオ機器と接続します。
*：i-LINKは、IEEE1394-1995仕様およびその拡張仕様です。 i はi-LINKに準拠した商品につけられるロゴマークです。

グリップベルト取り付け部

リモコン受光部
ここに向けてリモコンを操作してください。

AV出力端子
AVケーブルでテレビやビデオデッキを接続します。

各部の名前とはたらき



ファインダー
撮影するときに引き出します。液晶画面が開いた状態でファインダーを引き出すとファインダーが優先されます。
液晶画面
撮影中、再生中に映像が映ります。
グリップベルト／ストラップ取り付け部
スピーカー
再生時に音が出ます。
メニューボタン
メニューを表示します。
カセット取り出しスイッチ
カセットテープの出し入れに使用します。
バッテリー取りはずしスイッチ
バッテリーの取りはずしに使用します。
動画メモリー
メニュー
＋
−
モニター明るさ
インデックス
決定▶
◀選択
「＋」・「−」ボタン
メニューやインデックスなどを操作します。画面の明るさ調節にも使用します。
決定／選択ボタン
メニュー内で項目を決定したり、インデックス内でファイルを選択します。また、メモリーカード内の静止画、サウンド、動画のうちどれを再生するかを選択します。
インデックスボタン
メモリーカード内の静止画、動画、サウンドを一覧表示します。
動画メモリーボタン
テープに録画したビデオ映像の一部をメモリーカードに動画としてコピーします。

逆光補正／音量－ボタン
逆光補正の他に、音量を
下げるときに使用します。

明るさ／音量＋ボタン
映像の明るさ調節の他に、
音量を上げるときに使用します。

フォーカス／ブランクボタン
ピント合わせに使用する他に、
ビデオテープの中にある5秒間
以上の無記録部分を探したり、
ファイル番号を入力してデータ
を再生するときにも使用します。

モード選択スイッチ
ビデオの撮影・再生と静止画の
撮影・再生（サウンド・動画の再生）
を切り替えます。

カセットカバー

電源ランプ
電源が入っているとき
に点灯します。

**ズーム／早送り・巻き戻し
ダイヤル**
映像のズームを行います。
再生中はビデオの早送り・巻き戻しや
静止画の再生操作に使用します。

**撮影／再生・
一時停止ボタン**
ビデオの撮影を開始
または終了させます。
再生時には、ビデオや
静止画の再生操作に
使用します。

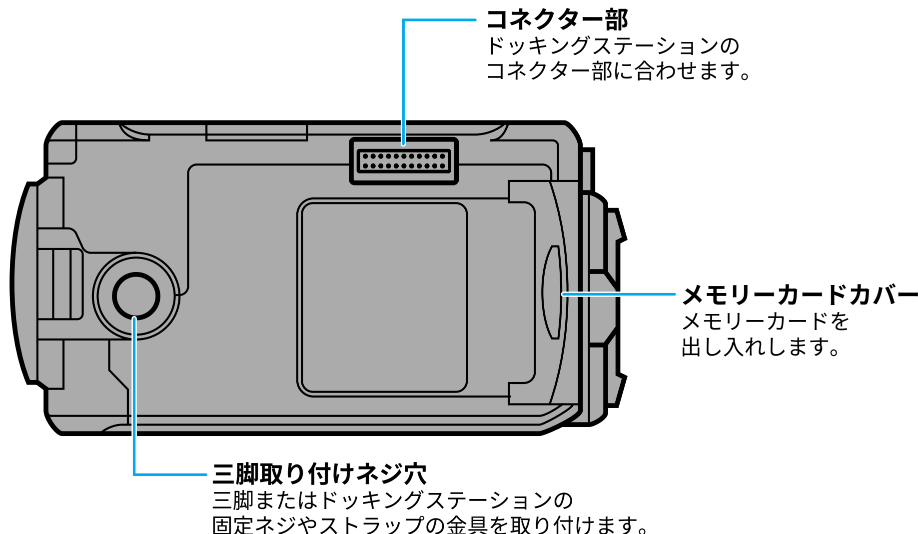
ロック解除ボタン

電源ダイヤル
電源の入切、撮影と再生などを
切り替えます。

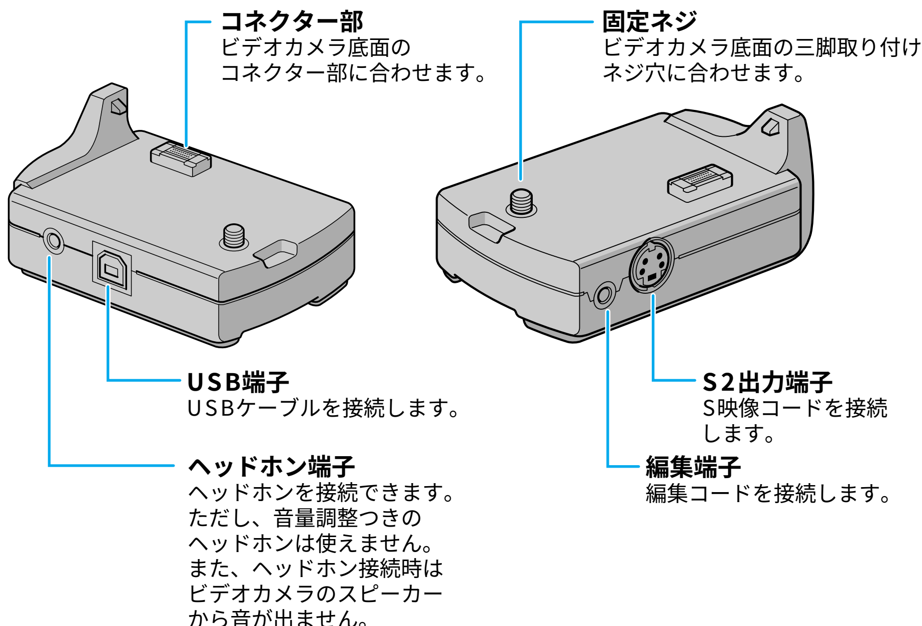
サウンド／停止ボタン
撮影中、またはアフレコ編集中に
効果音を挿入します。
再生時には、ビデオの再生や
静止画の連続再生を停止します。

静止画ボタン
メモリーカードに静止画を撮影する、
またはテープに静止画を撮影する他に、
テープに録画した映像の一部を
メモリーカードに動画として
コピーするときに使用します。

各部の名前とはたらき

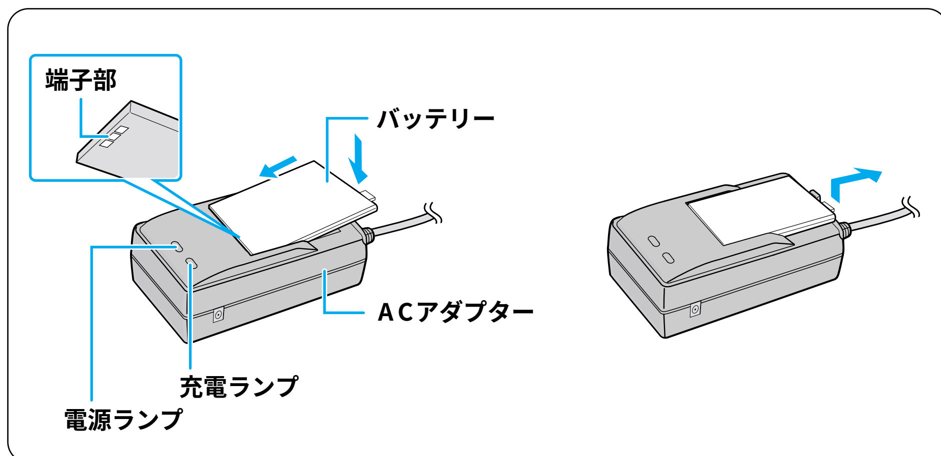


ドッキングステーション

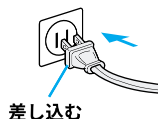


Step1　バッテリーを充電する

バッテリーの充電には、別売アクセサリーキット(VU-P3KIT)のACアダプターを使用します。
バッテリーを充電するときは、バッテリーのキャップを取りはずしてください。



1 ACアダプターの電源コードをコンセントに差し込む



電源ランプが点灯します。

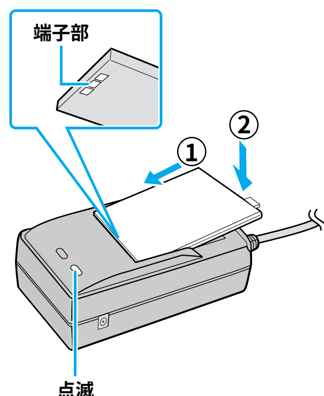
2 バッテリーを取り付け、充電する

①端子部を下にしてACアダプターに差し込みます。

②カチッと音がするまでACアダプターに押し付けてください。

ご注意
- DCコードは接続しないでください。充電できません。

充電ランプが点滅します。

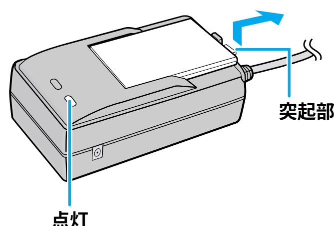


次へ続く

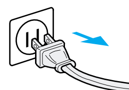
3 充電ランプの点滅が点灯に変わったら、バッテリーを取りはずす

バッテリーが充電されました。

AC アダプターからバッテリーを取りはずすときは、バッテリーの突起部に指をかけて持ち上げると、簡単にはずれます。



4 AC アダプターの電源コードを抜く





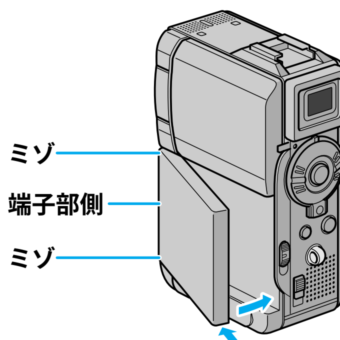
- 充電時間の目安（室温 10 ℃～ 35 ℃）：標準バッテリー(BN-V107)で約 90 分、
  長時間バッテリー(BN-V114)で約 120 分。
- 海外でもバッテリーを充電できます（☞ P.196）。



- 十分に充電しても撮影できる時間が短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーに交換してください。

Step2　バッテリーを取り付ける

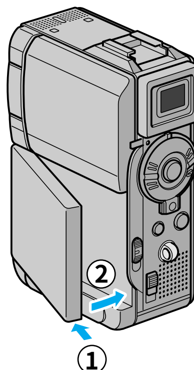
バッテリーは出荷時には充電されていません。AC アダプターで充電してからお使いください。充電が終わっていない場合など、必要に応じて AC アダプターを取り付けて使用することもできます（☞ P.65）。



1　充電済みのバッテリーを取り付ける

①端子部側を奥にし、2 カ所のミゾを合わせて本体に差し込みます。

②カチッと音がするまで本体に押し付けてください。



ご注意

- バッテリーは確実に取り付けてください。確実に取り付けられていないと、使用中にバッテリーが落下することがあります。

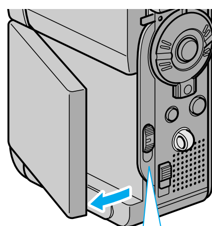
これだけは知っておこう編

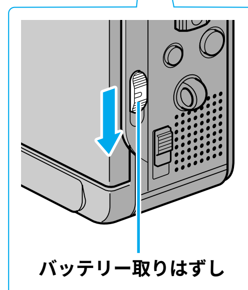
次へ続く

バッテリーを取りはずすには

1 **「バッテリー取りはずし」スイッチを下にスライドさせたまま、バッテリーを取りはずす**

- バッテリーを開くようにして取りはずしてください。





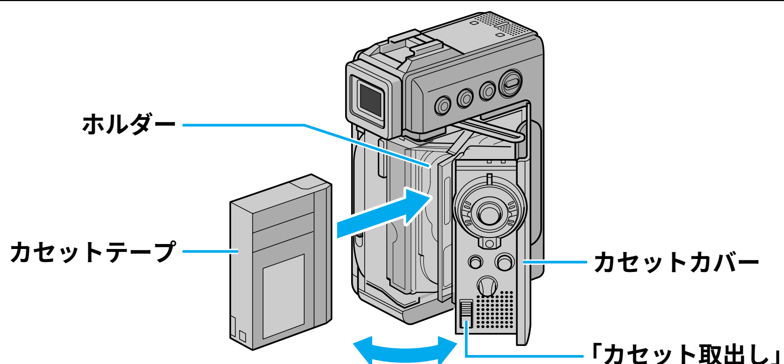


- 取りはずしたバッテリーを持ち運んだり、保管したりするときには、キャップを取り付けてください。



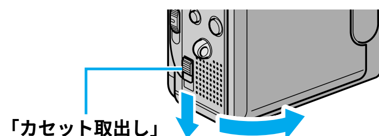
Step3　カセットテープを入れる

ビデオを撮影するには、ミニ DV カセットテープを使用します。



1 「カセット取出し」スイッチを下にスライドさせたまま、カセットカバーを手で開ける

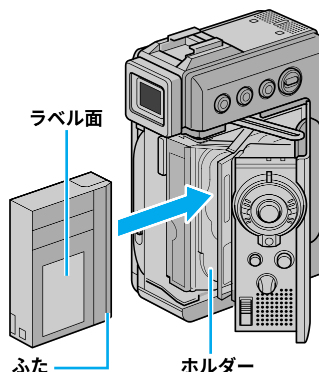
本体内部のホルダーが自動的に開きます。



2 カセットテープをホルダーに入れる

- カセットテープのラベル面をカセットカバー側に、カセットテープのふたの部分を奥にして入れます。

  カセットテープを指で軽く押して、ホルダーの奥まで確実に入れてください。



これだけは知っておこう編

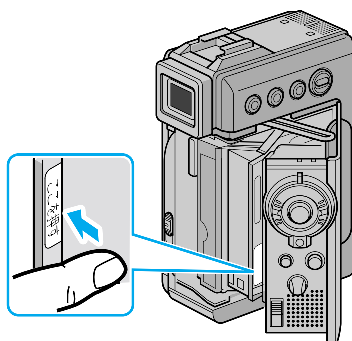
次へ続く

3 ホルダーの「ここを押す」を押す

ホルダーが自動的に収納されます。

- ホルダーが収納されない場合、カセットカバーを完全に開いてカセットテープを取り出し、少し待ってから入れ直してください。

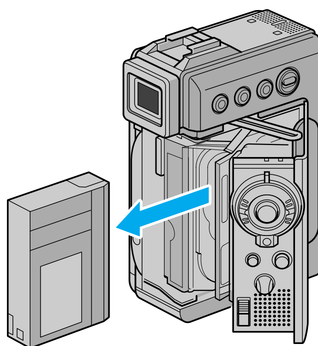
ご注意
- 指などをはさまれないようにご注意ください。



4 カセットカバーをカチッと音がするまで押して閉める

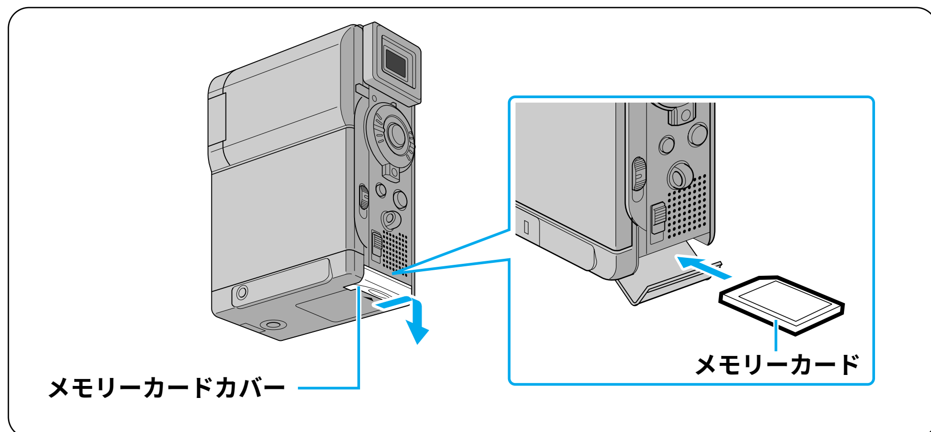
カセットテープを取り出すには

1 前のページの手順 2 で、カセットテープを引き出す



Step4　メモリーカードを入れる

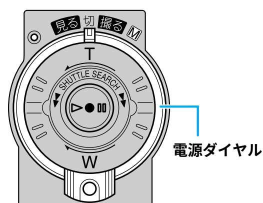
静止画を撮影するには、メモリーカード（MultiMediaCard、または SD Memory Card）を使用します。



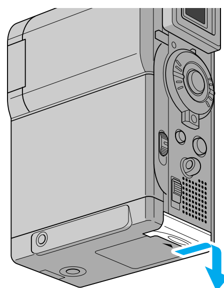
1 電源ダイヤルが「切」の位置に合っていることを確認する

- 合っていないときは、「切」の位置に合わせてください。

ご注意
- 電源を切らずにメモリーカードを出し入れすると、故障する恐れがあります。



2 メモリーカードカバーをスライドさせて開ける



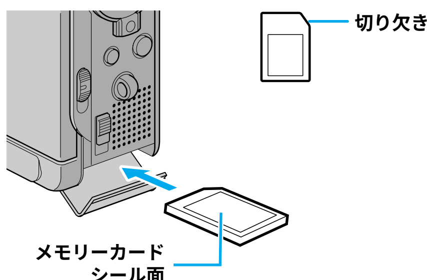
次へ続く

これだけは知っておこう編

3 メモリーカードの切り欠き部分を奥にして差し込む

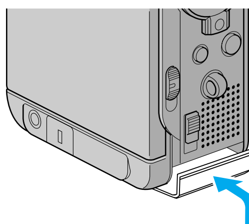
- 奥までしっかりと差し込んでください。

ご注意
- メモリーカードの金属部分を触らないでください。



4 メモリーカードカバーを閉める

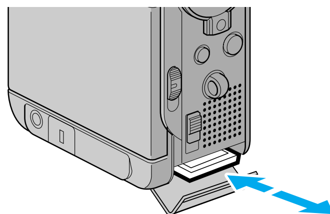
- メモリーカードカバーを上げてから押し込んでください。



メモリーカードを取り出すには

1 上の手順 3 でメモリーカードを押す

メモリーカードが少し出てきます。

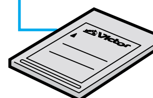


2 出てきたメモリーカードを引き抜く



- **SD メモリーカードについて**

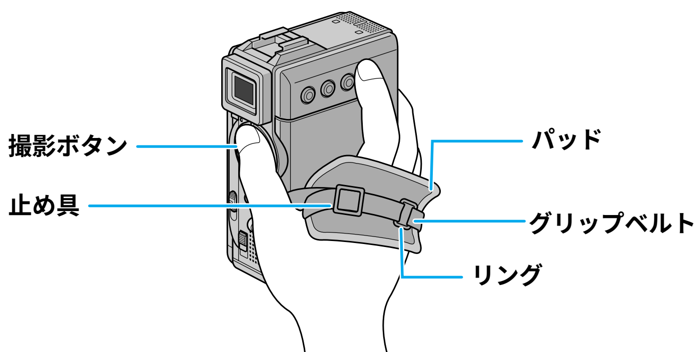
大切な画像を消してしまわないように、メモリーカードへ記録できなくすること（ライトプロテクト）ができます。ライトプロテクトをかけるには、メモリーカード側面のスイッチを「LOCK」の位置に合わせてください（スイッチを戻すと、再び記録できます）。



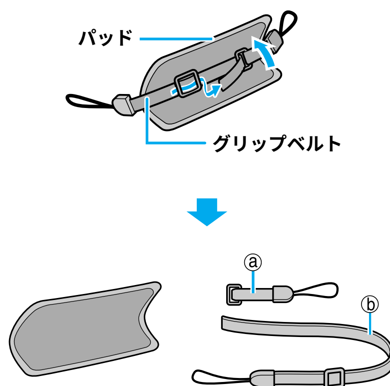
Step5　ベルトやストラップを取り付ける

別売アクセサリーキット（VU-P3KIT）のグリップベルトや付属品のストラップを取り付けると、長時間の撮影でも楽に撮影ができます。
グリップベルトとストラップは同時に取り付けられないので、どちらか一方を選んで取り付けてください。

グリップベルトを取り付ける



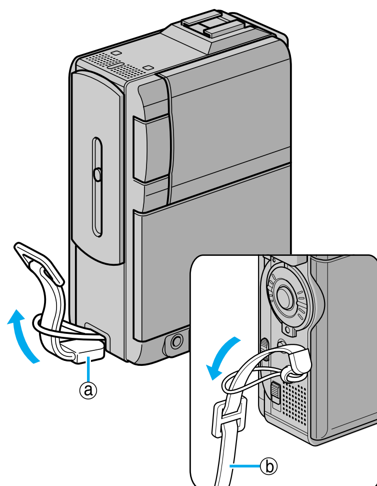
1　パッドをはがして、パッドの中のグリップベルトをⓐ,ⓑ 2つに分ける



これだけは知っておこう編

次へ続く

2　２つに分けたグリップベルトをビデオカメラの前後にある取り付け部にそれぞれ取り付ける



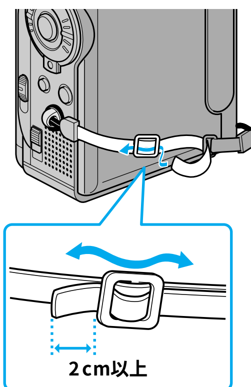
3　長いベルトの先を短いベルトに付いているリングに通す

4　長さを調整し、止め具で固定する

- 親指を撮影ボタンの位置に合わせて構えたときに、本体がぐらつかない程度にベルトを締めてください。

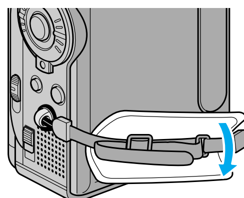
ご注意

- ベルトがはずれるのを防ぐため、ベルトの先を止め具から2cm以上出してください。

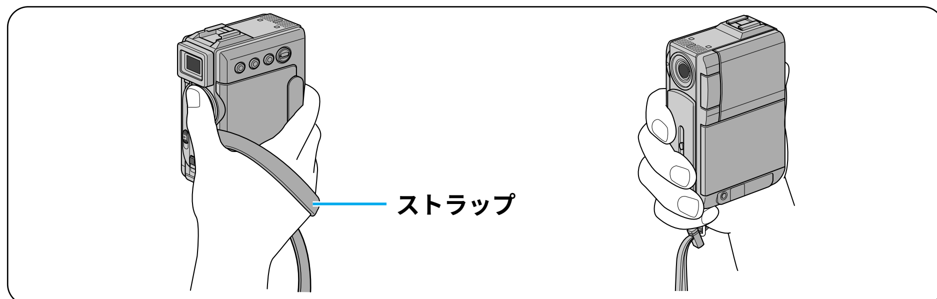


5　パッドを貼り付ける

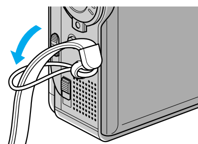
- ベルトがパッドから長くはみだしてしまう場合は、パッドの中に折り込んでご使用ください。



ストラップを取り付ける

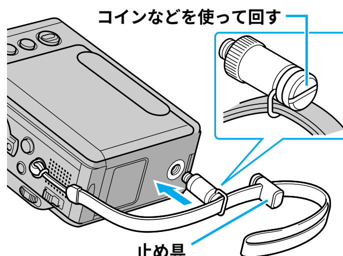


1 **ストラップの先をビデオカメラの後ろにある取り付け部に取り付ける**



2 **本体底面のネジ穴に金具を取り付ける**

ご注意
- 金具はコインなどを使って回し、確実に取り付けてください。締め付けがゆるいと金具がはずれてビデオカメラに当たり、傷をつけることがあります。



3 **ストラップの長さを止め具で調節する**

- 親指を撮影ボタンの位置に合わせ、小指が金具にかかるようにして構えたときに、本体がぐらつかない程度に調節してください。

持ち運ぶときには

ストラップの長さを調節すれば、移動中に肩にかけられるようになります。

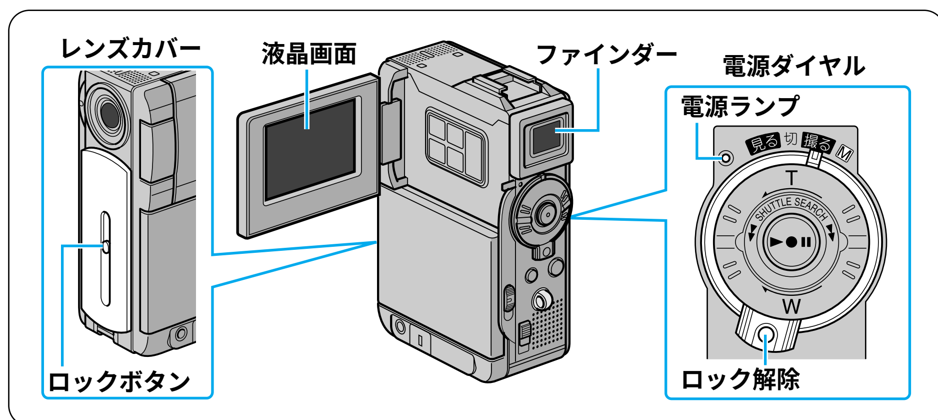
ご注意
- ストラップは本機にのみ使用してください。
- ビデオカメラに金具を取り付けた状態で、金具を強くにぎらないでください。

Step6　電源を入れる

電源は液晶画面やファインダーと連動しています。液晶画面を開く（またはファインダーを引き出す）とすぐに撮影を始められ、液晶画面とファインダーを元に戻すだけで電源を切れます。

撮影するときは

撮影する前に、ロックボタンを押しながらレンズカバーを下げてください。
つぎの２つの条件が揃ったときに電源が入り、電源ランプが点灯します。どちらを先にしても構いません。



■電源ダイヤル

ロック解除ボタンを押したまま､電源ダイヤルを回し、「撮る」または「M」の位置に合わせる。

■液晶画面とファインダー

液晶画面を開く、またはファインダーを引き出す。（レンズカバーが開いていないときは、液晶画面またはファインダーに「レンズカバー」と表示されます）

電源を切るには

ロック解除ボタンを押したまま、電源ダイヤルを「切」に合わせる。
または、液晶画面とファインダーを元に戻す。

ご注意

- 長期間使わないときは、電源ダイヤルを「切」にし、バッテリーまたは AC アダプターを取りはずしてください（☞ P.34、65）。
- ビデオカメラをカバンにしまうときや使わないときには、レンズ保護のためにレンズが完全にかくれるまでレンズカバーを上げてください。
- レンズカバーを上げ下げするときは、レンズに触らないようにしてください。

再生するときは

撮影とは異なり、次の操作だけで電源が入り、電源ランプが点灯します。

■ 電源ダイヤル

ロック解除ボタンを押したまま電源ダイヤルを回し、「見る」の位置に合わせる。

電源を切るには

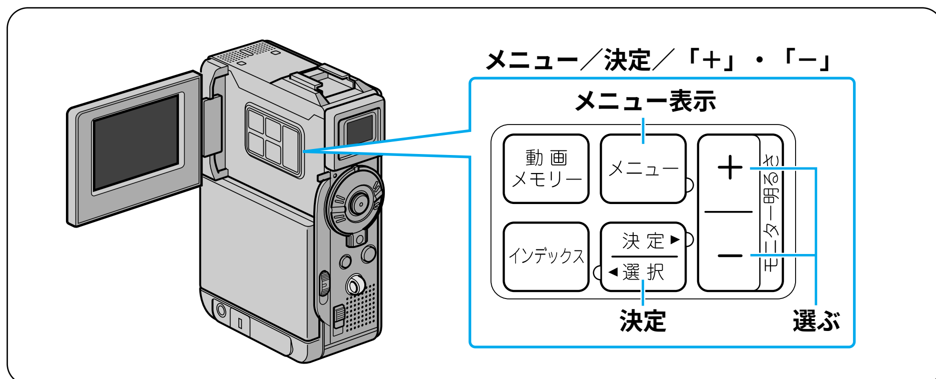
ロック解除ボタンを押したまま、電源ダイヤルを「切」に合わせる。

ご注意

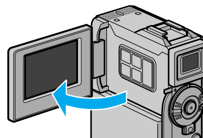
- 液晶画面を閉じていても電源が入ります。気づかずにバッテリーを消費してしまうことがあるので、再生したあとは必ず電源ランプが消灯していることを確認してください。
- 長期間使わないときは、バッテリーまたは AC アダプターを取りはずしてください（☞ P.34、65）。

日付・時刻を合わせるには

ビデオカメラには出荷時に日時を設定してありますが、お客様のお手元に届くまでに時刻がずれたり、設定が消えていることがあります。お使いになる前に、正しい日時を設定しなおしてください。また、日時が異なる国へ旅行するときも、日時設定を変更して下さい。
画面に「日時を設定してください！」とメッセージが表示されたときは、時計用の内蔵電池が空になっています。内蔵電池を充電するため、AC アダプターを 24 時間以上接続してから日時を設定してください。

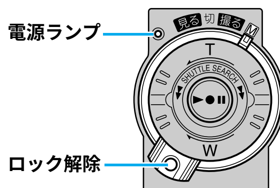


1 **液晶画面を開く**

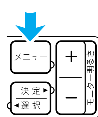


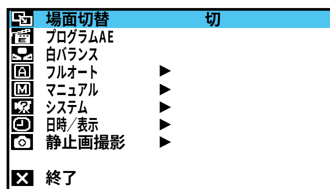
2 **ロック解除ボタンを押したまま電源ダイヤルを回し、「M」の位置に合わせる**

電源ランプが点灯し、液晶画面に映像が表示されます。



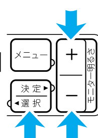
3 **「メニュー」ボタンを押して、メニューを表示する**

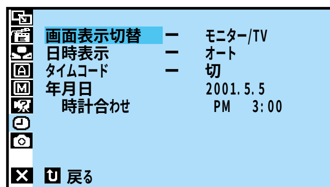




4 「＋」・「ー」ボタンを押して「 日時／表示」を選び、「決定」ボタンを押す

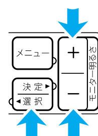
日時／表示設定メニューが表示されます。

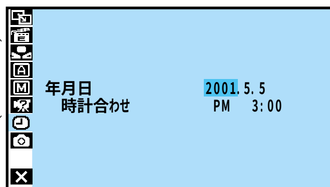




5 「＋」・「ー」ボタンを押して「年月日時計合わせ」を選び、「決定」ボタンを押す

年が変更できるようになります。

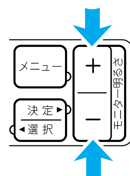




6 「＋」・「ー」ボタンを押して正しい年に合わせる

- 数値を大きくする→「＋」ボタン
- 数値を小さくする→「ー」ボタン

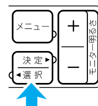
大きくする

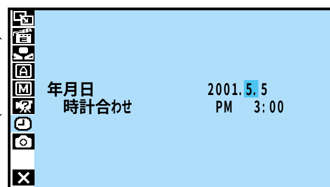


小さくする

7 「決定」ボタン押して年を決定する

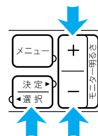
月が変更できるようになります。

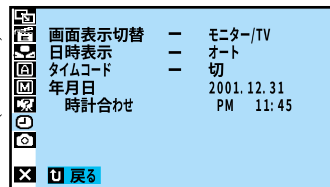




8 同様にして、月日と時刻を合わせ、「決定」ボタンを押して決定する

「戻る」が反転します。





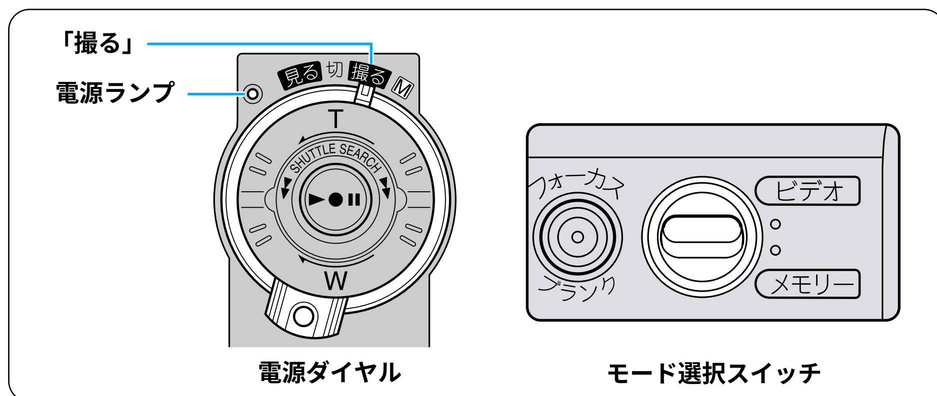
9 「決定」ボタンを 2 回押す

メニューが終了し、撮影画面に戻ります。

撮影する

Act.1　設定を確認する

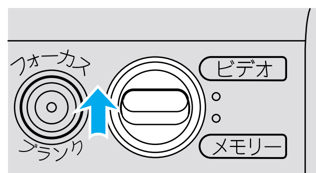
撮影前に、撮影モードなどの設定とテープやメモリーカード、バッテリーの残量を確認します。まず、電源ダイヤルとモード選択スイッチの設定を確認します。



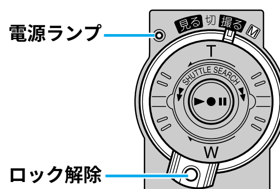
上図のように設定されていないときは、下記の手順で設定してください。この取扱説明書では、特に断りがないときは上図の設定で操作しています。

1 **モード選択スイッチを「ビデオ」の位置に合わせる**

- モードについては、次ページの「モードごとの特徴」で説明します。



2 **ロック解除ボタンを押したまま電源ダイヤルを回し、「撮る」の位置に合わせる**



モードごとの特徴

ビデオ

特徴：ビデオを撮影し、テープに記録します。

- ビデオ映像の中に、写真のような場面（静止画）を約 6 秒間挿入することもできます（☞ P.76）。
- メニューで設定を変更すると、静止画をビデオテープに挿入するのと同時に、メモリーカードにも記録することができます（☞ P.165）。

メモリー

特徴：静止画を撮影し、メモリーカードに記録します（☞ P.56）。

- ファイルサイズの大きい XGA サイズと、たくさんの枚数を撮影できる VGA サイズがあります。
- ビデオモードよりもバッテリーで長時間使えます。



- VGA サイズでは 640 × 480 ドット、XGA サイズでは 1024 × 768 ドットになります。
- メモリーカードに記録される静止画には、画質の良いファイン（F）とたくさん撮れるスタンダード（S）の 2 種類があります（☞ P.165）。

画面表示を確認する

テープ、メモリーカード、バッテリーの残量を確認します。

VGA　STD　SPアト 27分
10x　W　T　18/　40
2001.12.31
TC 03:25　PM 12:50

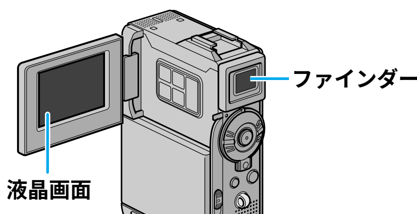
テープ残量表示
あと約27分撮影できます。

静止画撮影可能枚数表示
全部で約40枚撮影できます。
すでに18枚撮影されています。
（枚数表示は静止画が撮影可能なときに表示されます）

バッテリー残量表示
白い四角が3つ表示されていれば十分充電されています。

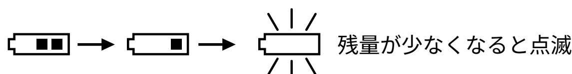
1 液晶画面を開くか、ファインダーを引き出す

撮影画面が表示されます。



2 画面表示を確認する

- バッテリー残量が少なくなったときは、バッテリーを充電してください（☞ P.31）。

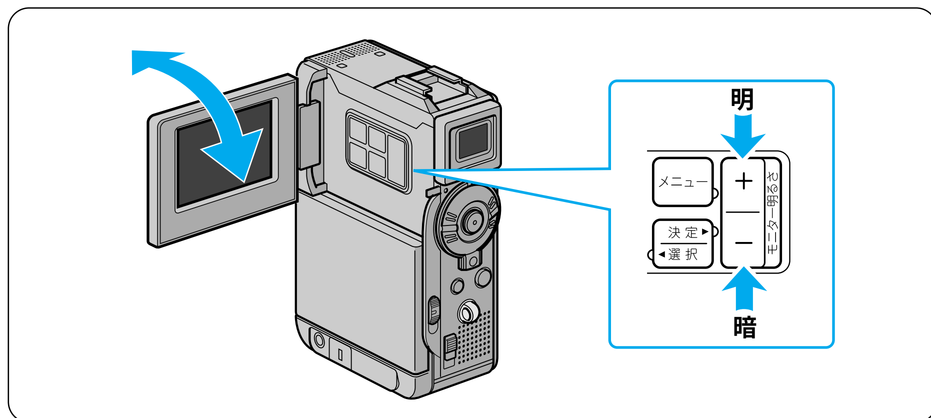


- テープ残量が足りない場合は、テープを交換するか、または録画モードをLPにしてください（☞ P.35、163）。
- メモリーカードの静止画撮影可能枚数が足りない場合は、メモリーカードを交換してください。または、不要な静止画を削除してください（☞ P.37、70）。
- 静止画撮影可能枚数は、撮影画像、画像サイズ、画質モードの変更などによって増減します（☞ P.57）。
- 入れたばかりのテープでは、テープ残量は表示されません。一度テープを走行させて表示してください。
- テープ残量は目安としてお使いください。
使用するカセットテープによっては、正しく表示されない場合があります。
80分テープの巻き始めでは、正しい残量表示が出るまでに多少時間のかかることがあります。

Act.2　液晶画面やファインダーを調整する

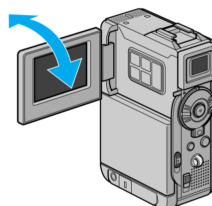
液晶画面を使うとき

画面表示や映像を見やすいように、液晶画面を調節します。



1　液晶画面の角度を調節する

- 液晶画面枠の上下に手を添えて、見やすい角度に傾けてください。

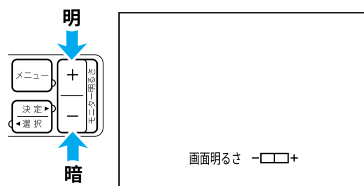


2　明るさを調節するには、「＋」・「－」ボタンを押す

- 見やすい明るさに調節してください。

明るくする　→　「＋」ボタン

暗くする　　→　「－」ボタン

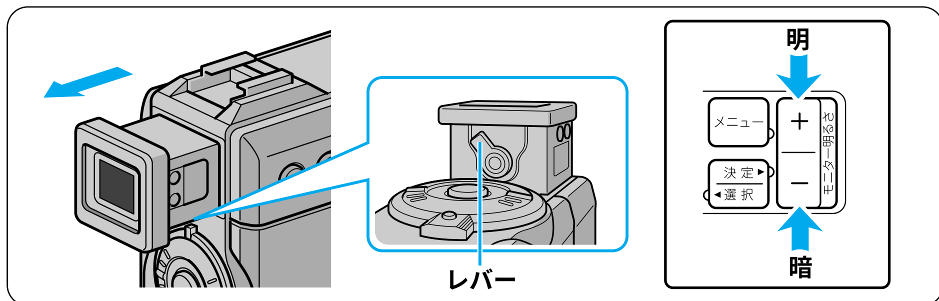




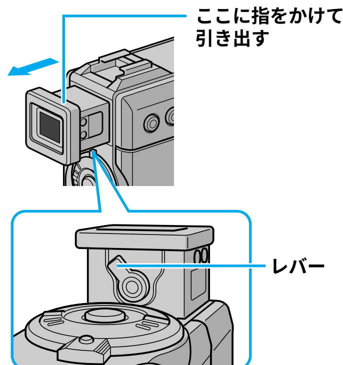
- ファインダーを引き出すと液晶画面は表示されません。液晶画面を使用するときは、ファインダーを引き出さないでください。

ファインダーを使うとき

周りが明るすぎて液晶画面が見えにくいときや、バッテリーで長時間撮影したいときは、ファインダーを使って撮影することをお勧めします。



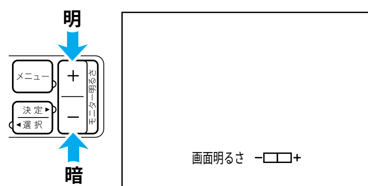
1 **ファインダー上部に指をかけて引き出す**



2 **ファインダー内の画面の見え方を調節する**

- ファインダーをのぞきながらレバーを動かし、文字がはっきり見えたところで止めてください。

3 **明るさを調節するには、「＋」・「－」ボタンを押す**



- 見やすい明るさに調節してください。

  明るくする　→　「＋」ボタン

  暗くする　　→　「－」ボタン

液晶画面とファインダー

液晶画面の表示とファインダー画面の表示は同じです。この取扱説明書では、液晶画面を使う場合を例にとって説明します。ファインダーを使用する場合は、液晶画面を開く代わりにファインダーを引き出してください。

Act.3　カメラをかまえる

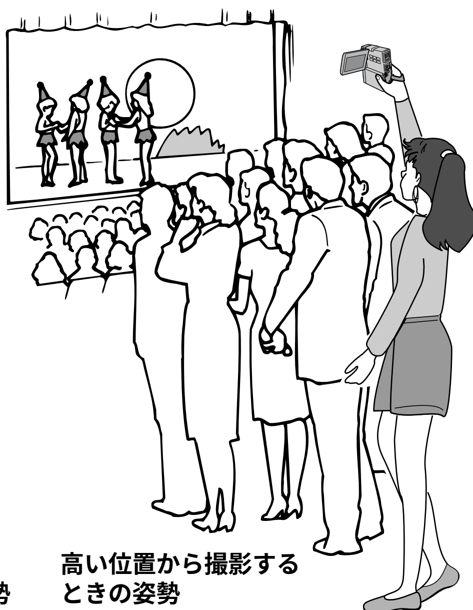
安定した映像を撮るためのコツは、画面に映っている人が動いてもビデオカメラは動かさないことです。ビデオカメラがふらつかないように、安定した姿勢をとりましょう。







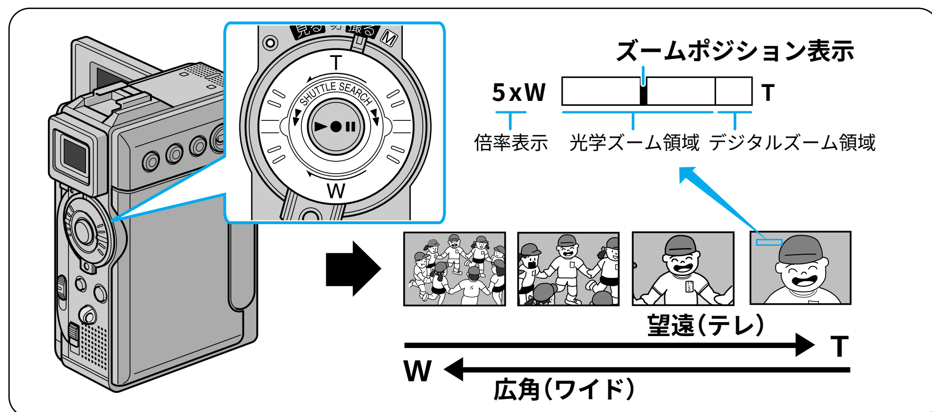
低い位置から撮影するときの姿勢



高い位置から撮影する
ときの姿勢

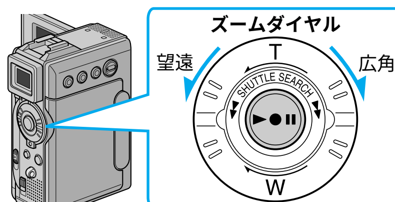
Act.4　撮影する範囲を調整する［ズーム］

ズームダイヤルを使って、撮影する範囲を調整できます。画面に被写体が小さく見えているときは望遠側（T）へ調整し、より広い範囲を画面に収めたいときは広角側（W）へ調整します。



1　ズームダイヤルを回す

- 望遠（遠くのものを大きくする）　→「T」
- 広角（撮影範囲を広げる）　→「W」





- 可変速ズーム：ズームダイヤルは少し回すとゆっくり、いっぱいまで回すと早くズームできます。
- 最大ズーム倍率：何倍までズーム可能にするかを変更できます。（☞ P.163）。
- 10倍以上のズーム（デジタルズーム）：10倍までの映像に比べて、デジタル処理をするため多少映像品質が劣化します。
- 接写したいとき（マクロ撮影）：W側にいっぱいまで押すと、レンズから約5cmまで被写体に近づいて撮影できます。



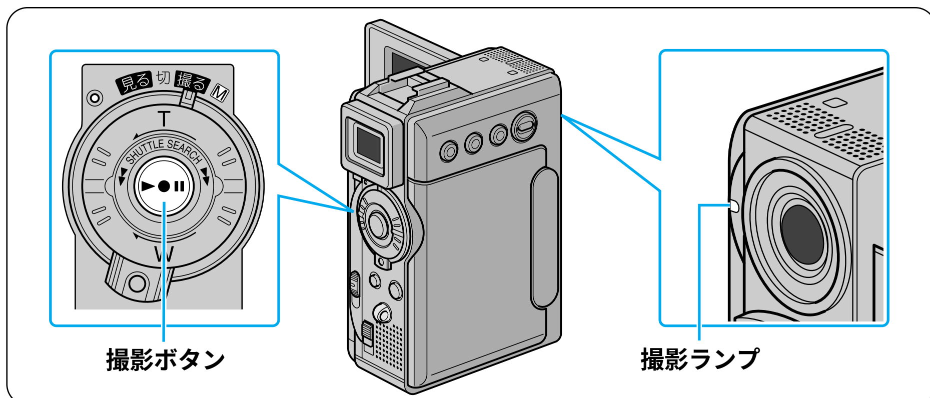
- 10倍以上のズームが使用できない：映像をデジタル処理する機能（ゴースト、オーバーラップなど）との併用はできません。
- 勝手に広角（W）になる：T側にいっぱいまで押すと、レンズから被写体を1m以上離さないとピントが合いません。ピントが合わないときは、自動的にW側に調整されます。

  テレマクロ機能を設定すると、T側で約60cmまで近づいて撮影できます（☞ P.166）。

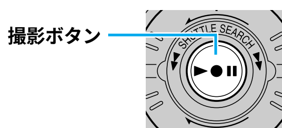


Act.5A　ビデオを撮影する

ボタン1つで、簡単に撮影できます。



1　撮影ボタンを押し、撮影をはじめる

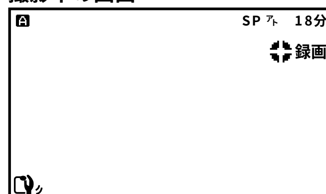


- ポンと音がするまで押してください。

画面に「録画」と表示されます。

本体上部の撮影ランプが点灯します。（画面上の Ⓐ は、電源ダイヤルを「撮る」の位置に合わせているときのみ表示されます。）

撮影中の画面

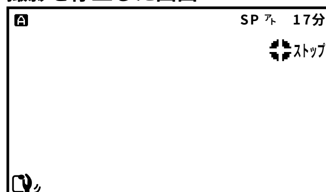


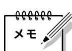
2　撮影をやめるには、もういちど撮影ボタンを押す

- ポポンと音がするまで押してください。

画面に「ストップ」と表示されます。

撮影を停止した画面





- 周囲が暗いときには、別売ビデオライト（VL-V3）での撮影をお勧めします。

次へ続く



・ 実撮影時間の目安

バッテリー	ファインダー使用時	液晶画面使用時
BN-V107(付属)	約35分	約30分
BN-V114(別売)	約1時間10分	約1時間
VU-V840KIT*(別売)	約3時間10分	約2時間35分
VU-V856KIT*(別売)	約4時間40分	約3時間50分

・ 連続撮影時間の目安（最大撮影時間）

バッテリー	ファインダー使用時	液晶画面使用時
BN-V107(付属)	約1時間10分	約1時間
BN-V114(別売)	約2時間20分	約2時間
VU-V840KIT*(別売)	約6時間20分	約5時間10分
VU-V856KIT*(別売)	約9時間20分	約7時間40分

＊ VU-V840KIT および VU-V856KIT には、バッテリー、充電器、バッテリーポーチが付属しています。バッテリーをビデオカメラに直接取り付けることはできません。

撮影時間は、ズームを使ったり、撮影／撮影停止を繰り返すなどで短くなります。バッテリーは撮影予定時間の約 3 倍分ご用意されることをお勧めします。
実撮影時間は撮影、撮影停止、電源の入／切、ズーム動作などを繰り返したときの撮影時間です。
実際には、これよりも短くなることがあります。

- **撮影中の音声をモニターしたいときは**
  ビデオカメラのスピーカーからは撮影中の音声は出ません。音声を聞きながら撮影したいときは、別売のヘッドホンをドッキングステーションのヘッドホン端子に接続して聞いてください。このとき音量は再生時に調節したままとなります（☞ P.60）。

- **あとで自動編集するときは**
  タイムコードと無記録部分についてご覧ください（☞ P.122）。

- **あとでインサート編集やアフレコ編集をするときは**
  録画モードを SP にして撮影してください（☞ P.163）。
  アフレコ編集をするときは、音声モードも 12BIT にして撮影してください（☞ P.163）。
  お買い上げ時には録画モードは SP、音声モードは 12BIT に設定されています。



- **電源が切れてしまったら**
  撮影を停止してから 5 分経つとビデオカメラの節電とテープ保護のため自動的に電源が切れます。再び撮影したいときは、ファインダーを一度入れ、再び引き出してください。液晶画面をお使いのときは、液晶画面を一度閉じ、再び開いてください。

- **バッテリー残量表示（▭が点滅）が出たら**
  バッテリーが少なくなっています。バッテリーがなくなると自動的に電源が切れます（☞ P.48）。電源が切れる前にバッテリーを交換してください。

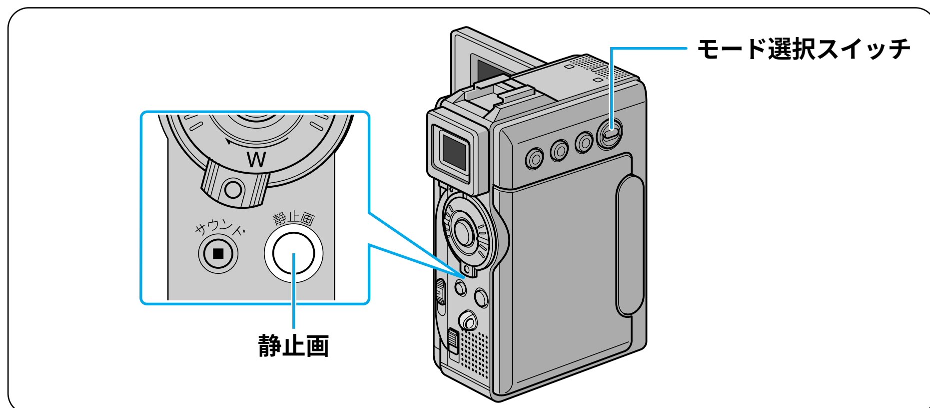
- **正常に録画できない**
  ビデオヘッドが汚れているかもしれません（☞ P.182）。大切な撮影の前には試し撮りをして、正常に録画、録音されていることをご確認ください。

これだけは知っておこう編

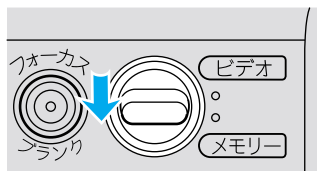


Act.5B　静止画を撮影する

静止画の撮影も、ボタン1つでできます。



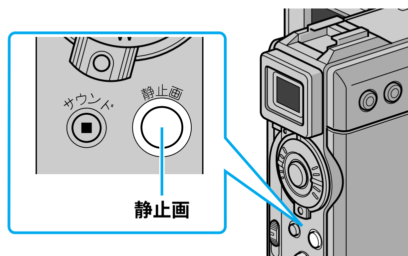
1　モード選択スイッチを「メモリー」の位置に合わせる



2　「静止画」ボタンを押す

シャッター音がして、静止画が記録されます。

➡ M の矢印が点滅して静止画をメモリーカードに取り込みます。





記念写真（静止画）モード

静止画にフレームを付けたり、分割写真のような効果を付けたりすることもできます。記念写真モードは次の５種類があり、メニュー画面で選択できます（☞P.76、163）。

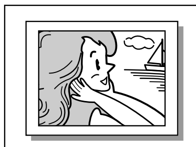
フルモード



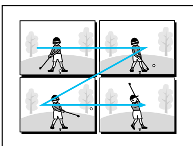
フレームモード



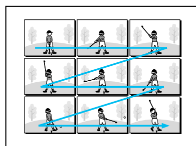
ピンナップモード



4マルチモード



9マルチモード





撮影枚数の目安

画像サイズ（画質モード）	マルチメディアカード			SD メモリーカード				
	8MB（別売）	16MB（別売）	32MB（市販）	8MB※（付属）	8MB（市販）	16MB（市販）	32MB（市販）	64MB（市販）
XGA（ファイン）	約24枚	約49枚	約100枚	約16枚	約20枚	約46枚	約97枚	約195枚
XGA（スタンダード）	約74枚	約150枚	約305枚	約51枚	約62枚	約140枚	約295枚	約610枚
VGA（ファイン）	約53枚	約105枚	約215枚	約37枚	約44枚	約100枚	約210枚	約435枚
VGA（スタンダード）	約150枚	約310枚	約630枚	約105枚	約125枚	約290枚	約610枚	約1255枚

※アクセサリーキット同梱のメモリーカードには、出荷時にサウンドデータが記録されています（☞ P.100）。このため撮影枚数は若干少なくなります。

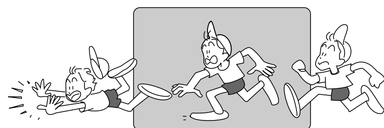
- 画質設定（モード）には、画質の良い順にファイン（F）、スタンダード（S）の２種類があります。画質設定を変更するときには（☞ P.82、165）
- 画像サイズには、ファイルサイズの大きいXGAサイズと、たくさんの枚数を撮影できるVGAサイズがあります。画像サイズを変更するときには（☞ P.82、165）
- 周囲が暗いときは、別売ビデオフラッシュ（VL-F3）、別売ビデオライト（VL-V3）での撮影をお勧めします。



- 静止画撮影時は、手ぶれ補正機能が働きません。

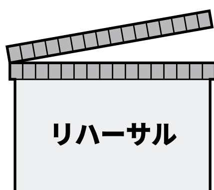
上手に撮るコツは

ビデオカメラを動かさない



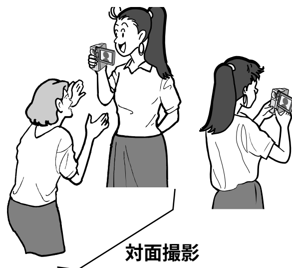
安定した映像を撮るためのコツは、画面に映っている人が動いてもビデオカメラは動かさないことです。
左右に動くものを撮影したいときは水平に、高さのあるものは垂直にゆっくり動かします。そのときのコツは、撮り始めと撮り終わりでカメラをピタッと止めることです。

カメラリハーサルを行う



撮影を始める前にカメラリハーサルをして、ビデオカメラの操作に慣れておきましょう。どのタイミングでどんな操作をするかシナリオを書いておくことで、本番の撮影がスムーズになります。
また、周りの明るさや被写体との距離なども事前にチェックして、それぞれ適切な状態で撮影できるように準備しておきます。

いろいろなアングルで撮影する



正面からだけでなくいろいろなアングルで撮影すると、同じ被写体でも印象の違う映像を撮影できます。液晶画面の傾きを、見やすいように調節してください。
また、液晶画面を180°回転させて画面を被写体に見せながら撮影すると、より生き生きとした表情を撮影できます。

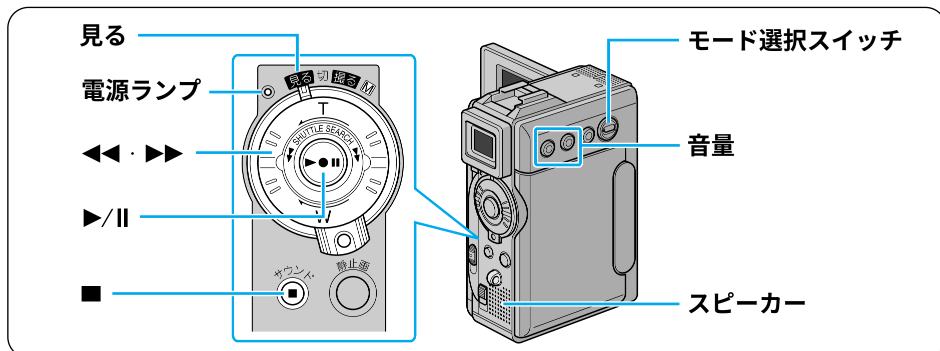


- 対面撮影中には、ファインダーを引き出せばファインダーにも映像が表示されます。
- 対面撮影中の液晶画面の映像は鏡に映ったように左右が反転しますが、撮影したビデオは左右が反転しません。
- 対面撮影中のファインダーや液晶画面上の表示は簡略化されます。テープ走行表示と、ビデオカメラにトラブルが生じたときの警告表示のみ表示します。

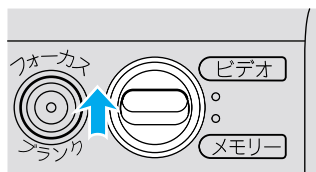


ビデオを再生する

撮影した映像を、ビデオカメラの液晶画面で見ることができます。

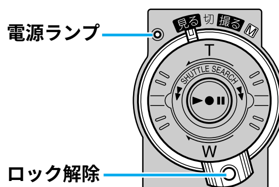


1 **モード選択スイッチを「ビデオ」の位置に合わせる**



2 **ロック解除ボタンを押したまま電源ダイヤルを回し、「見る」の位置に合わせる**

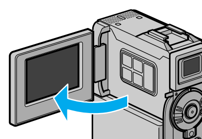
電源ランプが点灯します。



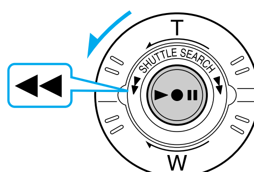
3 **液晶画面を開く**

- ファインダーが引き出されているときは、元に戻してください。

青い画面が表示されます。



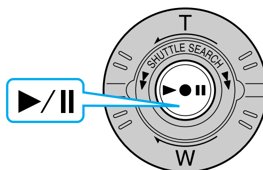
4 **「◀◀・▶▶」ダイヤルを「◀◀」側に回して、テープを巻き戻す**



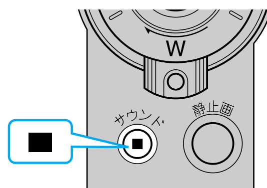
次へ続く

5 「▶/Ⅱ」ボタンを押して、再生する

ビデオが再生されます。



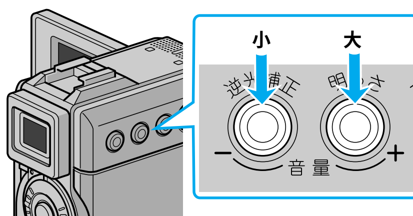
6 見終わったら「■」ボタンを押して、テープを停止する

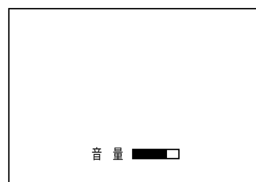


スピーカーの音量を調整するには

ビデオの再生中に「音量＋」・「音量－」ボタンで、スピーカーの音量を調整できます。

- 大きくする → 「音量＋」ボタン
- 小さくする → 「音量－」ボタン



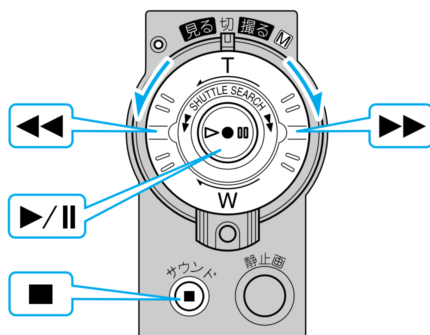


ビデオの操作方法について

早送り再生やスロー再生をするには、再生中に次の操作を行います。

早送り再生	▶▶ 側に回す　または　回し続ける
巻戻し再生	◀◀ 側に回す　または　回し続ける
一時停止	▶/Ⅱを押す
コマ送り再生 スロー再生 (リモコンのみ)	一時停止中にリモコンの ◀Ⅰ・Ⅰ▶ ボタンを押すと Ⅰ▶ 正転コマ送り(約2秒間押し続けると正転スロー) ◀Ⅰ 逆転コマ送り(約2秒間押し続けると逆転スロー)

通常の再生に戻すには、「▶/Ⅱ」ボタンを押します。
リモコンでも操作できます（☞ P. 191）。
リモコンを使うと、コマ送り再生やスロー再生もできます（☞ P. 191）。





- 早送り再生、巻戻し再生は 9 倍速で再生します。
- 一時停止の状態が約 3 分続くと、自動的に停止します。
- 停止の状態が約 5 分続くと、自動的に電源が切れます（AC アダプターを使用していない場合）。



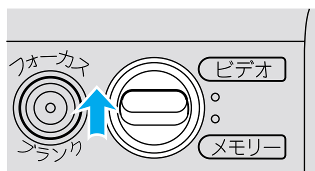
- 早送り／巻戻し再生中やスロー再生中は、映像が多少みだれます。
- 正転スロー再生を約 5 分、または逆転スロー再生を約 5 分（80 分テープのときは 20 秒）続けると自動的に通常再生に戻ります。
- 「▶/Ⅱ」ボタンを押すと、映像が一時停止します。その後、青い画面が表示されることがあります。
- モザイク状のノイズが出たり、青い画面のまま映像が出ないときは、ヘッドを清掃してください（☞ P 182）。

これだけは知っておこう編

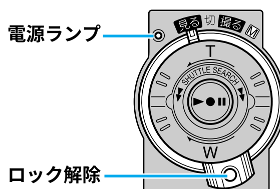


無記録部分を探す[ブランクサーチ]

ビデオテープの中にある 5 秒間以上の無記録部分を探します。
途中まで記録したビデオテープを取り出したり、再生してしまったときなどに、撮影開始点を効率よく見つけることができます。

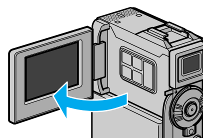


1 モード選択スイッチを「ビデオ」の位置に合わせる



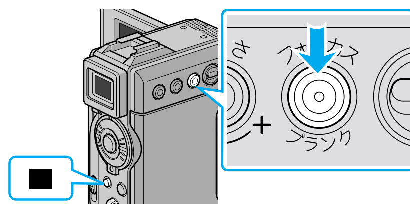
2 ロック解除ボタンを押したまま電源ダイヤルを回し、「見る」の位置に合わせる

電源ランプが点灯します。



3 液晶画面を開く

液晶画面に青い画面が表示されます。

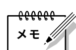


4 「ブランク」ボタンを押します。

ブランクサーチがスタートします。

5 秒間以上の無記録部分を見つけると、約 3 秒手前で自動的に停止します。

- ブランクサーチを中止するには、「■」ボタンを押します。

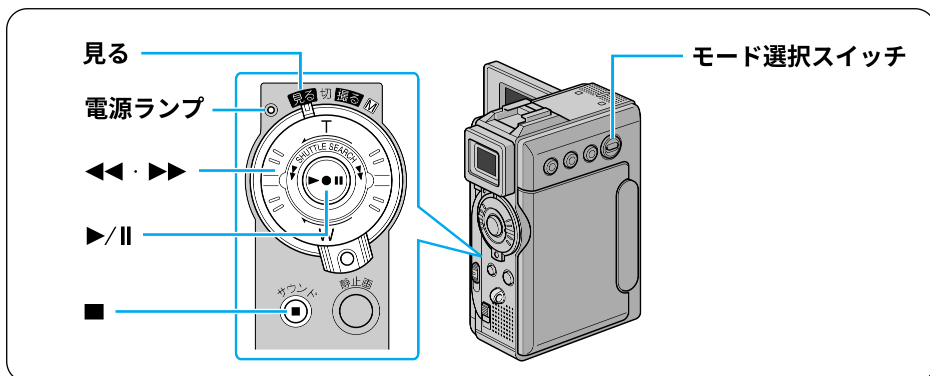


- すでに映像が記録されている部分でも、5 秒間以上の無記録部分があると停止します。停止した位置以降に記録されている部分がないか、録画を開始する前によく確認してください。
- 無記録部分の約 3 秒手前で停止しますので、そこから録画をスタートすると、約 3 秒間映像が上書きされてしまいます。必要に応じて再生し、スタート位置を確認してください。
- ブランクサーチを映像の記録された部分からスタートすると早送り方向に、無記録部分からスタートすると巻き戻し方向にブランクサーチを行います。

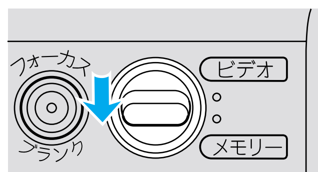


静止画を再生する

撮ったその場で静止画を確認できます。

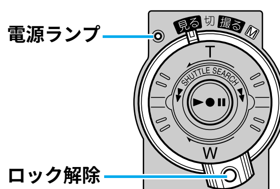


1 **モード選択スイッチを「メモリー」の位置に合わせる**



2 **ロック解除ボタンを押したまま電源ダイヤルを回し、「見る」の位置に合わせる**

電源ランプが点灯します。

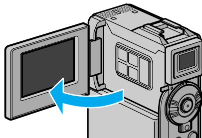


これだけは知っておこう編

次へ続く

3 液晶画面を開く

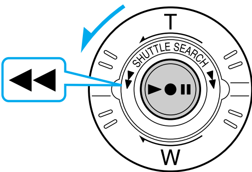
- ファインダーが引き出されているときは、元に戻してください。
- 液晶画面に最後に撮影した静止画が再生されます。





4 「◀◀・▶▶」ダイヤルを「◀◀」側に回して、前の静止画を再生する

- 次の静止画を再生するには「▶▶」側に回してしてください。



連続再生の操作方法について

静止画を連続して再生するには、手順 4 で次の操作を行います。

連続再生（正方向）	**▶/Ⅱを押す**
停止	**連続再生中に■を押す**

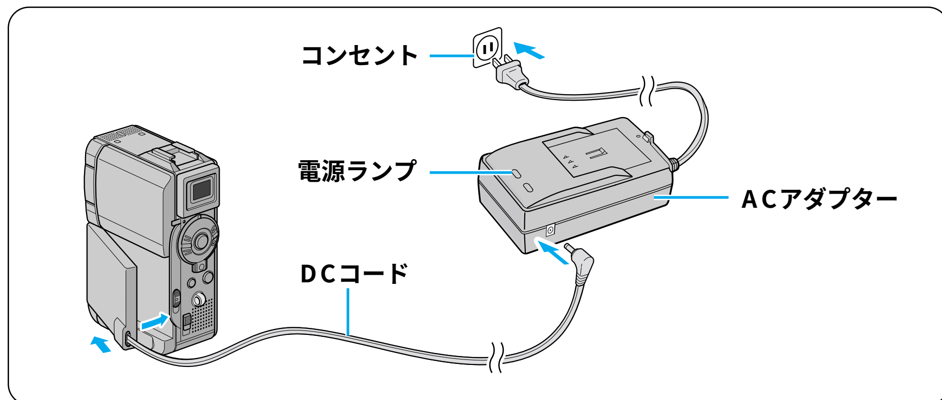
リモコンでも操作できます（☞ P.191）。



- 静止画を再生したあとに撮影を行っても、最後に撮影された画像の次に撮影されます。上書きされません。
- メモリーカードに記録された静止画像ファイルは DCF（Design rules for Camera File Systems）に対応しています。DCF 対応していない機器とは互換性はありません。

コンセントの電源で使う

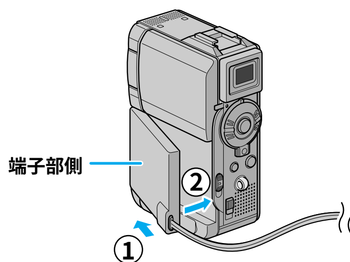
室内で撮影または再生するときは、別売アクセサリーキット(VU-P3KIT)の AC アダプターを使ってコンセントから電源を取ると、バッテリーの消費を気にせず使用できます。



1 **DC コードを本体に取り付ける**

①端子部側を奥にして本体に差し込みます。

②カチッと音がするまで本体に押しつけて取り付けてください。



2 **DC コードを AC アダプターに差し込む**

3 **AC アダプターの電源コードをコンセントに差し込む**

AC アダプターの電源ランプが点灯します。

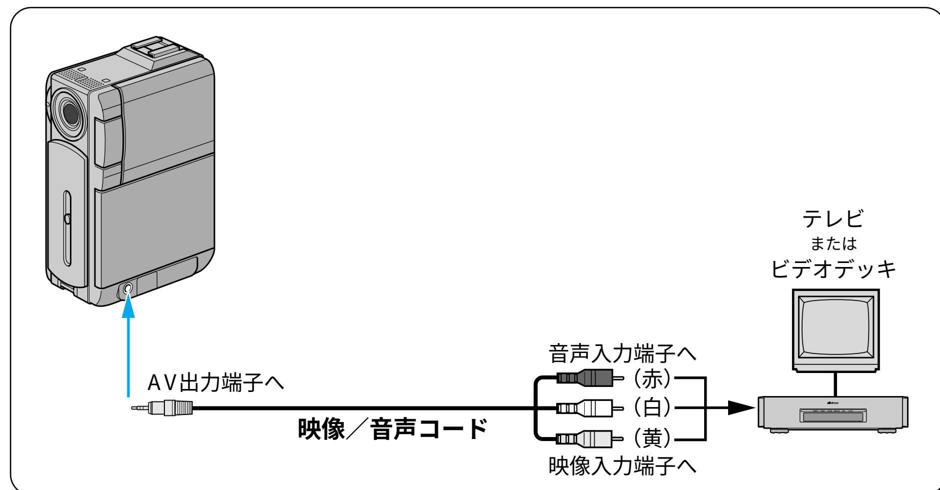


- AC アダプターは、海外でも使用できます（☞ P. 196）。

これだけは知っておこう編

テレビで見る

みんな揃ってビデオを見たいときには、ご家庭のテレビなどにビデオカメラを接続すると便利です。



接続する

ビデオカメラをテレビやビデオデッキに接続するには、別売アクセサリーキット(VU-P3KIT)の映像／音声コードを使用します。
S映像入力端子があるテレビやビデオデッキには、同アクセサリーキットのドッキングステーションとS映像コードもご使用ください。より高画質の映像をお楽しみいただけます(☞ P. 68)。

1 **「AV出力」端子に、映像／音声コードを接続する**

2 **テレビやビデオデッキの映像入力端子と音声入力端子に、映像／音声コードを接続する**

再生する

1 ロック解除ボタンを押したまま電源ダイヤルを回し、「見る」の位置に合わせる

2 テレビの電源を入れる

- ビデオデッキに接続している場合は、ビデオデッキの電源も入れます。

3 テレビのチャンネルやビデオデッキの入力モードを設定する

- テレビに接続したとき
  テレビの入力モードを、ビデオカメラを接続した端子に切り替えます。
  （例えば「ビデオ 1、ビデオ 2、ビデオカメラ」など）
- ビデオデッキに接続したとき
  テレビを、ビデオを見るチャンネルに合わせ、ビデオデッキの入力モードを外部入力に設定します。

テレビ画面が青くなります。

4 再生する

- ビデオを再生するには（☞ P.59）
- 静止画を再生するには（☞ P.63）



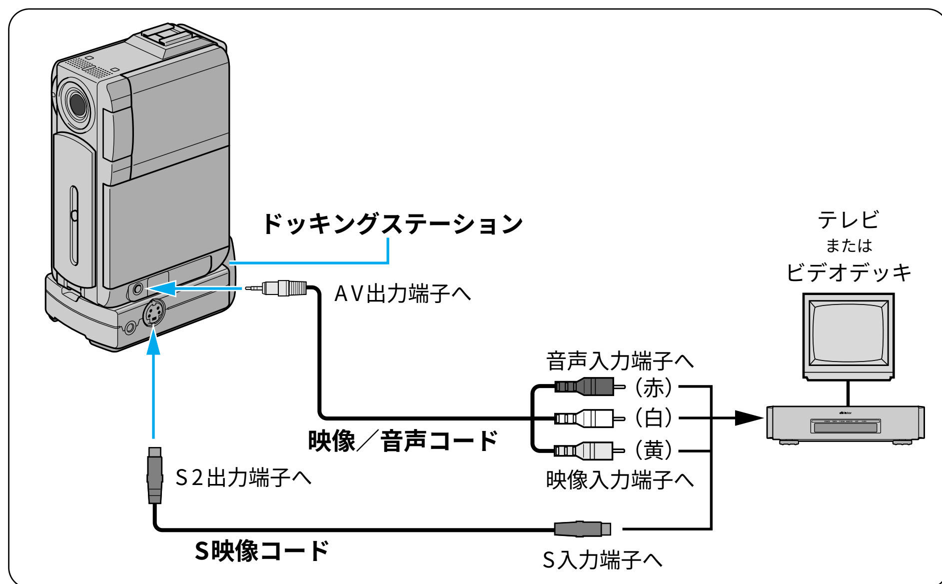
- ご使用になるテレビやビデオデッキによって、入力モードの設定方法は異なります。詳しくはテレビやビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。
- 再生時のメッセージ表示を消す（☞ P.120、122、161）
- 再生映像をズームしたい（☞ P.118）
- 再生映像に変化を付けたい（☞ P.119）



- モザイク状のノイズが出たり、青い画面のまま映像が出ないときは、ヘッドを清掃してください（☞ P.182）。

S 映像入力端子のあるテレビで見る

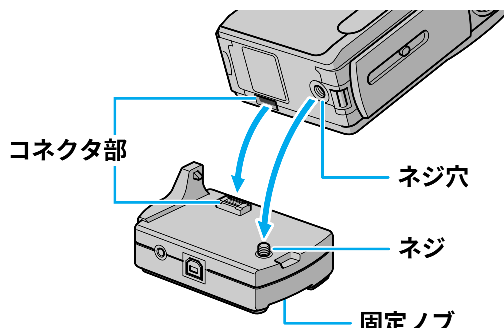
S 映像入力端子があるテレビやビデオデッキには、別売アクセサリーキット(VU-P3KIT)のドッキングステーションとS映像コード、映像／音声コードをご使用ください。より高画質の映像をお楽しみいただけます。



接続する

1 ビデオカメラに、ドッキングステーションを取り付ける

ビデオカメラ底面のコネクタ部およびネジ穴とドッキングステーションのコネクタ部およびネジを合わせ、固定ノブを回して取り付けます。



2 ドッキングステーションの「S2 出力」端子に S 映像コードを接続する

3 ビデオカメラの「AV 出力」端子に映像／音声コードを接続する

4 テレビやビデオデッキの S 映像入力端子と映像／音声入力端子に、S 映像コードと映像／音声コードを接続する



- ご使用になるテレビやビデオデッキによって、入力モードの設定方法は異なります。詳しくはテレビやビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。
- 再生時のメッセージ表示を消す（☞ P.120、122、161）
- 再生映像をズームしたい（☞ P.118）
- 再生映像に変化を付けたい（☞ P.119）

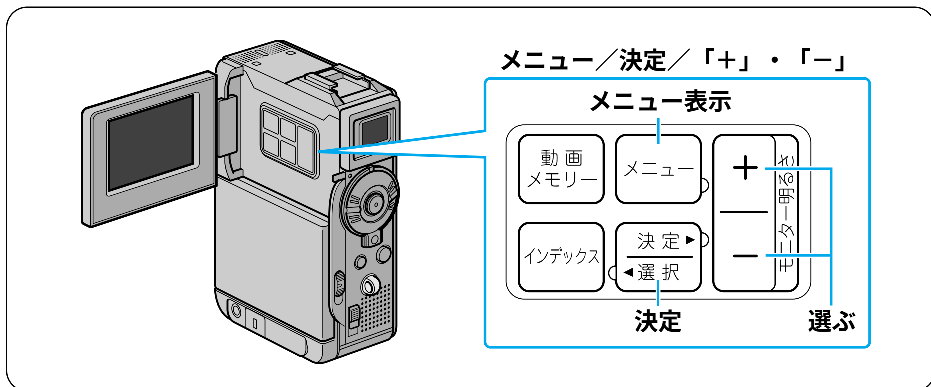


- モザイク状のノイズが出たり、青い画面のまま映像が出ないときは、ヘッドを清掃してください（☞ P.182）。
- ドッキングステーションを取り付けた状態で、メモリーカードの出し入れ、DV コードの抜き差しはできません。

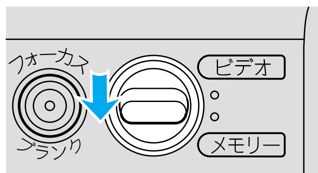
メモリーカードのファイルを削除する

静止画を選択して削除する

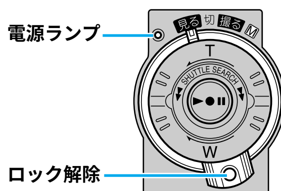
メモリーカードに空きがなくなると静止画を撮れなくなります。新しいメモリーカードと交換するか、不要な静止画を削除してください。
ここでは、静止画を削除してメモリーカードの空きを増やす方法を説明します。



1 モード選択スイッチを「メモリー」の位置に合わせる

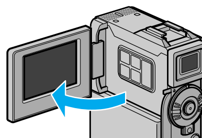


2 ロック解除ボタンを押したまま、電源ダイヤルを「見る」の位置に合わせる

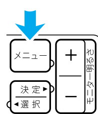


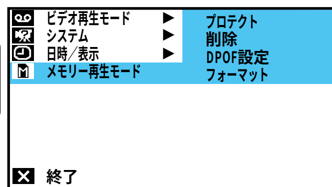
3 液晶画面を開く

液晶画面に静止画が表示されます。



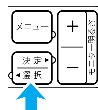
4 「メニュー」ボタンを押して、メニューを表示する

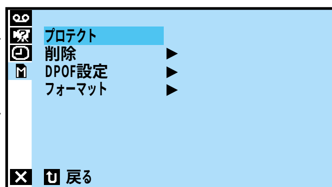




5 「決定」ボタンを押す

メモリー再生モード設定メニューが表示されます。

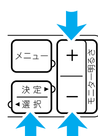


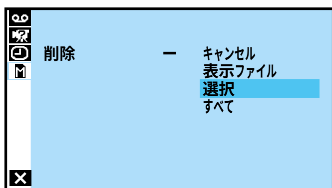


6 「＋」・「－」ボタンを押して「削除」を選び、「決定」ボタンを押す

「表示ファイル」「選択」「すべて」が表示されます。

7 「＋」・「－」ボタンを押して「選択」を選び、「決定」ボタンを押す





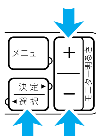
削除画面が表示されます。

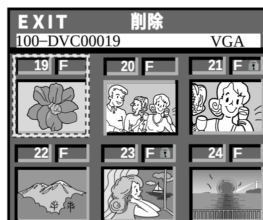
- 「選択」のかわりに「表示ファイル」を選ぶと、画面に表示されている静止画を削除できます。そのときは手順 12 に進んでください。
  ただし、その静止画にプロテクトがかかっている場合は、手順 12 のあとに「プロテクトがかかっています」と表示され、静止画は削除されません。

これだけは知っておこう編

次へ続く

8 「＋」・「－」ボタンを押して、削除したい静止画に枠線を合わせる





9 「決定」ボタンを押す

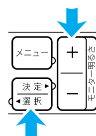
静止画に「×」がつきます。

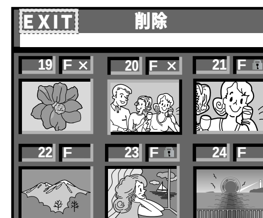
- 間違えて「×」をつけてしまったときは、その静止画に枠線を合わせて「決定」ボタンを押します。「×」が消えます。

10 他の静止画も削除したいときは、手順 8 ～ 9 を繰り返す

11 「＋」ボタンを押して「EXIT」を選び、「決定」ボタンを押す

「キャンセル」と「実行」が表示されます。

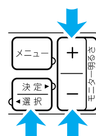


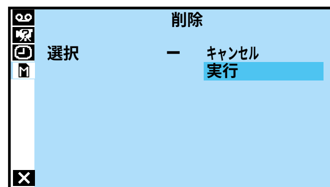


12 「＋」「－」ボタンを押して「実行」を選び、「決定」ボタンを押す

- 削除をやめるには「キャンセル」を選びます。

「×」をつけた静止画が削除され、再生画面に戻ります。



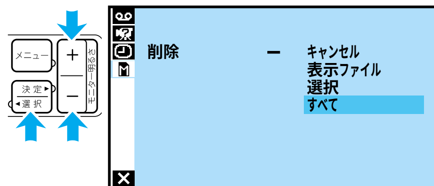


すべての静止画を削除する

ここでは、すべての静止画を削除する方法を説明します。

1 「静止画を選択して削除する」(☞P.70)の手順 7 で「すべて」を選び、「決定」ボタンを押す

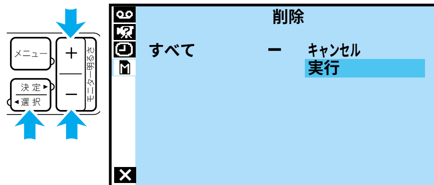
「キャンセル」と「実行」が表示されます。



2 「+」・「−」ボタンを押して「実行」を選び、「決定」ボタンを押す

- 削除をやめるには「キャンセル」を選びます。

静止画がすべて削除されます。





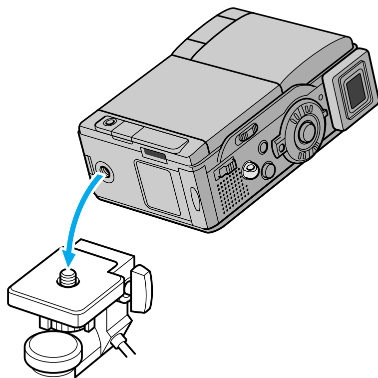
- プロテクトした静止画は、上記の操作で削除されません(☞P.158)。
- プロテクトした静止画を削除するには、あらかじめプロテクトを解除しておきます(☞P.160)。

ご注意

- 削除中はメモリーカードを取り出したり、電源を切らないでください。故障などの原因となることがあります。
また、別売の AC アダプターをお使いください。途中でバッテリーがなくなると、故障の原因となります。
- 削除した画像は元に戻せません。削除する前に内容を確認してください。

三脚を使って撮影する

三脚を使用するとビデオカメラが安定し、記念撮影やズーム機能を使った撮影で役立ちます。



1 **三脚のネジと本体底面のネジ穴を合わせる**

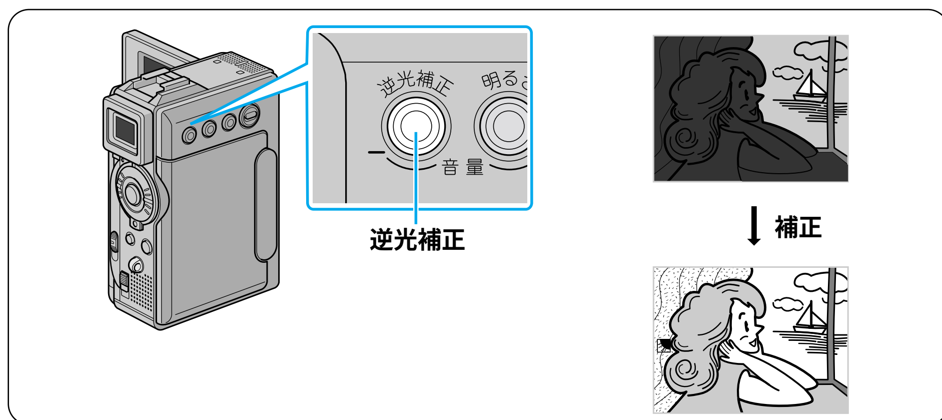
2 **三脚のネジを回して固定する**



- ご使用になる三脚の取扱説明書もご覧ください。

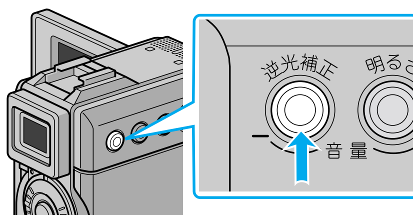
被写体の後ろに太陽があるとき［逆光補正］

太陽に向かって撮影すると、太陽を背にした被写体（人物）が暗くなって綺麗に撮影できません。このようなときに「逆光補正」ボタンを押すと、被写体が明るく補正されます。



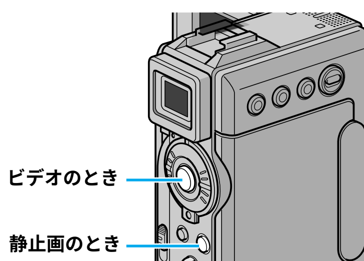
1 「逆光補正」ボタンを押す

画面に逆光補正マーク（ ）が表示されます。



2 撮影ボタンまたは「静止画」ボタンを押して撮影する

3 逆光補正を解除するには、「逆光補正」ボタンを押す





- 「逆光補正」ボタンを使うと、被写体の周囲が明るくなりすぎて白くなることがあります。
- より適切な明るさに調節したいときは、明るさ調整メニューで設定してください（☞ P.84）。

ビデオテープに静止画を撮る［記念写真モード］



ビデオの中に写真のような静止画を挿入できます。被写体の表情を印象的に撮影したいときなどに効果的です。
記念写真モードは、次の 5 種類から選択できます。

フルモード



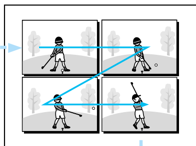
フレームモード



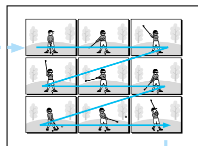
ピンナップモード



4マルチモード

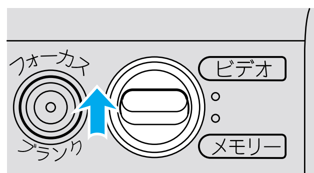


9マルチモード

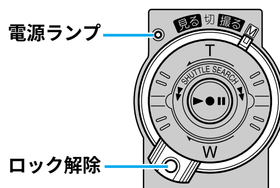


静止画の見せ方を変更する

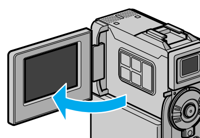
1 **モード選択スイッチを「ビデオ」の位置に合わせる**



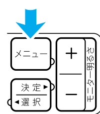
2 **ロック解除ボタンを押したまま電源ダイヤルを回し、「Ⓜ」の位置に合わせる**

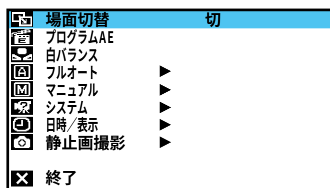


3 **液晶画面を開く**



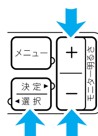
4 **「メニュー」ボタンを押してメニューを表示する**

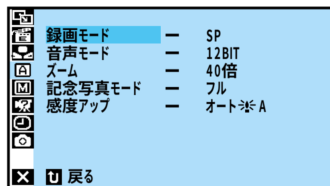




5 **「+」・「−」ボタンを押して「A フルオート」を選び、「決定」ボタンを押す**

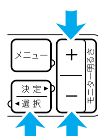
フルオート設定メニューが表示されます。

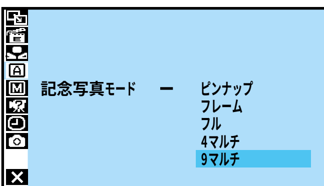




6 **「+」・「−」ボタンを押して「記念写真モード」を選び、「決定」ボタンを押す**

7 **「+」・「−」ボタンを押して使用する記念写真モードを選び、「決定」ボタンを押す**





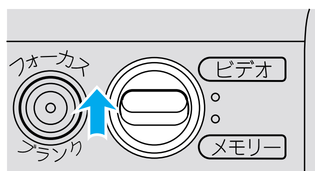
8 **「決定」ボタンを 2 回押して撮影画面に戻る**

次へ続く

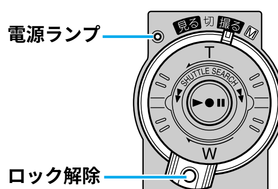
ビデオテープに静止画を撮る［記念写真モード］

ビデオテープに静止画を記録する

1 **モード選択スイッチを「ビデオ」の位置に合わせる**



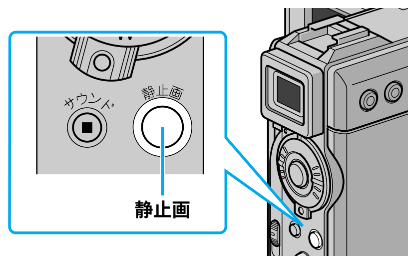
2 **ロック解除ボタンを押したまま電源ダイヤルを回し、「撮る」または「M」の位置に合わせる**

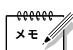


3 **「静止画」ボタンを押す**

液晶画面の映像が約 6 秒間停止し、指定したモードで音声とともにテープに記録されます。

- 押し続けると、約１秒ごとに連写します。
- ビデオの撮影中でも、ビデオテープに静止画を記録することができます。





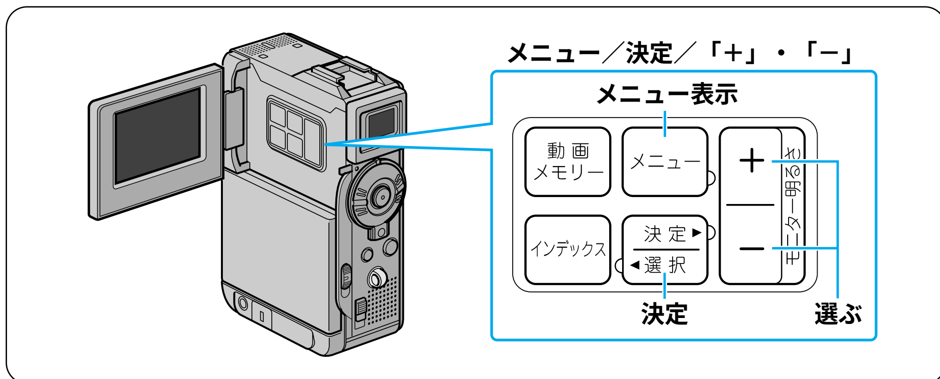
- 記録選択設定を「➡▭／➡M」に変更すると、ビデオテープへの記録と同時にメモリーカードにも静止画が記録されます（☞ P.165）。
- ビデオ再生中の映像に記念写真モードの効果を加えることもできます。▭➡M コピー設定（☞ P.111）を「切」にしてご使用ください。
- 4 マルチ、9 マルチモードを設定していても、ナイトアイ（☞ P.96）設定中は、フルモードで記録されます。



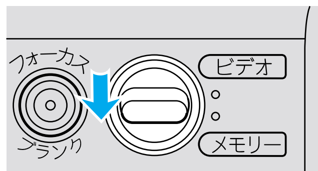
- 静止画撮影ができないときは、静止画ボタンを押したときに「PHOTO」が点滅します。
- プログラム AE（☞ P.96）の中には、静止画撮影時に働かないものがあります。このようなときは、プログラム AE アイコンが青く点滅してお知らせます。

動きの速いものを撮影する

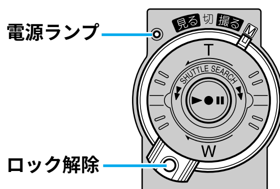
走っている人物など動きの速い被写体をブレなく捕らえるには、シャッター速度を速くします。



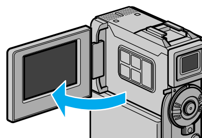
1　モード選択スイッチを「メモリー」の位置に合わせる



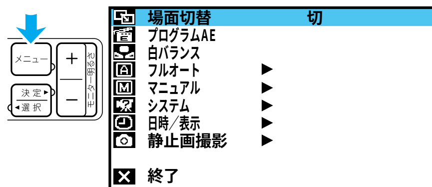
2　ロック解除ボタンを押したまま電源ダイヤルを回し、「M」の位置に合わせる



3　液晶画面を開く



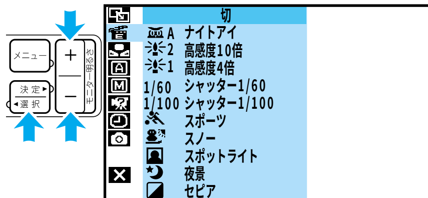
4　「メニュー」ボタンを押して、メニューを表示する



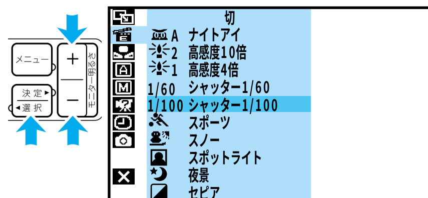
次へ続く

5 「＋」・「－」ボタンを押して「プログラム AE」を選び、「決定」ボタンを押す

プログラム AE メニューが表示されます。



6 「＋」・「－」ボタンを押して「1/100　シャッター 1/100」を選び、「決定」ボタンを押す



7 「決定」ボタンを押して撮影画面に戻る

画面の左側に「1/100」と表示されます。



シャッター速度の設定を取り消すには

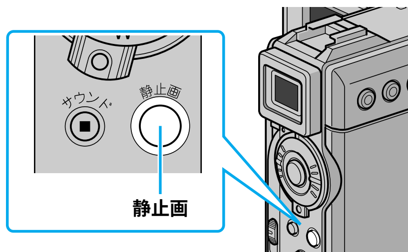
手順 6 で「切」を選んでください。

撮影する

静止画を撮る

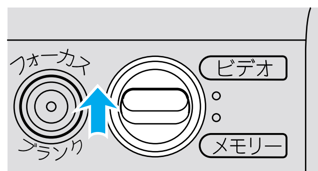
1 「静止画」ボタンを押して、静止画を撮影する

- 静止画がぶれてしまうときは、前ページの手順 6 で「スポーツ」を選択してください（☞ P.96）。



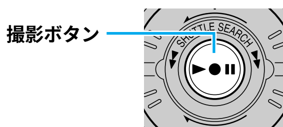
ビデオを撮る

1 モード選択スイッチを「ビデオ」の位置に合わせる



2 撮影ボタンを押して、ビデオを撮影する

- ビデオを再生して一時停止したときに、映像がぶれてしまう場合は、前ページの手順 6 で「スポーツ」を選択してください（☞ P.96）。

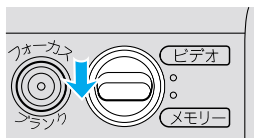


静止画のサイズや画質を変更する 

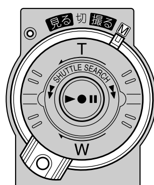
静止画のサイズには、XGA（1024 × 768 ドット）と VGA（640 × 480 ドット）の 2 つがあります。また、XGA と VGA のそれぞれに高画質のファインと、たくさんの枚数が撮影できるスタンダードがあります。
出荷時は VGA のファインに設定されていますので、静止画の用途や目的に合わせて設定を変更してください。

静止画のサイズを変更する

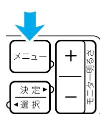
1 モード選択スイッチを「メモリー」に合わせる

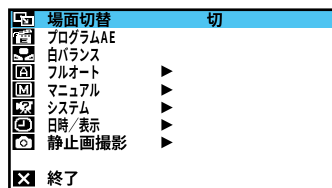


2 「M」の位置に合わせる



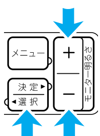
3 「メニュー」ボタンを押してメニューを表示する

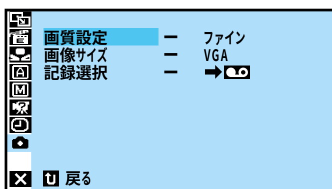




4 「+」・「−」ボタンで「 静止画撮影」を選び、「決定」ボタンを押す

静止画撮影設定メニューが表示されます。

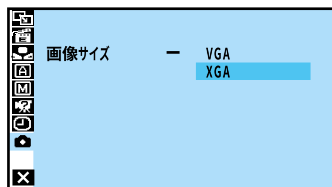




5 「画像サイズ」を選び、「決定」ボタンを押す

「VGA」「XGA」が表示されます。

6 使用するサイズを選び、「決定」ボタンを押す



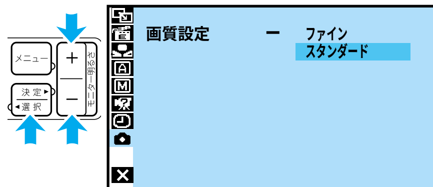
7 「決定」ボタンを 2 回押して撮影画面に戻る

静止画の画質を変更する

1 「静止画のサイズを変更する」の手順 5 で「画質設定」を選び、「決定」ボタンを押す

「ファイン」「スタンダード」が表示されます。

2 使用する画質を選び、「決定」ボタンを押す



3 「決定」ボタンを 2 回押して撮影画面に戻る



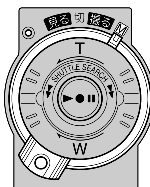
- 撮影画面では、ファインモードは「FINE」、スタンダードモードは「STD」と表示されます。
- 720 × 480 ドットで撮影した画像をデータ変換し、XGA（1024 × 768 ドット）ファイルサイズで保存しています。

撮影方法を手動で設定する[マニュアル撮影]

画像の明るさを調整する

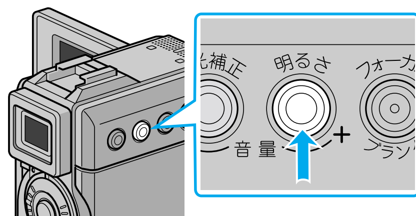
太陽が背景にあって被写体が暗くなったり、スポットライトなどがあたって被写体が明るくなりすぎるときは、「逆光補正」ボタン（☞ P.75）やプログラム AE メニューの「スポットライト」機能（☞ P.96）を使用すると簡単に明るさを調節できます。
しかし、周囲の明るさによっては、「逆光補正」ボタンや「スポットライト」機能では最適な結果を得られないことがあります。より詳細に調節したいときは、次の手順で設定してください。

1 「Ⓜ」の位置に合わせる



2 「明るさ」ボタンを押す

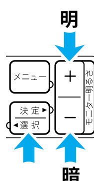
明るさを示す数値が表示されます。



3 「＋」・「－」ボタンを押して数値を変更し、「決定」ボタンを押す

明るくする　→「＋」ボタン
（＋ 6 まで）

暗くする　→「－」ボタン
（－ 6 まで）





撮影画面に戻ります。

- 「＋ 3」は、「逆光補正」ボタンと同じ効果です。
- 「－ 3」は、プログラム AE メニューの「スポットライト」機能と同じ効果です。

自動調節に戻すには

明るさを自動調節に戻すには、「明るさ」ボタンを 2 回押してください。
また、電源ダイヤルを「撮る」に設定したときも自動調節に戻ります。

一定の明るさで撮影するには

動きのある被写体を撮影するときやズーム操作を行うときには、画面の明るさを一定に保ちたいことがあります。このようなときは次の操作をしてください。

1 前ページの手順 3 で数値を変更したあと、「決定」ボタンを 2 秒以上押す

画面に L と表示されます。

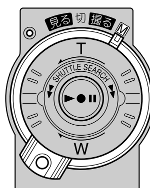
2 再度「決定」ボタンを押す

表示が L に変わり、明るさが固定されます。

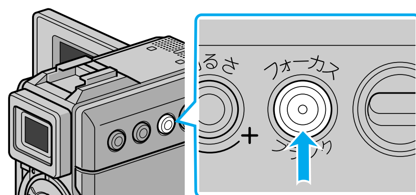
ピントを手動で合わせる［マニュアルフォーカス］

このビデオカメラは、約 5 センチ（☞ P.52）から無限遠まで自動的にピントを合わせるオートフォーカス機能を備えています。ただし、画面中央の被写体にピントを合わせるため、被写体が画面端にいるときは間違った距離にピントが合ってしまうことがあります。また、被写体や周囲の条件によっては、オートフォーカス機能が正しく動作しないこともあります。このようなときは、ピントを手動で合わせてください。

1 「Ⓜ」の位置に合わせる



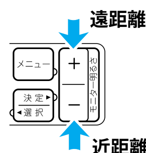
2 「フォーカス」ボタンを押す

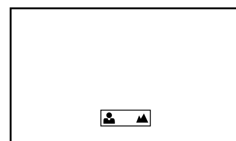


3 「+」・「−」ボタンを押して、ピントを合わせる

- ピントを合わせたい被写体が

  遠くにある →「+」ボタン（▲）
  近くにある →「−」ボタン（👤）





4 「決定」ボタンを押す

自動調節に戻すには

ピントの調節を自動に戻すには、「フォーカス」ボタンを 2 回押すか、電源ダイヤルを「撮る」に設定してください。



- ズーム操作をするときは、ピントを合わせる前に望遠（T）側に設定しておき、ピントを合わせてから広角（W）側に調節するとピントがずれません。
- **こんなときに手動でピントを合わせます**
  - 平らな壁や青空など、コントラスト（明暗差）のほとんどない被写体を撮るとき
  - 金網などの障害物が被写体との間にあるとき
  - 細かい模様や同じ模様が規則正しく並んでいる被写体を撮るとき
  - 蛍光灯などのちらつきのある光源の下で撮影するとき

画像の色合いを調節する［白バランス］

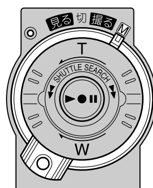
ビデオカメラは、通常、色のバランスを自動的に調節し、最も自然な色合いを再現します。ただし、天候や撮影用ライトなど、光源の状態によっては自然な色合いを再現できないことがあります。

液晶画面やファインダーで色合いが不自然なときは、白バランスを変更して撮影してください。白バランスの設定は、5 種類のモードから選択できます。

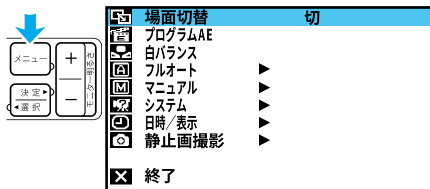
オート・・・・・・・・・・・・：自動的に色のバランスを調節します。
ワンタッチ ・・・・：被写体の色をより正しく撮影したいときに選択します（☞ P.89）。
はれ ・・・・・・・・・・：晴れた日に屋外で撮影するときに選択します。
くもり・・・・・・・・：曇りの日や日陰で撮影するときに選択します。
ハロゲン ・・・・・・：撮影用ライトなどで照明して撮影するときに選択します。

上記の設定は、電源ダイヤルを「Ⓜ」に設定したときのみ有効です。「撮る」に設定しているときは「オート」と同じ動作をします。

1 「Ⓜ」の位置に合わせる



2 「メニュー」ボタンを押してメニューを表示する

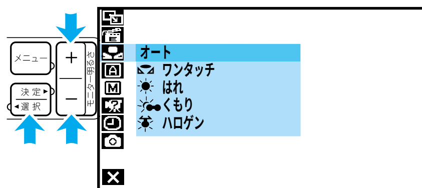


撮影・上級テクニック編

次へ続く

3 「＋」・「－」ボタンで「白バランス」を選び、「決定」ボタンを押す

白バランスメニューが表示されます。



4 「＋」・「－」ボタンを押してモードを選び、「決定」ボタンを押す

- 「ワンタッチ」を選択するときは、次ページの『白バランスを正確に設定する』を参照してください。

5 「決定」ボタンを押して撮影画面に戻る



自動調節に戻すには

白バランスを自動調節に戻すには、手順 4 で「オート」を選択してください。

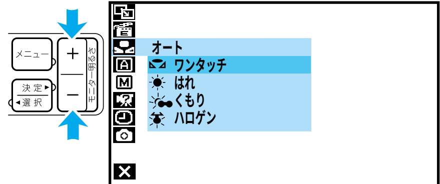
白バランスを正確に設定する

白バランスを調節すると、被写体をより正しい色で撮影できます。

1 「画像の色合いを調節する」（☞ P.87）の手順 1 ～ 3 を行う

白バランスメニューが表示されます。

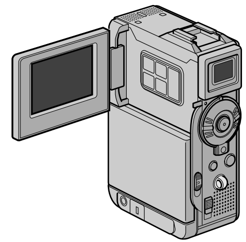
2 「＋」・「ー」ボタンを押して「ワンタッチ」を選ぶ



3 ビデオカメラと被写体の間に白い紙を置き、画面全体に表示する

- 裏の透けない紙（コピー用紙など）をお使いください。


白い紙



4 「決定」ボタンを押しつづけ、「」の点滅が止まったら指を離す

白バランスが記憶されました。紙を外してください。

5 「決定」ボタンを 2 回押して撮影画面に戻る



- 被写体に当たっている光源によって画像の色合いも変わります。被写体に当たっている光源が変わったときは、再度白バランスを調節してください。
- 設定した白バランスは、再度白バランスを設定するまで有効です。

場面の切り替え部に効果を入れる



場面切替の種類［フェーダー］［ワイプ］

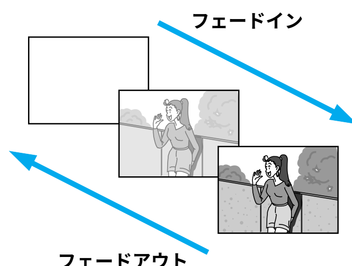
ビデオの最初と最後や場面と場面のつなぎ目に、効果を入れて変化をつける方法を説明します。まず、映像がどのようにつながるのかをイラストを使って説明します。

場面の初めと終わりの効果

1）フェーダー効果

撮り始めは画面が徐々に浮かび上がり（フェードイン）、撮り終わりは徐々に消えていきます（フェードアウト）。

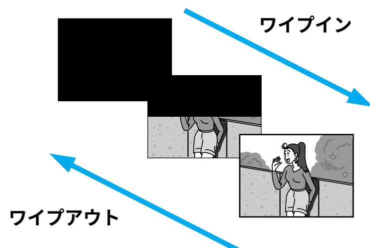
（例）白 フェーダー：白



2）ワイプ効果

撮り始めは画面がある方向に向かってすべり込むように映し出され（ワイプイン）、撮り終わりは逆の方向に向かって消えていきます（ワイプアウト）。

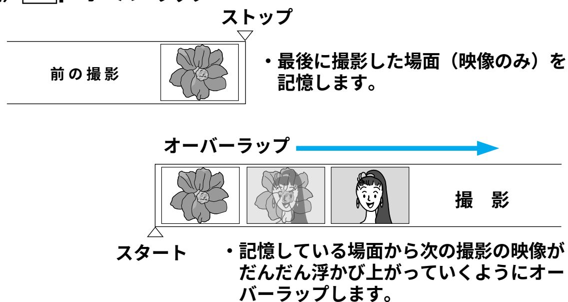
（例）ワイプ：スクロール



次の場面を重ねる効果

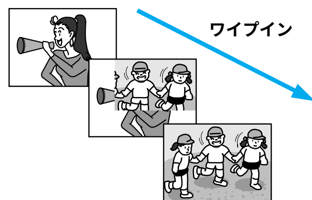
1）オーバーラップ

これから撮影する映像が、直前に撮影した映像から徐々に浮かび上がります。



2）Pの付いているワイプ効果

直前に撮影した映像に、これから撮影する映像をワイプインでつなぎます。



撮影・上級テクニック編

場面の切り替え部に効果を入れる

場面切替には、次の 17 種類の効果があります。

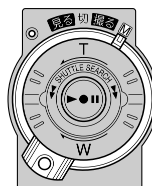
分　類	メニューアイコン	効　果
ー	切	「場面切替」を使用しないときに選択します。
場面の初めと終わりの効果	フェーダー：白	白い画面でフェードイン、フェードアウトします。
	フェーダー：黒	黒い画面でフェードイン、フェードアウトします。
	フェーダー：白黒	白黒画面からカラー画面にフェードインし、カラー画面から白黒画面にフェードアウトします。
	モザイク	モザイク画面でフェードイン、フェードアウトします。
	ワイプ：コーナー	黒い画面の右上から左下に向かって映像が徐々にワイプインし、左下から右上に向かってワイプアウトします。
	ワイプ：ウィンドウ	黒い画面の中央から外に向かって映像が徐々にワイプインし、画面の外から中央に向かってワイプアウトします。
	ワイプ：スライド	黒い画面の右から左に向かって映像が徐々にワイプインし、左から右に向かってワイプアウトします。
	ワイプ：ドア	黒い画面の中央から左右にドアを開けるように映像が徐々にワイプインし、閉めるようにワイプアウトします。
	ワイプ：スクロール	黒い画面の下から上に向かって映像が徐々にワイプインし、上から下に向かってワイプアウトします。
	ワイプ：シャッター	黒い画面の中央から上下に向かって映像が徐々にワイプインし、上下から中央に向かってワイプアウトします。

分　類	メニューアイコン	効　果
次の場面を重ねる効果	**オーバーラップ**	これから撮影する映像が、直前に撮影した映像から徐々に浮かび上がります。
	ワイプ：コーナー	これから撮影する映像が、直前に撮影した映像の右上から左下に向かって徐々にワイプインします。
	ワイプ：ウィンドウ	これから撮影する映像が、直前に撮影した映像の中央から外に向かって徐々にワイプインします。
	ワイプ：スライド	これから撮影する映像が、直前に撮影した映像の右から左に向かって徐々にワイプインします。
	ワイプ：ドア	これから撮影する映像が、直前に撮影した映像の中央から左右にドアを開けるように徐々にワイプインします。
	ワイプ：スクロール	これから撮影する映像が、直前に撮影した映像の下から上に徐々にワイプインします。
	ワイプ：シャッター	これから撮影する映像が、直前に撮影した映像の中央から上下に徐々にワイプインします。

場面切替を設定する

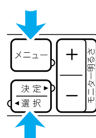
場面切替の効果を設定する方法を説明します。

1 **「Ⓜ」の位置に合わせる**



2 **「メニュー」ボタンを押してメニューを表示し、「決定」ボタンを押す**

場面切替メニューが表示されます。



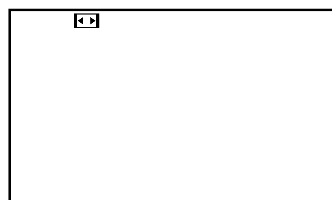
場面切替	
プログラムAE	
白バランス	
フルオート	▶
マニュアル	▶
システム	▶
日時／表示	▶
静止画撮影	▶
終了	

	切
白	フェーダー：白
黒	フェーダー：黒
白黒	フェーダー：白黒
	モザイク
	ワイプ：コーナー
	ワイプ：ウィンドウ
	ワイプ：スライド
	ワイプ：ドア
	ワイプ：スクロール
	ワイプ：シャッター

3 **「＋」・「ー」ボタンで使用する効果を選び、「決定」ボタンを押す**

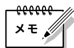
4 **「決定」ボタンを押して撮影画面に戻る**

選択した効果のアイコンが画面の上部に表示されます。



場面切替の効果を取り消すには

手順 3 で「切」を選んでください。



- **アイコンが青く点滅しているとき、またはアイコンが表示されないときは、その機能は動作しません（☞ P.179）。**
- **場面切替設定とプログラム AE 設定（☞ P.96）を一緒に使うと**
  さらに効果的なビデオ撮影をお楽しみいただけます。ただし、プログラム AE 設定と一緒に使えない場面切替があります。
  場面切替設定アイコンが青く点滅して、使えない機能であることをお知らせします。
- **電源を切ってしまったときは**
  「次の場面を重ねる効果」（アイコンに P の付いている切替）を設定したとき、電源が切れたり、テープを出し入れすると、ビデオカメラに記憶されている最後の映像が消えてしまいます。このとき、場面切替設定アイコンが点滅しますので、もう一度通常の撮影をしてから場面切替を行ってください。撮影停止を 5 分以上続けても電源が切れますので、注意してください。

映像に変化をつける［プログラム A E］

プログラム A E の種類

次にあげる 14 種類のプログラム AE を使って、映像に変化をつけて撮影できます。

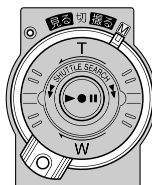
メニューアイコン		効　果
	切	「プログラムAE」を使用しないときに選択します。
A	ナイトアイ	暗い場所に合わせてシャッタースピードを自動的に調節し、被写体を通常より最大30倍（このときのシャッタースピードは1/2秒）まで明るく浮かび上がらせて撮影できます。 明るい場所では、一時的に通常の撮影に戻ります（通常の撮影に戻っている間は「 」マークの横の「A」が消えます）。
2	高感度　10倍	暗い場所にある被写体を、通常よりも約10倍明るく浮かび上がらせて撮影できます（シャッタースピードは1/6秒）。
1	高感度　4倍	暗い場所にある被写体を、通常よりも約4倍明るく浮かび上がらせて撮影できます（シャッタースピードは1/15秒)。
1/60	シャッター1/60	シャッタースピードを1/60に固定します。テレビ画面などを撮影するときに出る黒い帯は細くなります。
1/100	シャッター1/100	シャッタースピードを1/100に固定します。蛍光灯や水銀灯の光で撮影するときに出るちらつきは少なくなります。 (50Hz地域のみ)
	スポーツ	被写体の明るさに合わせてシャッタースピードを1/250から1/4000まで自動的に調節して撮影します。スポーツをしている人物やモータースポーツなど、動きの速い被写体を1コマ1コマ鮮明に撮ることができます。
	スノー	晴れた日の雪原など周囲が明るい場所で撮影するときに、被写体を明るく補正することができます。効果としては「逆光補正」（☞ P.75）と同じですが、こちらの方がやや弱い効果になるので「逆光補正」では効果が強すぎる場合に便利です。
	スポットライト	スポットライトなどがあたって被写体（人物）が明るく写りすぎるときに、被写体を暗く補正することができます。

メニューアイコン		効　果
★☽	夜景	夜景などを撮るとき、映像がザラザラせず、自然な感じで記録することができます。「白バランス」は ☀ になりますが、お好みの設定に変えることができます（☞P.87）。ピントは、10m～無限遠の間では自動的に合います。10m以内の間では手動で合わせてください。
◪	セピア	古い写真のようなセピア色で映像を記録します。「ワイド効果」の「ワイド」や「シネマ」（☞ P.166）と合わせて使うと、古い白黒映画のような雰囲気をお楽しみいただけます。
B/W	白黒	映像を白黒で記録します。「ワイド効果」の「ワイド」や「シネマ」と合わせて使うと、白黒映画のような雰囲気をお楽しみいただけます。
	映画効果	早いコマ落とし効果をつけて映像を記録します。
	ストロボ	コマ落としの効果で、連続写真のように記録します。
	ゴースト	被写体が何重にもなって撮影されます。幻想的な雰囲気を出したいときなどに効果的です。

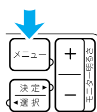
プログラムＡＥを設定する

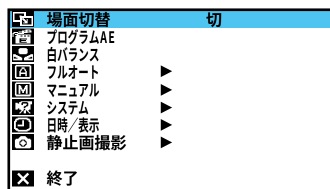
プログラムAEを設定する方法を説明します。

1 「M」の位置に合わせる



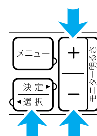
2 「メニュー」ボタンを押してメニューを表示する

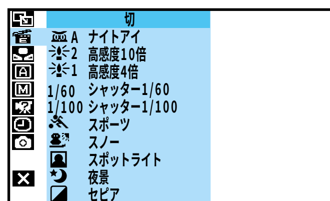




3 「＋」・「−」ボタンで「プログラムAE」を選び、「決定」ボタンを押す

プログラムAEメニューが表示されます。





4 使用するプログラム AE を選び、「決定」ボタンを押す

5 「決定」ボタンを押して撮影画面に戻る

選択した効果のアイコンが画面の左側に表示されます。



プログラム AE を取り消すには

手順 4 で「切」を選んでください。



- **アイコンが青く点滅しているとき、またはアイコンが表示されないときは、その機能は使用できません（☞ P.179）。**
- **プログラム AE 設定と場面切替設定（☞ P.90）を一緒に使うと**
  さらに効果的なビデオ撮影をお楽しみいただけます。ただし、場面切替設定と一緒に使えないプログラム AE があります。プログラム AE 設定アイコンが青く点滅して、使えない機能であることをお知らせします。
- **シャッターメニューを使うときは**
  シャッタースピードが速くなればなるほど画面が暗くなります（1/60、1/100 の順で暗くなります）。できるだけ明るい場所で撮影してください。
- **スポーツメニューを使うときは**
  高速スピードで撮影するために、通常より画面が暗くなります。
  明るい場所で撮影してください。
- **ナイトアイメニューを使うときは**
  別売のフラッシュ（VL-F3）、ライト（VL-V3）は使用できません。
- **ナイトアイメニューや高感度メニューを使うときは**
  撮影した映像はコマ落としのようになります。また、ピントが合いにくくなります。手動フォーカス表示が出て点滅したときは、ピントを手動で合わせ、三脚などで固定して撮影してください。
  暗いところでのみお使いください。
- **ゴーストを設定しているときは**
  10 倍以上のズームは使用できません。

効果音を入れる

ビデオの撮影中に、効果音を入れます。効果音は、次の 12 種類から選べます。

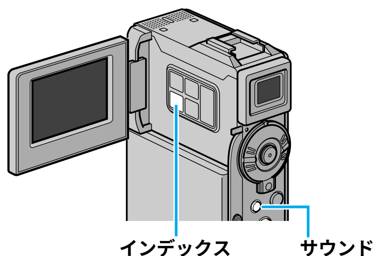
1	ファンファーレ(FANFARE)	7	ワハハ(WAHAHA)
2	拍手(HAKUSHU)	8	ボカーン(BOKAAN)
3	歓声(KANSEI)	9	レースカー(RACE CAR)
4	ブー(BOO)	10	ジャーン(JAAAN)
5	ピンポーン(PINPON)	11	フォワーン(FOWAAAN)
6	サイレン(SAIREN)	12	ピロピロ(PIROPIRO)

- 効果音はアクセサリーキット（VU-P3KIT）に付属のメモリーカードに記録されているので、アクセサリーキット（VU-P3KIT）のメモリーカードがセットされていないと、効果音は使えません。
- 効果音の入ったメモリーカードがセットされていると、撮影画面に現在設定されている効果音の名前が表示されます。
- アクセサリーキット（VU-P3KIT）をお買い上げのときは、メモリーカードには上記の表の順番に効果音が記録されています。

効果音を設定する

1 録画の停止中に「インデックス」ボタンを押す

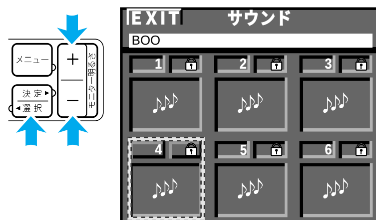
サウンドインデックス画面に効果音の一覧が表示されます。



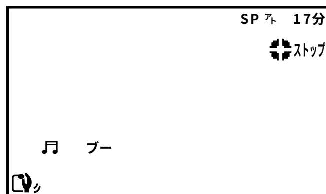
2 「＋」・「－」ボタンを押して効果音を選び、「決定」ボタンを押す

インデックス画面を終了して、撮影画面に戻ります。

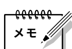
- インデックス画面でサウンドを選択中に「サウンド」ボタンを押すと、効果音が再生されます。（☞ P.101）



撮影画面には、選択された効果音の名前が表示されます。



- 選択した効果音を確認するには、録画の停止中に「サウンド」ボタンを押します。



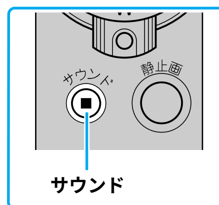
- メモリーカード内のサウンドをすべて削除すると、効果音は使えません。（☞ P.105）

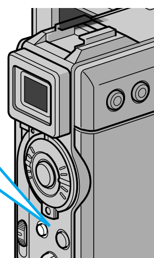
撮影中に効果音を入れる

1 録画中に「サウンド」ボタンを押す

設定した効果音が音声に挿入されます（効果音の名前の横にある「♫」マークの動作中は、効果音が挿入されています）。

効果音の挿入を中止するときは、もう一度「サウンド」ボタンを押します。







- 効果音はアフレコ編集でも挿入できます（☞ P.141）。
- ビクターのホームページからサウンドデータをダウンロードすれば、市販の USB ケーブルでビデオカメラとパソコンを接続して、メモリーカードにサウンドデータを取り込み、効果音として利用できます（☞ P.145）。
  また、別売の PC カードアダプター（CU-V51）やフロッピーアダプター（CU-V41）、USB リーダー／ライター（CU-V70）でもメモリーカードにサウンドデータを取り込むことができます。



- 挿入時は、スピーカーから効果音は聞こえません。挿入時に効果音を聞きたいときは、ヘッドホンをご使用ください。
- 画面に表示される効果音の名前は、録画されません。

効果音を入れる

メモリーカードに効果音を追加するには

パソコンからメモリーカードに音声データを取り込み、効果音として利用できます。
効果音は、下記のビクターホームページからダウンロードしてご利用ください。

効果音ダウンロードページ
http://www.jvc-victor.co.jp/download/d-sound/index.html

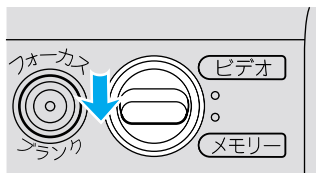
- パソコンからメモリーカードに効果音を取り込むときは、市販の USB ケーブルとビデオカメラを使用します（☞ P.145）。

  また、PC カードアダプター（CU-V51）やフロッピーアダプター（CU-V41）、USB リーダー／ライター（CU-V70）も使用できます（☞ P.157）。
- 効果音は、メモリーカードの DCSD\100JVCGR フォルダにコピーしてください。
- 効果音のファイル名には、DVC00001.mp3 から始まる連番を付けます。
  アクセサリーキット（VU-P3KIT）に付属のメモリーカードをお使いの場合、DVC00001.mp3 から DVC00012.mp3 は、出荷時に記録されている効果音が使用しているため、DVC00013.mp3 から始まる連番のファイル名をお使いください。
- この機能を使って、市販の音楽 CD やインターネット上で流通している音声データを利用する場合、著作権の対象となっている著作物を複製、編集等することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。
  利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者から許諾を受けている等の事情がないにも関わらず、この範囲を越えて複製、編集や複製物、編集物を使用した場合には、著作権等を侵害することになり、著作権者等から損害賠償を請求されることになりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。

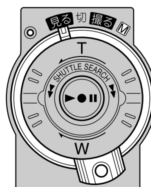
メモリーカードの効果音を削除するには

ここでは、メモリーカードに取り込んだサウンドを削除する方法を説明します。

1 スイッチを「メモリー」の位置に合わせる

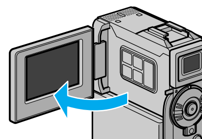


2 「見る」の位置に合わせる



3 液晶画面を開く

液晶画面に静止画が再生されます。

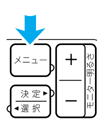


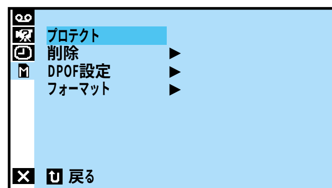
4 「選択」ボタンを押して、「サウンド」を表示させる

- 「選択」ボタンを押すたびに、「動画」→「サウンド」→「静止画」の順に表示が切り替わります。

5 「メニュー」ボタンを押して、メニューを表示し、「決定」ボタンを押す

メモリー再生モード設定メニューが表示されます。





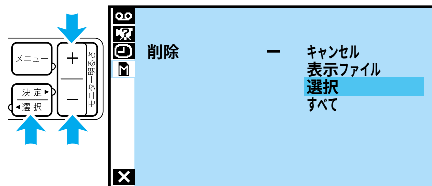
次へ続く

撮影・上級テクニック編

6 「+」・「−」ボタンで「削除」を選び、「決定」ボタンを押す

「表示ファイル」「選択」「すべて」が表示されます。

7 「選択」を選び、「決定」ボタンを押す



削除画面が表示されます。

- 「選択」のかわりに「表示ファイル」を選ぶと、画面に表示されているサウンドを削除できます。そのときは手順 12 に進んでください。
  ただし、そのサウンドにプロテクトがかかっている場合は、手順 12 のあとに「プロテクトがかかっています」と表示され、サウンドは削除されません。

8 「+」・「−」ボタンで削除したいサウンドに枠線を合わせる



9 「決定」ボタンを押す

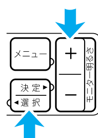
サウンドの右上に「×」がつきます。

- 間違えて「×」をつけてしまったときは、そのサウンドに枠線を合わせて「選択」ボタンを押します。「×」が消えます。

10 他のサウンドも削除したいときは、手順 8 〜 9 を繰り返す

11 「+」ボタンで「EXIT」を選び、「決定」ボタンを押す

「キャンセル」と「実行」が表示されます。





12 「実行」を選び、「決定」ボタンを押す

- 削除をやめるには「キャンセル」を選びます。

「×」をつけたサウンドが削除され、再生画面に戻ります。

すべてのサウンドを削除するときは

手順7で「すべて」を選んでください。表示された画面で「実行」を選び「決定」ボタンを押すとサウンドがすべて削除されます。



- プロテクトしたサウンドは、上記の操作では削除されません（☞ P.158）。
- プロテクトしたサウンドを削除するには、あらかじめプロテクトを解除しておきます（☞ P.160）。

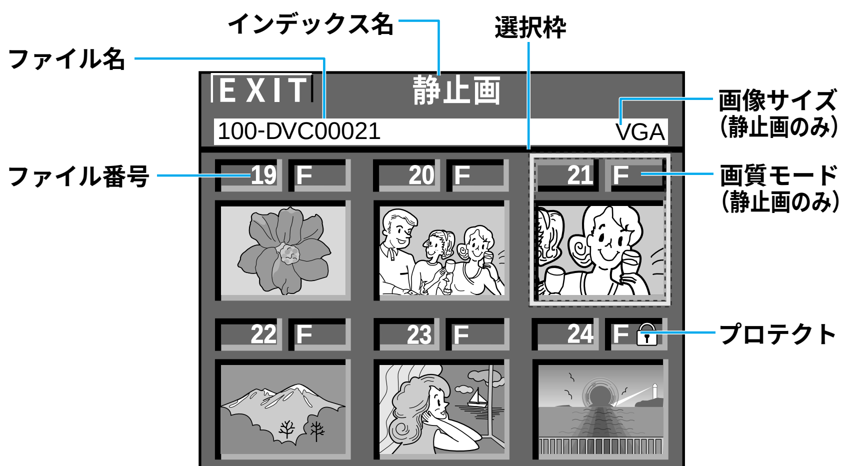
ご注意

- 削除中はメモリーカードを取り出したり、電源を切らないでください。故障などの原因となることがあります。
また、別売のACアダプターをお使いください。途中でバッテリーがなくなると、故障の原因となります。
- 削除したサウンドは元に戻せません。削除する前に内容を確認してください。

メモリーカードの内容を一覧表示する

インデックス画面

メモリーカードの内容を一覧表示します。インデックス画面には「静止画」「動画」「サウンド」の３つがあります。
「静止画」のインデックス画面は再生したい静止画を選ぶときに、「動画」のインデックス画面は電子メールに添付する動画を選ぶときに、「サウンド」のインデックス画面は効果音を選ぶときに使用します。
また、プロテクト（削除防止）の有無や撮影時の画質も確認できます。表示方法と操作については次ページをご覧ください。



インデックス名：インデックス画面の名前が表示されます。「静止画」「動画」「サウンド」の３種類があります。

ファイル名：ファイル名（サウンドのときは効果音の名前（☞ P.100））が表示されます。

ファイル番号：メモリーカードに記録した順に番号がつきます。

プロテクト：ファイルにプロテクトをかける（間違って削除しないようにする）と、🔒マークがつきます（☞ P.158）。

画質モード（静止画のみ）：記録した静止画の画質を表します。
画質モードには、画質の良い順にファイン（F）、スタンダード（S）の２種類があります（☞ P.165）。

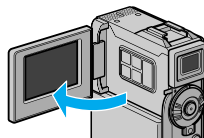
画像サイズ（静止画のみ）：記録した静止画の画像サイズを表します。
高解像度のXGAサイズと、たくさん撮影できるVGAサイズがあります。

選択枠：「＋」「－」ボタンを押すと枠線が移動します。ファイルを選ぶときには、この枠線を目的のファイルに合わせます。

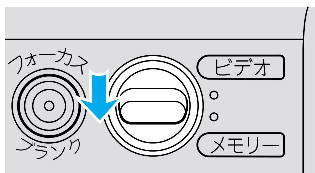
インデックス画面の使いかた

ここでは、静止画を選択する方法を例にとって説明します。

1 液晶画面を開く



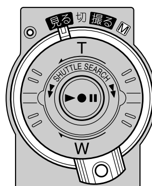
2 スイッチを「メモリー」の位置に合わせる



3 「見る」の位置に合わせる

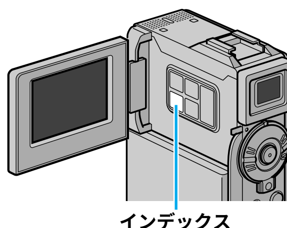
静止画が再生されます。

- 動画やサウンドの内容を表示するには、ここで「選択」ボタンを押し、「動画」または「サウンド」を選びます。ボタンを押すたびに、「動画」→「サウンド」→「静止画」の順に表示が切り替わります。



4 「インデックス」ボタンを押す

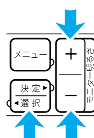
静止画インデックス画面に、静止画が６枚表示されます。

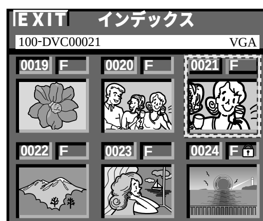


再生を工夫しよう編

次へ続く

5 「＋」・「－」ボタンを押して枠線を静止画に合わせ、「決定」ボタンを押す





枠線を左、または前ページに移動
→「＋」ボタン

枠線を右、または次ページに移動
→「－」ボタン

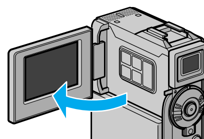
選んだ静止画が画面全体に表示されます。

ファイル番号を入力して再生する［ジャンプ再生］

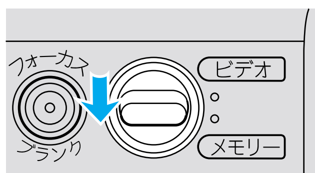


ファイル番号（☞ P.106）を直接入力して、見たい静止画や動画、サウンドを再生できます。見たい静止画や動画、サウンドのファイル番号を覚えているとき、インデックス画面で再生するよりも早く再生することができます。

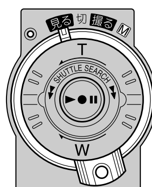
1 液晶画面を開く



2 スイッチを「メモリー」の位置に合わせる



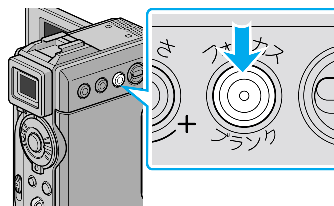
3 「見る」の位置に合わせる



静止画が再生されます。

- 動画やサウンドの内容を表示するには、ここで「選択」ボタンを押し、「動画」または「サウンド」を選びます。ボタンを押すたびに、「動画」→「サウンド」→「静止画」の順に表示が切り替わります。

4 「ブランク」ボタンを押す



ジャンプメニューが表示されます。

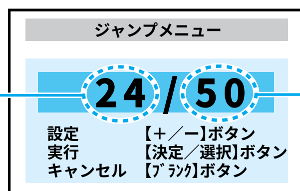
再生を工夫しよう編

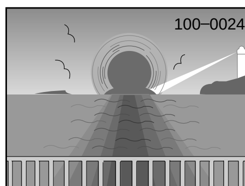
次へ続く

5 「+」・「–」ボタンを押してファイル番号を入力し、「決定」ボタンを押す

入力したファイル番号のファイルが表示されます。

- ファイル番号の入力を中止するときは、もう一度「ブランク」ボタンを押します。



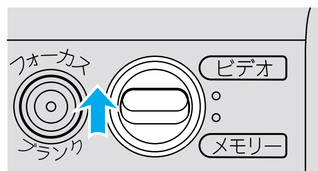




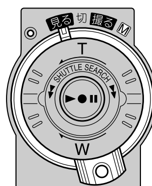
テープからメモリーカードに映像をコピーする

ビデオの映像から好みの場面を選び、メモリーカードに静止画としてコピーできます。

1 スイッチを「ビデオ」の位置に合わせる

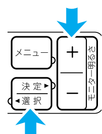


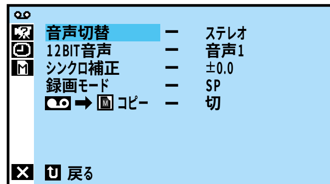
2 「見る」の位置に合わせる



3 「メニュー」ボタンを押してメニューを表示し、「決定」ボタンを押す

ビデオ再生モード設定メニューが表示されます。

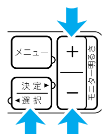


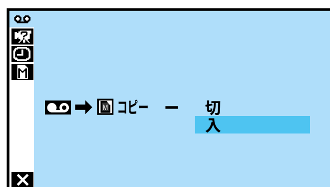


4 「＋」・「－」ボタンで「 ➡ コピー」を選び、「決定」ボタンを押す

「切」「入」が表示されます。

5 「入」を選び、「決定」ボタンを押す





次へ続く

再生を工夫しよう編

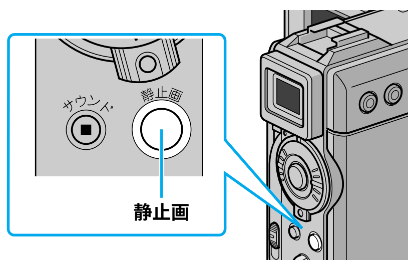
6 「決定」ボタンを 2 回押して再生画面に戻る

7 ビデオを再生し、コピーしたい場面で一時停止する

- ビデオを操作するには（☞ P.59）

8 「静止画」ボタンを押す

選択した場面がメモリーカードにコピーされて静止画になります。





- コピーした画像は VGA で撮影した静止画と同じサイズになります。
- 好みの記念写真モードでコピーすることもできます。
  記念写真モードを変更するには（☞ P.76、163）
- コピーするときに、映像をセピア色や白黒に変化させることもできます。
  手順 8 の前にリモコンを使って再生効果を加えてください（☞ P.119）。

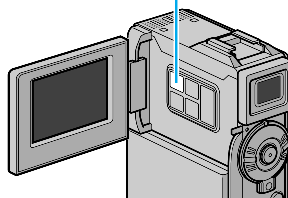
テープからメモリーカードに動画をコピーする

ビデオの映像から好みの場面を選び､メモリーカードに動画としてコピーします。
コピーした動画をパソコンに取り込めば（☞ P.145）、パソコン上で再生したり電子メールに添付して送るなど、いろいろな用途に使えます。

1 ビデオを再生する

- ビデオを操作するには（☞ P.59）

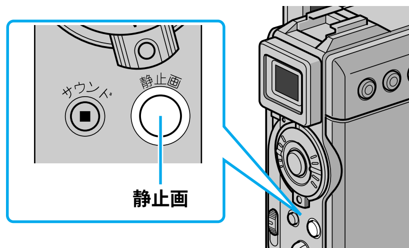
2 「動画メモリー」ボタンを押す



「動画メモリー／スタンバイ」と表示され、点滅します。コピーの準備が完了すると、点灯に変わり〝静止画〟ボタンを押すとカードへ記録します」と表示されます。

- コピーを中止するには、もう一度「動画メモリー」ボタンを押すか、または「■」ボタンを押します。

3 コピーしたい場面で「静止画」ボタンを押す



「動画メモリー／記録中」と表示され、テープから動画がコピーされます。20秒間の動画をコピーすると、自動的にビデオが停止し、メモリーカードに動画の保存を行います。

動画のコピーを 20 秒以内で止めたいときには

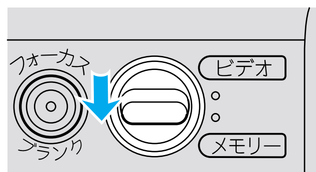
手順 3 で、もう一度「静止画」ボタンを押します。
動画コピーを終了し、メモリーカードに動画の保存を行います。



- 動画圧縮方式は MPEG4 に対応しています。
- メモリーカードにはタイムコードや日時表示などのメッセージ類はコピーされません（☞ P.120、122）。
- コピーするときに、映像をセピア色や白黒に変化させることもできます。
  手順 3 の前にリモコンを使って演出効果を加えてください（☞ P.119）。
- コピーした動画をパソコンに取り込むには（☞ P.145、150、157）

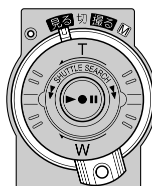
動画を再生（確認）するには

1 **スイッチを「メモリー」の位置に合わせる**



2 **「見る」の位置に合わせる**

静止画が再生されます。

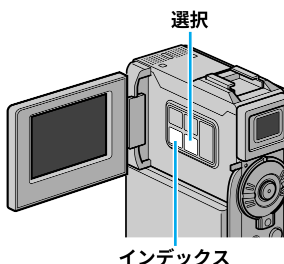


3 **「選択」ボタンを押して、動画を表示させる**

- 「選択」ボタンを押すたびに、動画→サウンド→静止画の順に画面が表示されます。

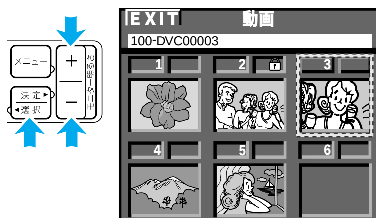
4 **「インデックス」ボタンを押す**

動画インデックス画面に、動画（停止状態）が 6 枚表示されます。



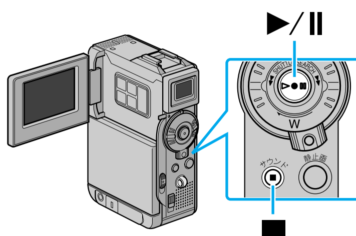
5 **「+」・「－」ボタンで再生する動画を選び、「決定」ボタンを押す**

動画（停止状態）が表示されます。



6 「▶/II」ボタンを押して再生する

- 動画の再生を途中で止めるときは、「■」ボタンを押します。

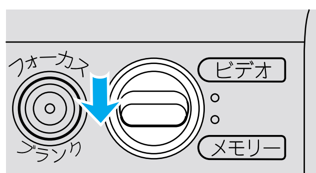




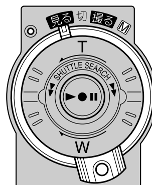
- 動画はテレビでは見られません。
  本機の液晶画面、ファインダーにてご覧ください。
- ライトプロテクトがかかっているメモリーカードは再生できません（「再生できません／ライトプロテクトがかかっています」と表示されます）。ライトプロテクトをはずしてから再生してください。

動画を削除するには

1 スイッチを「メモリー」の位置に合わせる

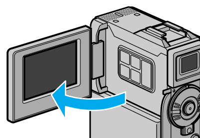


2 「見る」の位置に合わせる



3 液晶画面を開く

液晶画面に静止画が再生されます。

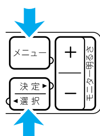


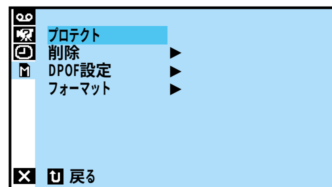
4 「選択」ボタンを押して、動画を表示させる

次へ続く

再生を工夫しよう編

5 「メニュー」ボタンを押してメニューを表示し、「決定」ボタンを押す



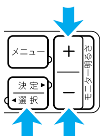


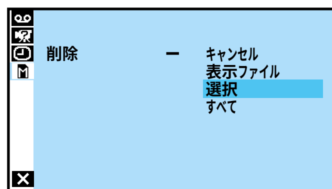
メモリー再生モード設定メニューが表示されます。

6 「+」・「−」ボタンで「削除」を選び、「決定」ボタンを押す

「表示ファイル」「選択」「すべて」が表示されます。

7 「選択」を選び、「決定」ボタンを押す

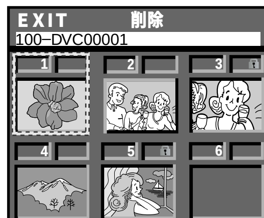




削除画面が表示されます。

- 「選択」のかわりに「表示ファイル」を選ぶと、画面に表示されている動画を削除できます。そのときは手順12に進んでください。
  ただし、その動画にプロテクトがかかっている場合は、手順12のあとに「プロテクトがかかっています」と表示され、動画は削除されません。

8 「+」・「−」ボタンで削除したい動画に枠線を合わせる



9 「決定」ボタンを押す

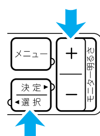
動画の右上に「×」がつきます。

- 間違えて「×」をつけてしまったときは、その動画に枠線を合わせて「決定」ボタンを押します。「×」が消えます。

10 他の動画も削除したいときは、手順 8 ～ 9 を繰り返す

11 「＋」ボタンで「EXIT」を選び、「決定」ボタンを押す

「キャンセル」「実行」が表示されます。





12 「実行」を選び、「決定」ボタンを押す

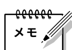
- 削除をやめるには「キャンセル」を選びます。

「×」をつけた動画が削除され、再生画面に戻ります。

すべての動画を削除するときは

手順 7 で「すべて」を選んでください。表示された画面で「実行」を選び「決定」ボタンを押すと動画がすべて削除されます。

再生を工夫しよう編



- プロテクトした動画は、上記の操作で削除されません（☞ P.158）。
- プロテクトした動画を削除するには、あらかじめプロテクトを解除しておきます（☞ P.160）。

ご注意

- 削除中はメモリーカードを取り出したり、電源を切らないでください。故障などの原因となることがあります。
  また、別売の AC アダプターをお使いください。途中でバッテリーがなくなると、故障の原因となります。
- 削除した動画は元に戻せません。削除する前に内容を確認してください。

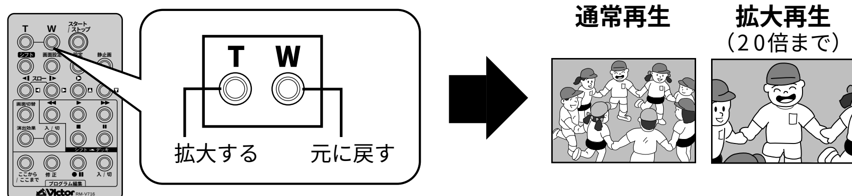


映像の一部を拡大する［再生ズーム］

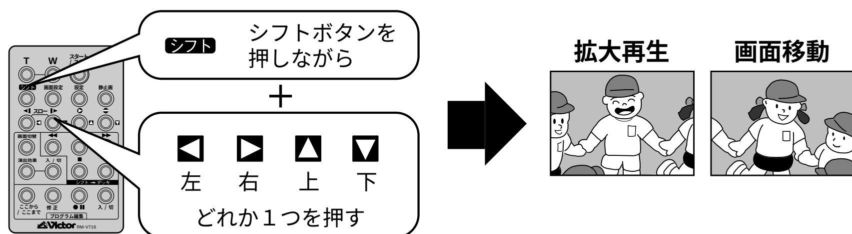
ビデオの再生中に画面を拡大するには、別売アクセサリーキット（VU-P3KIT）のリモコンを使用します。

1 拡大するには、再生中にリモコンの「T」ボタンを押す

- 元に戻す → 「W」ボタン
- 静止画再生やスロー再生中も拡大できます。



2 拡大した状態で画面を移動するには、シフトボタンを押したまま、「◀」「▶」「▲」「▼」ボタンを押す





- 拡大をやめたいときは通常の再生画面の大きさに戻るまで「W」ボタンを押します。または、リモコンの停止ボタンを押した後に再生ボタンを押します。



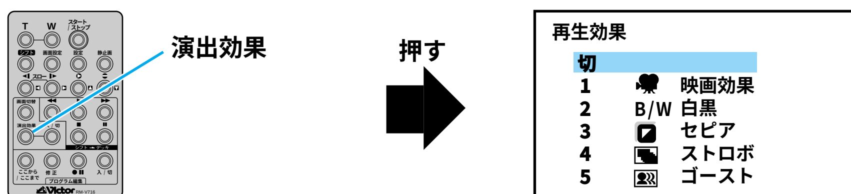
- 拡大すると、映像は少し粗くなります。
- 再生効果の「ゴースト」を加えると、拡大は解除されます。

再生時の映像に変化をつける［再生効果］

再生中のビデオ映像にプログラム AE の効果を加えるには、別売アクセサリーキット（VU-P3KIT）のリモコンを使用します。再生時にプログラム AE の効果を加えて楽しむほか、画像をセピア色や白黒に変えてメモリーカードにコピーできます（☞ P.111）。

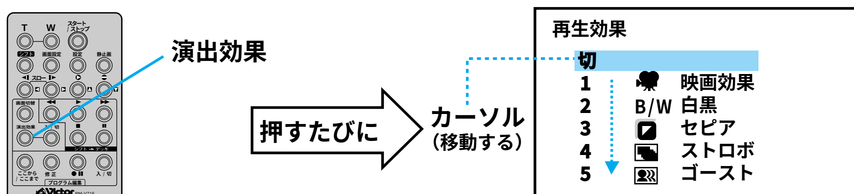
1 再生中にリモコンの「演出効果」ボタンを押す

再生効果メニューが表示されます。



2 「演出効果」ボタンを押して効果を選ぶ

- ボタンを押すたびにカーソルが移動します。目的の効果に合わせてください。



選んで約 2 秒後にメニューが消えます。再生中の映像には効果が加わっています。



- リモコンの演出効果「入／切」ボタンで、選んだ再生効果をいつでも入れたり切ったりできます。

再生を工夫しよう編

日時の表示を切り替える



ビデオを撮影すると、撮影した日時がテープに記録されます。ビデオを再生するときに、撮影した日時を表示させることができます。

日時表示の種類

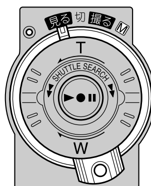
次の 3 種類から選択できます。お買い上げ時は、「オート」に設定されています。

	撮影	再生
オート	電源オンから 5 秒間表示	●再生開始から 5 秒間表示 ●日付が変わると 5 秒間表示
入	常に表示	
切	なし	

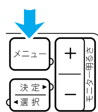
ここでは、撮影した日時を再生時に表示するように設定します。

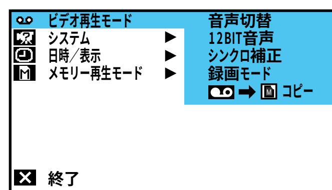
1 「見る」の位置に合わせる

• 「M」の位置に合わせても設定できます。



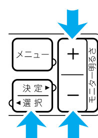
2 「メニュー」ボタンを押して、メニューを表示する

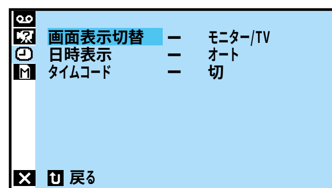




3 「＋」・「－」ボタンで「日時／表示」を選び、「決定」ボタンを押す

日時／表示設定メニューが表示されます。

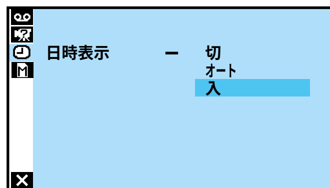




4 「日時表示」を選び、「決定」ボタンを押す

「切」「オート」「入」が表示されます。

5 「入」を選び、「決定」ボタンを押す



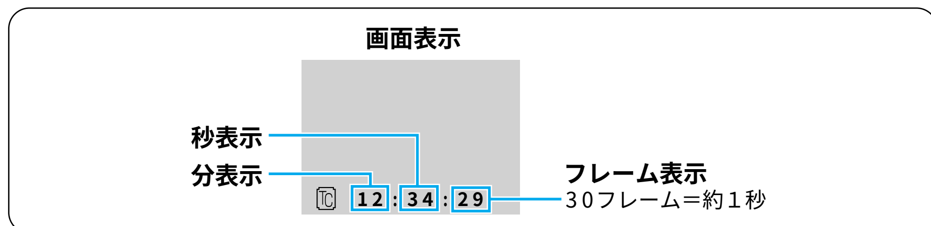
6 「決定」ボタンを 2 回押して再生画面に戻る

タイムコード表示を設定する



タイムコードとは

撮影中、１コマ１コマに「タイムコード」と呼ばれる数字を記録します。ビデオの撮影、再生、編集の際にタイムコードを表示すると、映像の位置を確かめる目安になります。





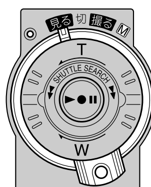
- 早送り、巻き戻し時のタイムコード表示は、ビデオカメラがテープの位置を確認するため、タイムコードが数秒間前後することがあります。
- 撮影中は分と秒のみ表示されます。

タイムコード表示を切り替える

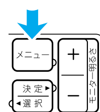
ビデオ再生時にタイムコードを表示する方法を説明します。

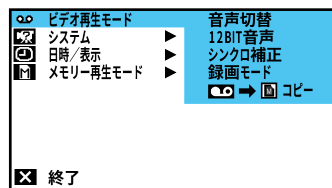
1 「見る」の位置に合わせる

- 「M」の位置に合わせても設定できます。

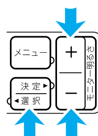


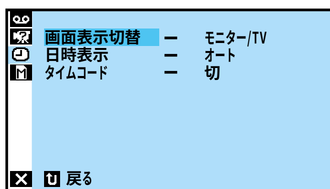
2 「メニュー」ボタンを押して、メニューを表示する





3 「+」・「−」ボタンで「日時／表示」を選び、「決定」ボタンを押す



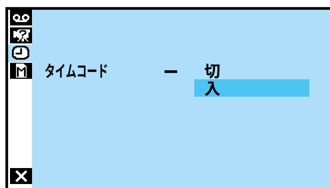


日時／表示設定メニューが表示されます。

4 「タイムコード」を選び、「決定」ボタンを押す

「切」「入」が表示されます。

5 「入」を選び、「決定」ボタンを押す



6 「決定」ボタンを 2 回押して再生画面に戻る

画面左下にタイムコードが表示されます。

タイムコードと無記録部分

「無記録部分」とは、テープに何も録画されていない部分のことです。ここから撮影を開始すると、タイムコードは必ず「00:00:00」から記録されます。
同じタイムコードが 2 カ所以上に存在すると、自動編集時に誤作動を起こす原因となります。

次の状態のときは、無記録部分から撮影しないように、前に撮影した映像の終わりを確かめてから撮影してください。

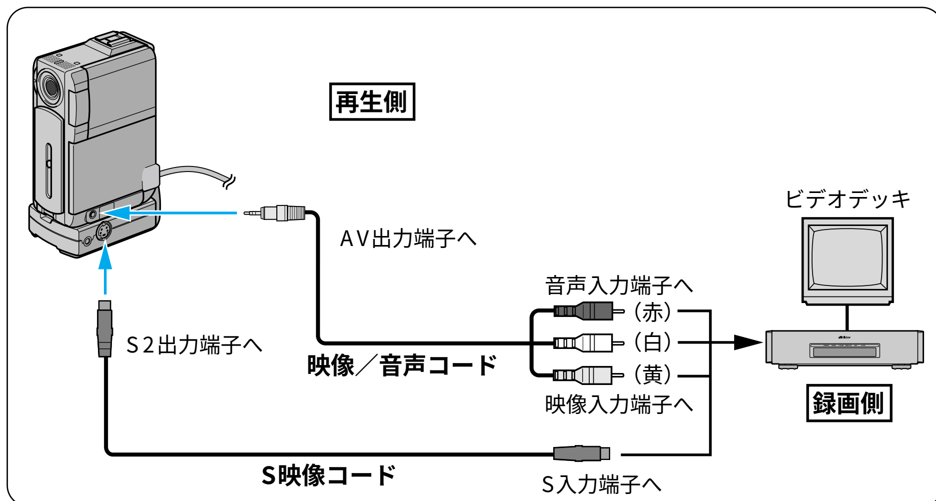
- 途中まで撮影したテープを使うとき
- 再生したことのあるテープを使うとき
- テープのカバーを開閉したとき
- 撮影の途中で電源やバッテリーが切れたとき

ビデオをダビングする



ビデオデッキへダビングする

ビデオカメラで撮影したテープから、ビデオデッキのテープへダビングできます。S入力端子付きのビデオデッキにS映像コードで接続すると、より高画質の映像をダビングできます。



1 ビデオカメラの電源を切り、AC アダプターを接続する

- AC アダプターの取り付け（☞ P.65）
- S 入力端子のあるビデオデッキをお使いの場合、ドッキングステーションも取り付けます（☞ P.69）。

2 映像／音声コードを、ビデオデッキの入力端子とビデオカメラに接続する

- S入力端子のあるビデオデッキをお使いの場合、S映像コードも接続します。
- 必ず、別売アクセサリーキット(VU-P3KIT)のコードを使用してください。

3 ビデオカメラの電源を入れ、ビデオを再生する

- テレビの画面に表示されるビデオカメラからのメッセージ類は、そのままダビングされます。これらを録画したくないときは、メッセージを表示しない設定にしてからダビングを開始してください（☞ P.120、122、161）。

4 ダビングを開始したいところで、ビデオデッキの録画ボタンを押す

録画を開始します。

5 ダビングを終了したいところで、ビデオデッキの停止ボタンを押す

録画を終了します。

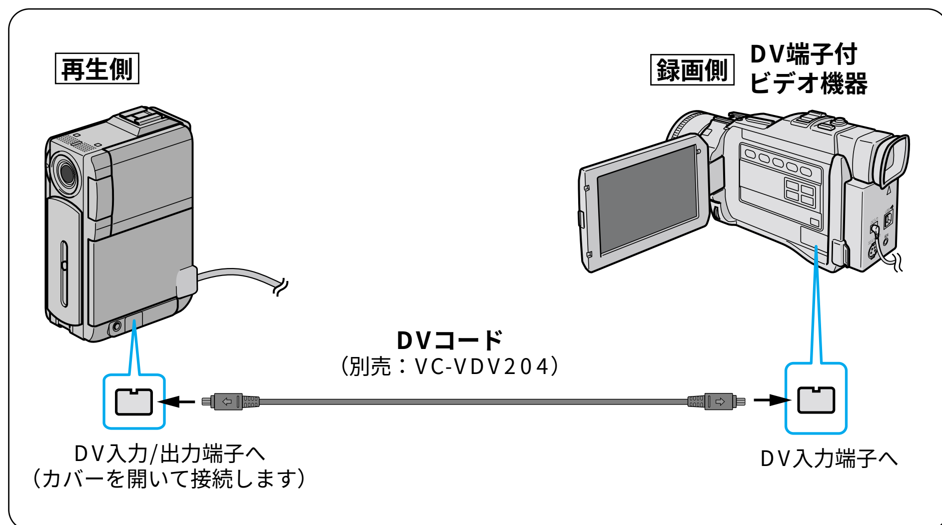


- AC アダプターの代わりにバッテリーを使用すると、ダビング中にバッテリーが切れて失敗することがあります。AC アダプターを使って操作することをお勧めします。
- ご使用になるビデオデッキの取扱説明書もご覧ください。
- カットしたい映像があるときはビデオデッキの一時停止ボタンを押してダビングを一時停止させ、ダビングしたい場面がテレビや液晶画面に現われたら録画を再開してください。



デジタルでダビングする

DV 端子付ビデオ機器をお持ちの場合、DV コードを使ってダビングできます。デジタル信号でダビングするため、画質と音質はほとんど劣化しません。



1 ビデオカメラの電源を切り、AC アダプターを接続する

- AC アダプターの取り付け（☞ P.65）

2 DV コードを、ビデオカメラの「DV 入力／出力」端子と DV 端子付ビデオ機器の DV 入力端子に接続する

3 ビデオカメラの電源を入れ、ビデオを再生する

4 ダビングを開始したいところで、DV 端子付ビデオ機器の録画ボタンを押す

録画を開始します。

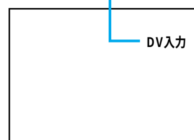
5 ダビングを終了したいところで、DV 端子付ビデオ機器の停止ボタンを押す

録画を終了します。

本機を録画側として使うには

1 電源ダイヤルを「再生」にする。
2 録画モードを選ぶ（☞ P.163）。
3 再生側の DV 機器を「再生」モードにする。
4 リモコンの「スタート／ストップ」ボタンを押すと、画面上に「DV 入力」表示が出て録画停止状態になります。
5 録画停止状態でリモコンの「スタート／ストップ」ボタンを押すと、録画を開始して、表示が回転します。
6 再びリモコンの「スタート／ストップ」ボタンを押すと、録画停止状態になり、表示の回転が停止します。

DV入力中に
表示されます。



DV入力画面表示



- AC アダプターの代わりにバッテリーを使用すると、ダビング中にバッテリーが切れて失敗することがあります。AC アダプターを使って操作することをお勧めします。
- ご使用になる DV 端子付ビデオ機器の取扱説明書もご覧ください。
- 再生側が映像の乱れた部分や無記録部分を再生すると、異常な映像が記録されたり、ダビングが停止することがあります。
- 再生時に「場面切替」「再生効果」「再生ズーム」「記念写真」「タイムコード」を設定していても DV 出力端子からは、テープの通常再生映像しか出力しません。
  これらの演出を録画したいときは、映像／音声コードを使ってダビングしてください（☞ P.124）。

ビデオを編集する



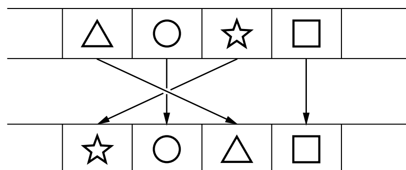
自動で編集する

撮影済みのビデオからお好きな場面を 8 つまで選び、ビデオデッキのテープに自動的にダビングできます。次の機能と合わせて使うと、テレビドラマや映画のようなビデオを作成できます。

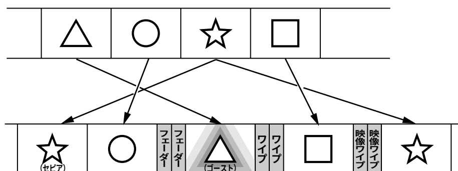
アフレコ編集　：ナレーションや効果音を追加します（☞ P.140）。
場面切替効果　：場面と場面のつなぎ目に効果を加えます（☞ P.90）。
プログラム AE　：映像に変化をつけます（☞ P.96）。

知っておきたい自動編集のしくみ

普通に自動編集したときは
撮影済みのビデオの中から最大 8 つまでの場面を指定して、お好きな順番に並べ替えてダビングすることができます。普通に自動編集すると、ビデオは次のようにダビングされます。



場面切替やプログラム AE の効果を入れて自動編集したときは
自動編集するビデオの最初と終わりに場面切替を入れたり、映像そのものにプログラム AE の効果をつけてダビングすることができます。場面切替やプログラム AE 効果を入れて自動編集すると、ビデオは次のようにダビングされます。



ビデオデッキのメーカーをリモコンに登録する

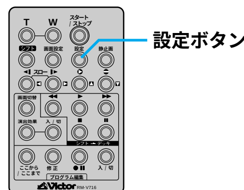
自動編集では、別売アクセサリーキット(VU-P3KIT)のリモコン（☞ P.191）でご家庭のビデオデッキを操作します。ここでは、ご家庭のビデオデッキのメーカーをリモコンに登録する方法を説明します。

1 **ビデオデッキの電源を切る**

2 **ご使用のビデオデッキのメーカー名を確認する**

3 **「リモコンメーカー設定表」(次ページ)とメーカー名を対応させる**

4 **リモコンの「設定」ボタンを押したまま、設定表の「A」に書かれているボタンを押す**



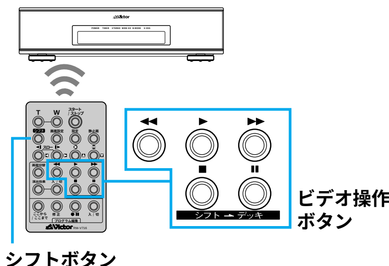
- 「設定」ボタンを押したまま、「リモコンのボタン 1」を押し、「設定」ボタンの指を離さずに「リモコンのボタン 2」を押します。

ビデオデッキの電源が入り、登録が完了します。

5 **ビデオデッキの電源が入らない場合は、「B」「C」…の組み合わせのボタンを押す**

リモコンでビデオデッキを操作するには

「シフト」ボタンを押したまま、各操作ボタンを押します。
ビデオデッキのリモコン受光部に向けて操作してください。

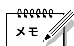


ビデオを編集してみよう編

ビデオを編集する

リモコンメーカー設定表

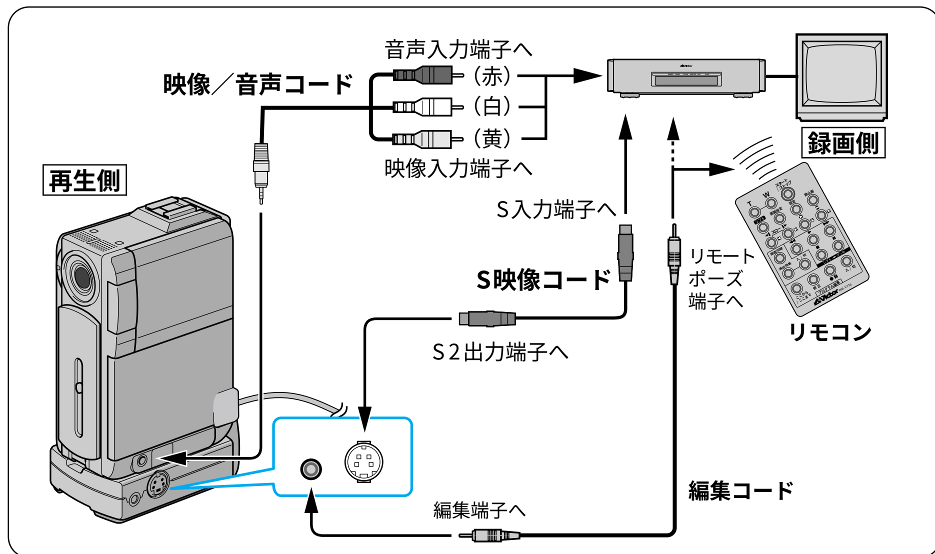
メーカー名	リモコン信号	リモコンのボタン1	リモコンのボタン2
ビクター	A	●❚❚（ビデオ準備）	◀◀（巻戻し）
	B	●❚❚（ビデオ準備）	■（停止）
	C	●❚❚（ビデオ準備）	（シフト）
アカイ	A	■（停止）	▶▶（早送り）
	B	■（停止）	▶（再生）
	C	（ここから/ここまで）	（ここから/ここまで）
サンヨー	A	■（停止）	▶（再生）
	B	（シフト）	❚❚（一時停止）
	C	（シフト）	（プログラム編集入/切）
	D	（ここから/ここまで）	●❚❚（ビデオ準備）
シャープ	A	◀◀（巻戻し）	❚❚（一時停止）
	B	◀◀（巻戻し）	（プログラム編集入/切）
ソニー	A	■（停止）	❚❚（一時停止）
	B	■（停止）	（プログラム編集入/切）
	C	（シフト）	●❚❚（ビデオ準備）
	D	（シフト）	◀◀（巻戻し）
東芝	A	■（停止）	●❚❚（ビデオ準備）
	B	■（停止）	◀◀（巻戻し）
NEC	A	（シフト）	（ここから/ここまで）
	B	（シフト）	（修正）
日立	A	■（停止）	■（停止）
	B	■（停止）	（シフト）
フナイ	A	（ここから/ここまで）	（シフト）
松下	A	◀◀（巻戻し）	（シフト）
	B	◀◀（巻戻し）	（ここから/ここまで）
	C	◀◀（巻戻し）	◀◀（巻戻し）
	D	●❚❚（ビデオ準備）	▶（再生）
	E	◀◀（巻戻し）	（修正）
三菱	A	■（停止）	（ここから/ここまで）
	B	■（停止）	（修正）
LG	A	◀◀（巻戻し）	◀◀（巻戻し）
SAMSUNG	A	●❚❚（ビデオ準備）	▶（再生）



- **リモコンの乾電池がなくなったときは**
  設定したビデオデッキのメーカー設定も消えてしまいます。乾電池を交換してメーカー設定をやり直してください。
- **リモコンでビデオデッキを操作できないときは**
  機種によってはリモコンでのビデオデッキのメーカー設定ができないものや、特定のボタンだけ操作できないものもあります。ご了承ください。

好きな場面を選んでダビングする

ここでは、ビデオから編集したい場面を選び、ビデオデッキのテープへ自動的にダビングする方法を説明します。
場面と場面の間に場面切替の効果を使う方法と、場面にプログラム AE の効果を使う方法については、操作手順の間の メモ で説明します。自動編集に慣れてからお読みください。



1 **ビデオカメラの電源を切り、ドッキングステーションと AC アダプターを取り付け、ビデオデッキと接続する**

- ドッキングステーションの取り付け（☞ P.69）
- AC アダプターの取り付け（☞ P.65）
- ビデオデッキと接続するには（☞ P.124）

2 **ドッキングステーションの「編集」端子とリモコンを、編集コードで接続する**

- 別売アクセサリーキット(VU-P3KIT)の編集コードを使用してください。

次へ続く

3 ビデオカメラでビデオを再生する

- ビデオを再生するには（☞ P.59）

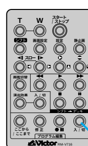
液晶画面とテレビに映像が表示されます。

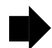


- **画面に表示されるメッセージを消して自動編集してください**
  テレビの画面に表示されるメッセージは、自動編集でもそのまま記録されます。メッセージを消してから自動編集してください（☞ P.120、122、161）。
  （自動編集表示は自動編集をスタートすると消え、ビデオには記録されません）。

4 リモコンをビデオカメラのリモコン受光部に向け、「入／切」ボタンを押す

液晶画面に自動編集表示画面が表示されます。

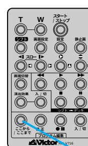




```
        ここから    ここまで        効果
1  --  --:--~
2             ~
3             ~
4             ~
5             ~
6             ~
7             ~
8             ~
   タイムコード  00：10 ▶
   合　計        00：00
```

5 ダビングを開始したい場面が表示されたときに、「ここから／ここまで」ボタンを押す

開始場面のタイムコードが表示されます。





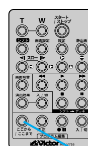
```
        ここから    ここまで        効果
1  切  00：25  ～  --：--      --
2             ~
3             ~
4             ~
5             ~
6             ~
7             ~
8             ~
   タイムコード  00：30 ▶
   合　計        00：00
```

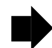


- **場面の撮り始めに変化を付けたいときは（☞ P.90）**
  リモコンの「場面切替」ボタンを押します。ボタンを押すたびに液晶画面やテレビに表示される場面切替アイコンが変わります。利用したい場面切替アイコンが表示されるまでボタンを押してください。フェーダーやワイプを使用できます。
  ただし、デジタルダビングでは変化を付けることはできません。

6 ダビングを終了したい場面が表示されたときに、「ここから／ここまで」ボタンを押す

終了場面のタイムコードが表示されます。





```
        ここから    ここまで        効果
1  切  00：25  ～  02：05   --   --
2  --  --:--   ~
3             ~
4             ~
5             ~
6             ~
7             ~
8             ~
   タイムコード  05：40 ▶
   合　計        01：40
```



- **場面の撮り終わりに変化を付けたいときは（☞ P.90）**
  リモコンの「場面切替」ボタンを押します。ボタンを押すたびに液晶画面やテレビに表示される場面切替アイコンが変わります。利用したい場面切替アイコンが表示されるまでボタンをくり返し押してください。
  ただし、デジタルダビングでは変化を付けることはできません。
- **映像そのものに変化を付けたいときは（☞ P.96、192）**
  リモコンの「演出効果」ボタンを押します。ボタンを押すたびに液晶画面やテレビに表示される効果アイコンが変わります。ただし、デジタルダビングでは変化を付けることはできません。

7 手順 5 〜 6 を繰り返して、場面を登録する

- 8 つまで登録できます。

		ここから	ここまで		効果
1	切	00:25〜02:05		P	切
2	P	07:18〜08:31		切	切
3	切	03:33〜05:53			B/W
4		09:30〜13:15			
5		15:55〜16:10		--	--
6		--:---〜			
7		〜			
8		〜			
	タイムコード	16:20			
	合計	09:17			



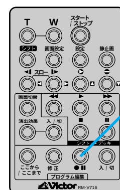
- 場面の始めに場面切替を設定したときは、設定した効果のアイコンがカウンターの左側に表示されます。場面の終わりに場面切替を設定したときは、設定した効果のアイコンがカウンターの右側に表示されます。場面に再生効果を設定したときは、設定した効果のアイコンが「効果」に表示されます。何も設定していないときは「切」が表示されます。

8 ビデオカメラのテープを巻き戻し、タイムコード（例 00:25 より前）付近まできたら一時停止する

9 リモコンをビデオデッキのリモコン受光部に向け、「●II」ボタン（ビデオ準備ボタン）を押す

ビデオデッキが録画一時停止の状態になります。

- リモコンで録画一時停止の状態にならないときは、ビデオデッキ本体を操作してください。





ビデオを編集してみよう編

次へ続く

10 リモコンの「スタート／ストップ」ボタンを押す

自動編集が始まり、ビデオデッキのテープに映像がダビングされます。ダビングが終わると、ビデオカメラが停止の状態になり、ビデオデッキは録画一時停止の状態になります。

11 ビデオカメラとビデオデッキを停止する

自動編集が終了します。



- **各場面のタイムコードとタイムコードの合計時間は**
  編集開始場面と終了場面のタイムコードには 1 秒以下の数値（フレーム）が表示されないため、各場面のタイムコードの時間と合計時間が合わないことがあります。
- **自動編集の登録場面を修正したいときは**
  リモコンの「修正」ボタンを押します。ボタンを押すたびに最後から登録場面が消去されます。
- **ダビング中のリモコンの位置は**
  ビデオデッキのリモコン受光部に向けてください。障害物があるとうまくダビングできません。
- **ビクターのリモートポーズ端子付ビデオデッキをお使いのときは**
  編集コードをドッキングステーションの「編集」端子とビデオデッキのリモートポーズ端子に接続してお使いになることができます（☞ P.131）。このとき、リモコンは使用しません。
- **ご使用になるビデオデッキの取扱説明書もご覧ください。**



- **こんなときは自動編集できません**
  - 同じタイムコード（☞ P.122）が 2 つ以上存在するテープでタイムコードを指定しても、どのタイムコードかわからないため誤動作することがあります。
  - 編集終了場面のタイムコードの値が編集開始場面の値より小さいときは自動編集できません。
  - 編集終了場面と開始場面までの早送り時間がビデオデッキの一時停止可能時間（当社の場合約 5 分以内）を超えるときは、自動編集できません。
  - リモコンのプログラム編集「入/切」ボタンを押して「切」にしたときは、自動編集に登録した内容がすべて消えてしまいます。
  - 編集開始場面や終了場面の前後に無記録部分があるときは、ブルーバック（青い画面）を記録してしまうことがあります。
  - 自動編集中にビデオカメラを操作すると、ビデオデッキが録画一時停止状態になり、自動編集を中止します。



より正確に自動編集する［シンクロ補正］

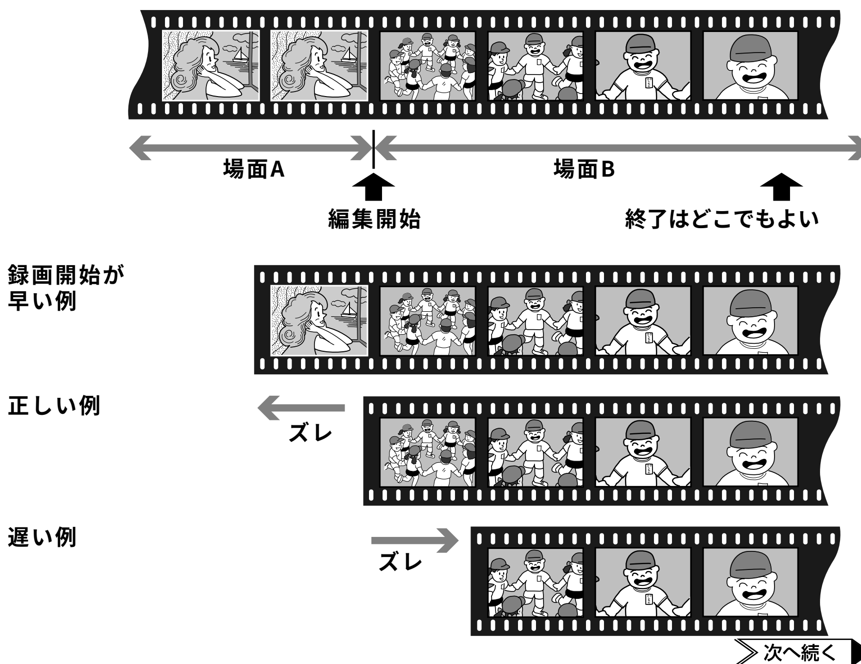
ビデオデッキには反応の早いものと遅いものがあります。自動編集でビデオカメラの再生とビデオデッキの録画を同時に開始しても、録画開始のタイミングがズレたために前の場面が残っていたり、場面の最初が欠けていたりすることがあります。
ズレを防ぐには、録画のタイミングをあらかじめ補正します。

録画タイミングのズレを確認する

映像の区切りと時間の経過が判りやすいビデオを用意し、これを自動編集してみます。編集後にビデオデッキのテープを再生して、指定したタイミングからどの程度ズレてダビングが開始されているか確認します。

1 場面を１つだけ自動編集する

- 自動編集するには（☞ P.128）
- 編集を開始する場面には、映像の変化が判りやすいところを選んでください。



次へ続く

ビデオを編集してみよう編

2 ビデオデッキのテープを巻き戻し、再生する

3 録画のタイミングのズレ（秒）を確認する

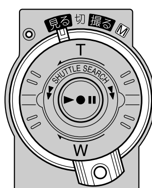


- **自動編集を行う前に**
  数回自動編集のテストを行って補正値が適切であることを確認してから、最終的な自動編集を行ってください。

録画タイミングのズレを補正する

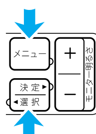
録画のタイミングがズレていたときは、ビデオカメラでタイミングのズレを補正します。

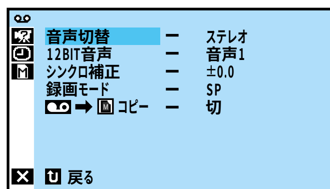
1 「見る」の位置に合わせる



2 「メニュー」ボタンを押してメニューを表示し、「決定」ボタンを押す

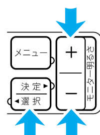
ビデオ再生モード設定メニューが表示されます。

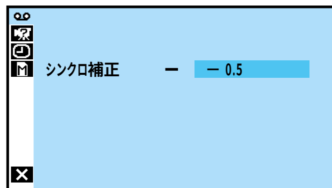




3 「＋」・「−」ボタンで「シンクロ補正」を選び、「決定」ボタンを押す

4 「+」・「−」ボタンで数値を設定し、「決定」ボタンを押す





- ビデオデッキの録画開始が
  早い → −値にする
  遅い → +値にする

  （例）ビデオデッキの録画が 0.5 秒早く開始している場合、「−」ボタンを押して「− 0.5」に設定します。
- 設定範囲は− 1.3 〜+ 1.3 秒です。

5 「決定」ボタンを 2 回押して再生画面に戻る



- **補正しても録画タイミングが合わないときは**
  ビデオデッキによっては、録画タイミングのズレを補正しきれないことがあります。ご了承ください。

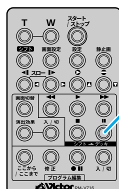
ビデオに映像を追加する[インサート編集] 

録画モードSPで録画済のテープに、あとでタイトルなど別の場面を挿入できます。インサート編集を行う前に、タイトルを書いた紙などを用意してください。インサート編集には、別売アクセサリーキット（VU-P3KIT）のリモコンを使用します（☞ P.191）。

1 ビデオカメラでビデオを再生する

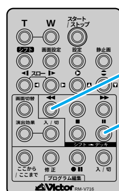
- ビデオを再生するには（☞ P.59）

2 インサート編集を終える場面で一時停止する



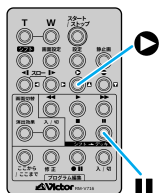
- 終える場面のタイムコードを確認してください。
- タイムコード表示が出ていないときは（☞ P.122）

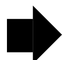
3 「◀◀」ボタンを押してインサート編集を開始する場面まで巻き戻し、「❚❚」ボタンを押す

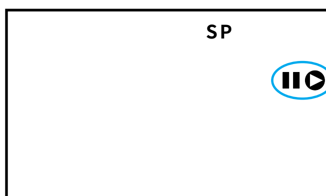


4 「❚❚」ボタンを押したまま、「▶」ボタンを押す

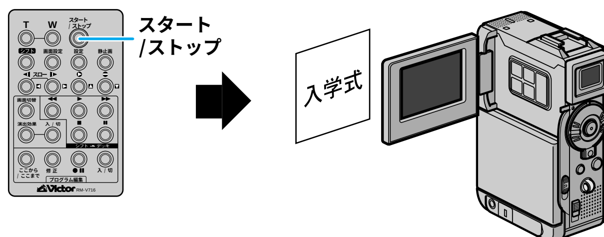
液晶画面に「❚❚▶」アイコンが表示されます。





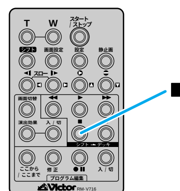


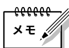
5 インサートするタイトルなどをカメラに映るようにして「スタート／ストップ」ボタンを押す



6 手順 1 で確認したタイムコードの位置で、「スタート／ストップ」ボタンを押してインサートを終了する

7 「■」ボタンを押して、インサート編集を終了する





- **挿入する画面にプログラム AE の効果を加えたいときは**
  インサート編集を行う前に、プログラム AE を設定してください（☞ **P.**96）。
- **インサート編集したあとの映像と日時は**
  新しい映像と日時が上書きされます。



- **画面に「インサート録画できません」と表示されたときは（☞ P.**206）
  LP モードで撮影したテープ、誤消去防止用ツマミが「SAVE」側になっているテープ、およびテープの無記録部分ではインサート編集できません。

ビデオに音声を追加する[アフレコ編集] 

撮影したビデオには、あとでナレーションを追加したり、吹き替え音声を録音したりできます。アフレコ編集には、別売アクセサリーキット(VU-P3KIT)のリモコンを使用します(☞ P.191)。

1 ビデオカメラでビデオを再生する

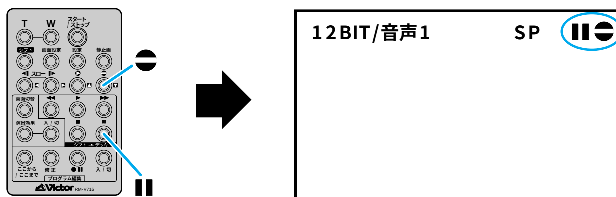
- ビデオを再生するには(☞ P.59)

2 アフレコ編集をしたいところで一時停止する



3 「❚❚」ボタンを押したまま、「⏏」ボタンを押す

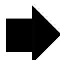
液晶画面に「❚❚⏏」アイコンが表示されます。

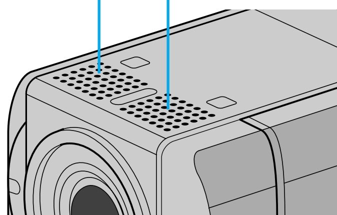


4 「▶」ボタンを押し、ビデオカメラのマイクに向かって音声を吹き込む

アフレコ編集が始まり、音声が記録されます。

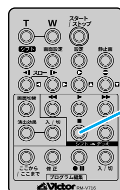






マイク
マイクの正面から声を吹き込んでください。

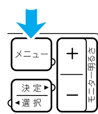
5 「■」ボタンを押して、アフレコ編集を終了する

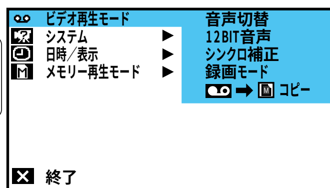


効果音を挿入するには

マイクからの音声以外にも、メモリーカードに記録されている効果音を挿入できます。

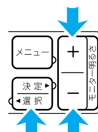
1 前ページの手順 4 で「メニュー」ボタンを押して、メニューを表示する

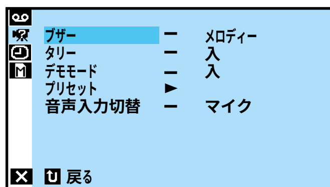




2 「＋」・「－」ボタンで「 システム」を選び、「決定」ボタンを押す

システム設定メニューが表示されます。

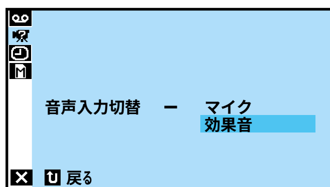




3 「音声入力切替」を選び、「決定」ボタンを押す

「マイク」「効果音」が表示されます。

4 「効果音」を選び、「決定」ボタンを押す



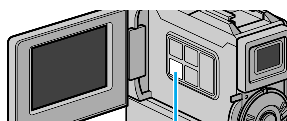
5 「決定」ボタンを 2 回押して再生画面に戻る

次へ続く

ビデオに音声を追加する［アフレコ編集］

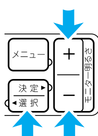
6 「インデックス」ボタンを押す

サウンドインデックス画面が表示されます。



7 効果音を選び、「決定」ボタンを押す

効果音を決定すると、画面に効果音の名前が表示されます。

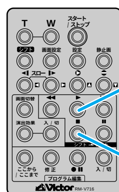


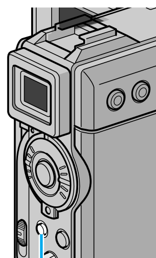


8 リモコンの「▶」ボタンを押してアフレコをスタートする

効果音が挿入されます。

- 効果音の挿入を中止したいときは、もう一度「サウンド」ボタンを押します。





9 「■」ボタンを押してアフレコ編集を終了する



- **別の場面からアフレコ編集を再開したいときは**
  リモコンの「❚❚」ボタンを押します。ビデオが一時停止状態になります。リモコンの「■」ボタンを押してアフレコ編集を終了し、アフレコ編集を再開したい場面を表示させてから再び編集を行ってください。
- **アフレコ編集中の音声を確認したいときは**
  アフレコ編集中の音声を確認したいときは、ヘッドホンを使用してください。



- **画面に「音声アフレコできません」と表示されたときは**
  LP モードで撮影したテープ、または 16BIT の音声を記録したテープにはアフレコ編集できません。
- **テレビから「ピー」「ウワーン」というノイズ音が出るときは**
  テレビからビデオカメラや外部マイクを離すか、テレビの音量を下げてください。

再生時の音声を切り替える



音声切替と 12BIT 音声切替

アフレコ編集したビデオでは、撮影時の音声とアフレコ時に録音した音声（アフレコ音声）の再生を選択できます。また、ビデオカメラは常にステレオ音声で録音しますが、片方のスピーカの音声のみを再生することもできます。

アフレコ音声の切り替え［12BIT 音声切替］

撮影時の音声を再生するか、アフレコ音声を再生するか設定します。

- **音声 1**　：撮影時の音声
- **音声 2**　：アフレコ音声
- **ミックス**：撮影時の音声とアフレコ音声（同時に再生）

ステレオ音声の切り替え［音声切替］

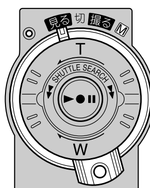
ビデオの音声をステレオまたは左右どちらかのみで再生するか設定します。

- **ステレオ**：ステレオ（左右どちらも再生）
- **音声（L）**：左の音声のみ
- **音声（R）**：右の音声のみ

音声切替の操作

ここでは、アフレコ音声をステレオで再生するように設定してみます。

1 「見る」の位置に合わせる



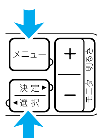
ビデオを編集してみよう編

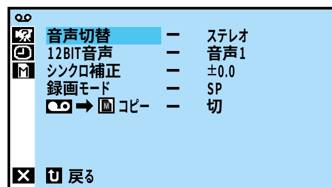
次へ続く

再生時の音声を切り替える

2 **「メニュー」ボタンを押してメニューを表示し、「決定」ボタンを押す**

ビデオ再生モード設定メニューが表示されます。





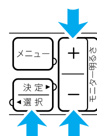
3 **「音声切替」が「ステレオ」に設定されていることを確認する**

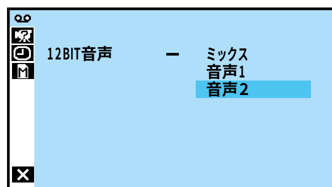
- 「音声（L）」または「音声（R）」になっている場合は、「ステレオ」に変更してください。

4 **「+」・「−」ボタンで「12BIT音声」を選び、「決定」ボタンを押す**

「音声 1」「音声 2」などが表示されます。

5 **「音声 2」を選び、「決定」ボタンを押す**





6 **「決定」ボタンを 2 回押して再生画面に戻る**

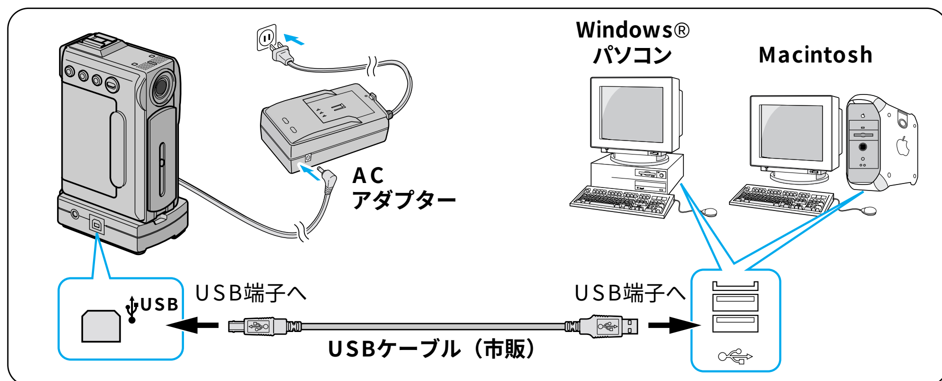


- ビデオカメラは、ビデオの音声モードを自動判別して再生します。ビデオを再生すると、画面の左上端に再生中の音声モードが表示されます（早送り/巻戻し再生中は自動判別できません）。

映像をパソコンで利用する

USB ケーブルで接続する

付属のソフトウェア CD-ROM からお使いのパソコンにドライバソフトウェアをインストールすると、市販の USB ケーブルを使用して、メモリーカードに記録した静止画や動画をパソコンに取り込めます。



ご注意

- 本機の電源には、AC アダプターをお使いになることをお勧めします。
- USB ケーブルを USB ハブに接続して正常に動作しないときは、パソコン本体の USB 端子と接続してください。
- USB ケーブルの延長ケーブルは使用しないでください。
- 新たに購入したメモリーカードをご使用になる場合は、ご使用の前にメモリーカードを初期化してください（☞ P.175）。ビデオカメラとパソコンを USB ケーブルで接続したときに、ファイルのコピーができないことがあります。

動作環境

Windows

- Microsoft®Windows®98/Windows®98 Second Edition/ Windows®Me/ Windows®2000 Professional がプリインストールされたパソコン
- USB 端子
- CD-ROM ドライブ

Macintosh

- iMac™、iBook™、PowerMac™ G4、PowerBook™G4/G3 および USB が標準搭載された Power Macintosh™ G3
- Mac OS 8.5.1 以降

※ Microsft および Windows は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。

※ Macintosh は米国 Apple Computer,inc.の登録商標です。

※その他、記載している会社名、製品名は各社の商標および登録商標です。

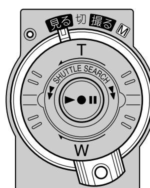
ソフトをインストールする（Windows®98/2000/Me）

Windows®98/2000/Meの基本操作については、Windows®98/2000/Meまたはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

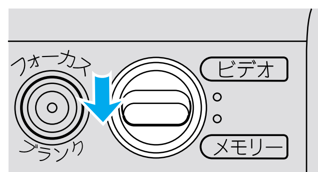
1 パソコンを起動する

- アプリケーションを使用している場合は、すべて終了させてください。

2 ビデオカメラの電源ダイヤルを「見る」の位置に合わせる



3 ビデオカメラのモード選択スイッチを「メモリー」の位置に合わせる



4 USBケーブルでビデオカメラとパソコンを接続する

- USBケーブルの取り付け（☞P.145）

「新しいハードウェアの追加ウィザード」（Windows®2000の場合は、「新しいハードウェアの検索ウィザード」）がパソコンの画面に表示されます。

ビデオカメラの液晶画面に「USBモード」と表示されます。

5 付属のソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入する

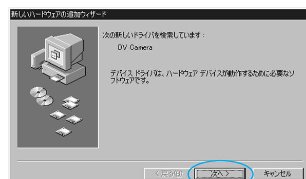
以降の手順は、お使いのパソコンによって違います。お使いのパソコンに合わせて以下のページをご覧ください。

- Windows®98/2000（☞P.147）
- Windows®Me（☞P.148）

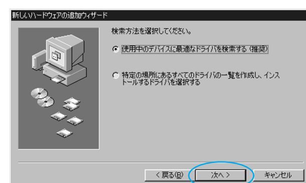
Windows®98/2000

以下の画面は、Windows®98 を例にとって説明しています。

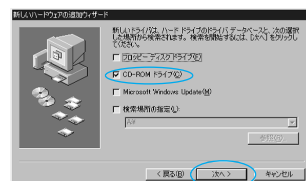
6 「次へ」をクリックする



7 「次へ」をクリックする



8 「CD-ROM ドライブ」にチェックが付いていることを確認し、「次へ」をクリックする



9 「次へ」をクリックする

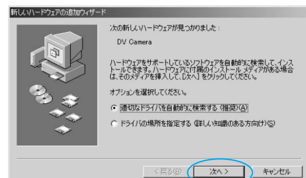


10 「完了」をクリックする

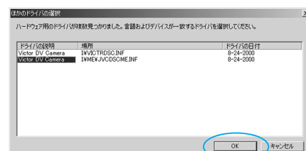


Windows®Me

6 「次へ」をクリックする



7 " ME " フォルダ内の " JVCDSCME.INF " を選び、「OK」をクリックする



8 「完了」をクリックする



ソフトをインストールする（Macintosh）

Mac OS の基本操作については、Macintosh のオンラインヘルプをご覧ください。
Mac OS 9 以降をお使いの場合は、ソフトをインストールする必要はありません。OS に標準の USB ドライバソフトウェアで使用できます。

1 Macintosh を起動する

- アプリケーションを使用している場合は、すべて終了させてください。

2 アップルメニューから「コントロールパネル」－「機能拡張マネージャ」を選ぶ

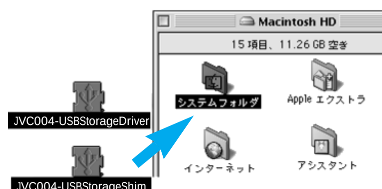
「機能拡張マネージャ」が表示されます

3 「File Exchange」のチェックボックスに「×」マークを付ける



4 付属のソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入する

5 ソフトウェア CD-ROM 中の「ドライバ」フォルダ中にある 2 つのファイルを、システムフォルダ中の機能拡張フォルダへドラッグ＆ドロップする



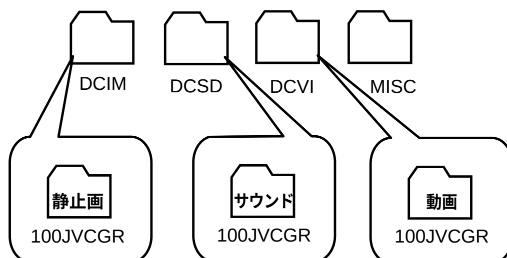
6 Macintosh を再起動する

ビデオカメラからパソコンへファイルをコピーする

ここでは、メモリーカードに記録された静止画や動画のファイルをパソコンにコピーする方法を説明します。

メモリーカード内のフォルダについて

メモリーカード内には上記のフォルダが自動的に作成され、それぞれ以下のファイルが記録されます。



「DCIM」フォルダ中の「100JVCGR」フォルダ	**：**	**静止画（拡張子"jpg"）**
「DCSD」フォルダ中の「100JVCGR」フォルダ	**：**	**サウンド（拡張子"mp3"）**
「DCVI」フォルダ中の「100JVCGR」フォルダ	**：**	**動画（拡張子"asf"）**
「MISC」フォルダ	**：**	**DPOF 設定データ**



- 取り込んだ動画を再生するときには WindowsMediaPlayer（Windows 版：Ver6.0 以降／ Mac 版： Ver6.3 以降）をご使用ください。

  WindowsMediaPlayer は下記のマイクロソフト社ホームページからダウンロードできます。

  http://www.microsoft.com/japan
- WindowsMediaPlayer で動画ファイルを開いても映像や音声がでないときは、インターネットに接続してから動画ファイルを開いてください。自動的に必要なソフトがダウンロードされ、動画が再生されます。
- メモリーカードにビクターのホームページからダウンロードしたサウンドデータを追加するときには、「DCSD」フォルダ中の「100JVCGR」フォルダにコピーしてください。
- 新たに購入したメモリーカードや初期化したメモリーカードに、アクセサリーキット（VU-P3KIT）に付属のメモリーカードに入っている効果音を追加したい場合は、付属のソフトウェア CD-ROM中の「DCSD」フォルダをメモリーカードにコピーしてください。

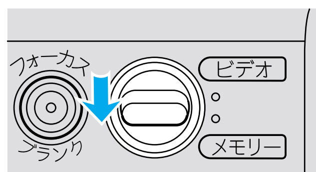
Windows®98/2000/Me の基本操作については、Windows®98/2000/Me またはパソコンの取扱説明書をご覧ください。
Mac OS の基本操作については、Macintosh のオンラインヘルプをご覧ください。

1 パソコン、または Macintosh を起動する

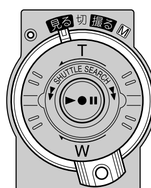
2 コピーするファイルを記録したメモリーカードを用意し、ビデオカメラに入れる

- メモリーカードの入れかた（☞ P.37）

3 ビデオカメラのモード選択スイッチを「メモリー」の位置に合わせる



4 ビデオカメラの電源ダイヤルを「見る」の位置に合わせる



5 USB ケーブルでビデオカメラとパソコンを接続する

- USB ケーブルの取り付け（☞ P.145）

ビデオカメラの液晶画面に「USB モード」と表示されます。

以降の手順は、お使いのパソコンによって違います。お使いのパソコンに合わせて、以下のページをご覧ください。

- Windows®98（☞ P.152）
- Windows®2000/Me（☞ P.153）
- Macintosh（☞ P.155）

Windows®98

6 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックする

ビデオカメラとパソコンが正しく接続されていると、ビデオカメラのメモリーカードを表す「リムーバブルディスク」アイコンが表示されます。

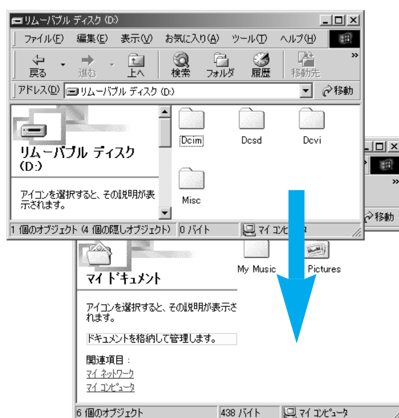
7 「リムーバブルディスク」アイコンをダブルクリックする

メモリーカード内のフォルダが表示されます。

8 コピー先にするフォルダをダブルクリックする

9 コピーしたいファイルを選んで、コピー先のフォルダへドラッグ＆ドロップする

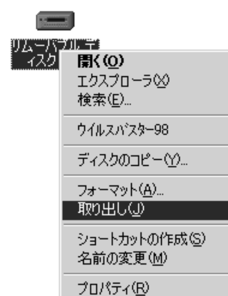
ビデオカメラの液晶画面に「USB通信中」と表示され、ビデオカメラからパソコンにファイルがコピーされます。



ご注意
- 「USB通信中」と表示されている間は、絶対にUSBケーブルを抜かないでください。

10 コピーが終わったら、「リムーバブルディスク」アイコンを右クリックして、「取り出し」を選ぶ

「リムーバブルディスク」アイコンが消えて、USBケーブルがとりはずしできる状態になります。



ご注意
- USBケーブルを抜いてから、パソコンの電源を切ったり、デジタルビデオカメラの電源ダイヤルを操作してください。

Windows®2000/Me

6 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックする

ビデオカメラとパソコンが正しく接続されていると、ビデオカメラのメモリーカードを表す「リムーバブルディスク」アイコンが表示されます。

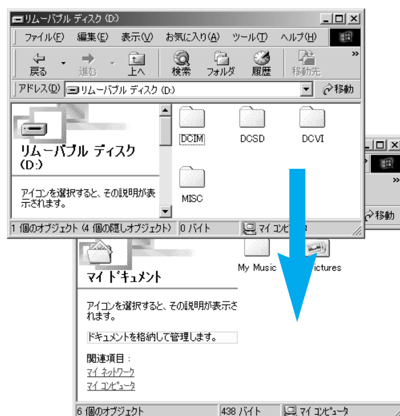
7 「リムーバブルディスク」アイコンをダブルクリックする

メモリーカード内のフォルダが表示されます。

8 コピー先のフォルダをダブルクリックする

9 コピーしたいファイルを選んで、コピー先のフォルダへドラッグ＆ドロップする

ビデオカメラの液晶画面に「USB通信中」と表示され、ビデオカメラからパソコンにファイルがコピーされます。



ご注意
- 「USB通信中」と表示されている間は、絶対にUSBケーブルを抜かないでください。

10 コピーが終わったら、タスクバーに表示されている、「ハードウェアの取り外し」アイコンをダブルクリックする



「ハードウェアの取り外し」ウィンドウ表示されます。

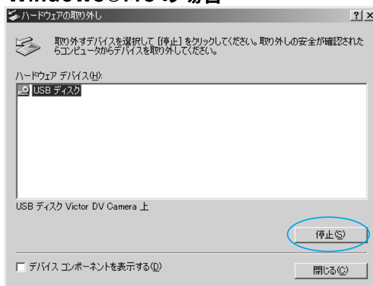
次へ続く

ビデオを編集してみよう編

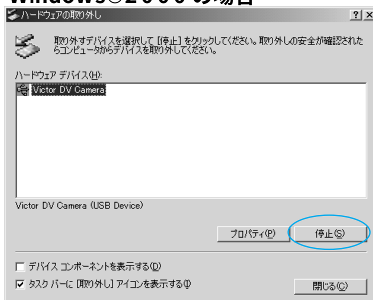
11 「VICTOR DV CAMERA」または「USB ディスク」を選択し、「停止」をクリックする

「ハードウェアデバイスの停止」ウィンドウが表示されます。

Windows®Me の場合



Windows®2000 の場合



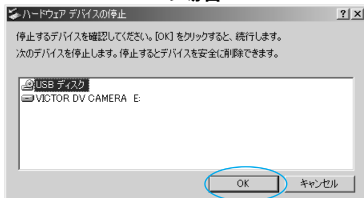
12 「OK」をクリックする

USB ケーブルをとりはずしできる状態になります。

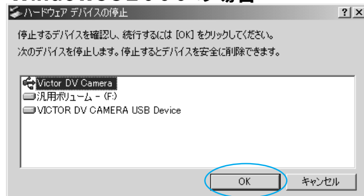
ご注意

- USB ケーブルを抜いてから、パソコンの電源を切ったり、デジタルビデオカメラの電源ダイヤルを操作してください。

Windows®Me の場合



Windows®2000 の場合



Macintosh

6 デスクトップに「名称未設定」アイコンが表示されていることを確認する

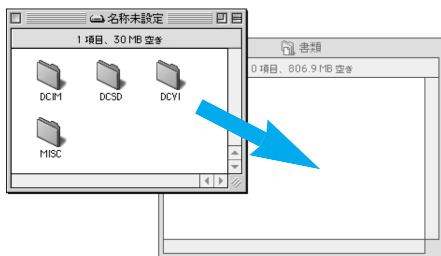


- ビデオカメラとパソコンが正しく接続されていると、ビデオカメラのメモリーカードを表す「名称未設定」アイコンが表示されています。

7 「名称未設定」アイコンをダブルクリックする

メモリーカード内のフォルダが表示されます。

8 コピー先のフォルダをダブルクリックする



9 コピーしたいファイルを選んで、コピー先のフォルダにドラッグ＆ドロップする

ビデオカメラの液晶画面に「USB 通信中」と表示され、ビデオカメラからパソコンにファイルがコピーされます。

ご注意

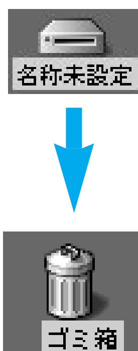
- 「USB 通信中」と表示されている間は、絶対に USB ケーブルを抜かないでください。

ビデオを編集してみよう編

次へ続く

10 コピーが終わったら、「名称未設定」アイコンをゴミ箱に捨てる

USB ケーブルをとりはずしできる状態になります。



ご注意

- USB ケーブルを抜いてから、パソコンの電源を切ったり、デジタルビデオカメラの電源ダイヤルを操作してください。

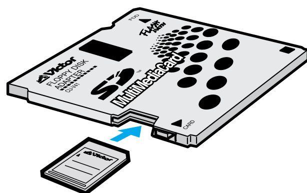
フロッピーアダプターまたは PC カードアダプターで読み込む

別売の PC カードアダプター（CU-V51）やフロッピーディスクアダプター（CU-V41）、USB リーダー／ライター（CU-V70）を使うとメモリーカードに記録した静止画を簡単にパソコンに取り込めます（3 種類ともにマルチメディアカード・SD メモリーカードに対応しています）。
ここでは、フロッピーディスクアダプターを使ってパソコンに取り込む方法を説明します。

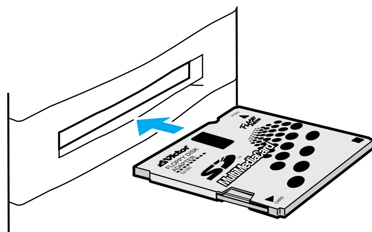
1 メモリーカードを取り出す

- メモリーカードを取り出すには
（☞ P.38）

2 メモリーカードをフロッピーディスクアダプターに差し込む



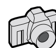
3 パソコンのフロッピーディスクドライブに差し込む



4 パソコンで、フロッピーディスクからハードディスクへファイルをコピーする

- パソコンの操作については、パソコン付属の取扱説明書をご覧ください。
- PC カードアダプター、フロッピーディスクアダプター、USB リーダー／ライターの取り扱いについては、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

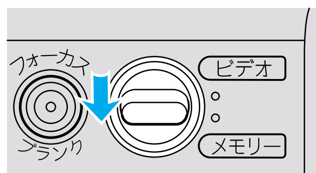
ファイルを削除できないようにする[プロテクト]



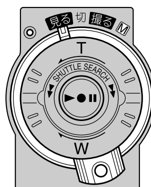
メモリーカードのファイルにプロテクトをかける

間違えて削除しないように、大切なファイルにはプロテクトをかけることをお勧めします。プロテクトをかけたファイルは削除されません。メモリーカードに保存されている静止画、動画、サウンドに、それぞれプロテクトをかけることができます。
ここでは、静止画にプロテクトをかける方法を説明します。

1 **スイッチを「メモリー」の位置に合わせる**

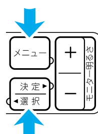


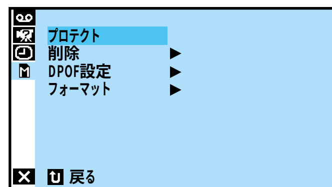
2 **「見る」の位置に合わせる**



3 **「メニュー」ボタンを押して、メニューを表示し、「決定」ボタンを押す**

メモリー再生モード設定メニューが表示されます。





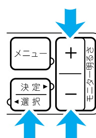
4 **「決定」ボタンを押す**

プロテクト画面が表示されます。

5 「+」・「−」ボタンでプロテクトをかける静止画を選び、「決定」ボタンを押す

静止画の右上に「🔒」マークがつきます。

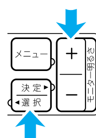
- 他の静止画にもプロテクトをかけるときは、手順 5 を繰り返します。

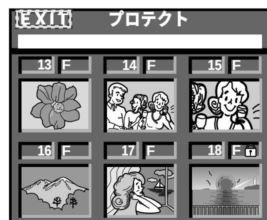




6 「+」ボタンで「EXIT」を選び、「決定」ボタンを押す

再生画面に戻ります。







- 動画とサウンドにも、同様にしてプロテクトをかけることができます。前ページの手順 3 を行う前に「選択」ボタンを押して動画またはサウンドを表示してください。

ファイルのプロテクトをはずす

ここでは、静止画のプロテクトをはずす方法を説明します。

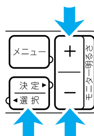
1 「メモリーカードのファイルにプロテクトをかける（☞ P.158）の手順１～４を行う

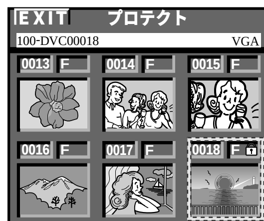
プロテクト画面が表示されます。

2 「＋」・「ー」ボタンでプロテクトをはずしたい静止画を選び、「決定」ボタンを押す

静止画右上の「」マークが消えます。

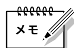
- 他の静止画もプロテクトをはずしたいときは、手順２を繰り返します。





3 「＋」ボタンで「EXIT」を選び、「決定」ボタンを押す

再生画面に戻ります。



- 動画とサウンドのプロテクトも、同様にしてはずすことができます。「メモリーカードのファイルにプロテクトをかける」の手順３を行う前に「選択」ボタンを押して動画またはサウンドを表示してください。



- ファイルにプロテクトをかけていても、フォーマットした場合は削除されます。必要なファイルはパソコンに転送して保存してください。

画面の表示方法を変更する

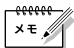
ダビングや編集をするときには、画面の文字や記号を隠すことをお勧めします。ここでは、画面の日時表示やメニュー表示を隠す方法と、そのほかの日時／表示設定メニューの項目について説明します。

日時／表示設定メニュー

電源ダイヤルを「Ⓜ」「見る」のいずれかに合わせ、「メニュー」、「＋」・「－」、「決定」ボタンで設定する。

項　目	設定項目	機　能
画面表示切替	モニター	TVやビデオデッキに、画面の表示を出力しない
	モニター/TV	TVやビデオデッキに、画面と常に同じ表示を出力する
日時表示	切	表示しない
	オート	電源を入れたときなどに5秒間表示する
	入	常に表示する（☞ P.120）
タイムコード	切	表示しない
	入	表示する（☞ P.122）
年月日時計合わせ	年月日、時刻	日時を設定する（☞ P.44）「Ⓜ」に設定したときのみ

※:最初の設定値は、▇▇▇で表示してあります。



- 「画面表示切替」と「日時表示」と「タイムコード」の設定は電源ダイヤルを「撮る」にしたときも働きます。
- 「画面表示切替」の設定はリモコンの「画面表示」ボタンでも切り替えることができます（☞ P.191）。



- 画面表示切替が「モニター」に設定されていても、「日時表示」や「タイムコード」が「入」に設定されていると、日時やタイムコードは画面に表示されます。

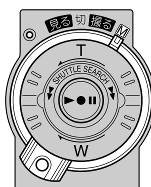
  これらをダビングしたくないときは、「日時表示」や「タイムコード」の設定を「切」にしてください。

日時／表示設定メニューの設定方法

メニューの操作方法を説明します。例として、「画面表示切替」の設定を「モニター」に変更します。

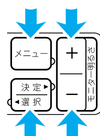
1 「M」の位置に合わせる

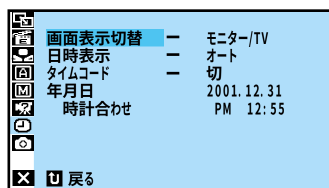
- 「見る」の位置に合わせても設定できます。



2 「メニュー」ボタンを押してメニューを表示し、「＋」・「－」ボタンで「日時／表示」を選んで「決定」ボタンを押す

日時／表示設定メニューが表示されます。

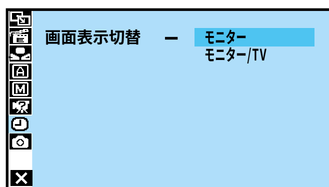




3 「画面表示切替」を選び、「決定」ボタンを押す

「モニター」「モニター／ＴＶ」が表示されます。

4 「モニター」を選び、「決定」ボタンを押す



5 「決定」ボタンを２回押して撮影画面に戻る

撮影設定を変更する

フルオート用の設定を変更する

ここでは、撮影用の設定のなかで、「撮る」と「Ⓜ」の両方で効果がある項目について説明します。

フルオート設定メニュー

電源ダイヤルを「Ⓜ」に合わせ、「メニュー」、「＋」・「－」、「決定」ボタンで設定する。

項　目	設定項目	特　徴	参　照
録画モード テープの撮影時間が1.5倍になる	SP	アフレコ編集・インサート編集可能	P.138
	LP	撮影時間がSPモードの1.5倍	
音声モード アフレコ可能なモードで録音する	12BIT	アフレコ編集可能	P.140
	16BIT	高音質で録音	
ズーム ズーム倍率の上限を設定する	10倍	光学ズーム（画質が劣化しない）	P.52
	40倍	デジタルズーム	
	200倍	デジタルズーム	
記念写真モード 静止画の演出方法を設定する	ピンナップ	白フチと影をつける	P.78
	フレーム	白フチをつける	
	フル	全面に静止画を表示する	
	4マルチ	連写画像を4分割で表示する	
	9マルチ	連写画像を9分割で表示する	
感度アップ 撮影の感度を設定する	切	自然のままの明るさ	P.164
	AGC	電気的に感度アップ	
	オート	シャッター速度調整で感度アップ	

※:最初の設定値は、　　　で表示してあります。

撮影設定を変更する

各項目の補足説明

録画モード

- 本機の「LP」モードで撮影したテープは本機で再生することをお勧めします。他のデジタルビデオではうまく再生できない場合があります。

音声モード

- アフレコ編集をするには、あらかじめ「12BIT」に設定して撮影してください。一方、「16BIT」に設定すると、より高音質で録音できます。
- どちらのモードでも、ステレオで録音されます。
- 従来のビクター製ビデオカメラでは、12BIT 音声を 32KHz 音声、16BIT 音声を 48KHz 音声と表現しています。

ズーム

- 10 倍まではレンズの機能で映像をズームしますが、10 倍以上は映像をデジタル処理するため、映像品質が少し劣化します。

記念写真モード

- 静止画の演出方法を、5 種類から選択できます（☞ P.56、76）。
- 4 マルチ、9 マルチモードを設定していてもデジタルズーム中、ナイトアイ設定中は、フルモードで記録されます。

感度アップ

- 「AGC」で撮影した画面は、デジタル映像を処理して実際よりも明るい映像を記録します。ただし、映像がザラザラした感じになります。
- 「オート」で撮影した画面は、自動的にシャッタースピードを調整して、実際よりも明るい映像を記録します。ただし、被写体の動きは多少不自然になります。

静止画撮影設定メニュー

電源ダイヤルを「Ⓜ」に合わせ、「メニュー」、「＋」・「－」、「決定」ボタンで設定する。

項　目	設定項目	特　徴	参　照
画質設定 静止画の画質を設定する	ファイン	高画質（撮影枚数が少ない）	P.82
	スタンダード	撮影枚数が多い	
画像サイズ 静止画の画像サイズを設定する	VGA	640×480ドット	P.82
	XGA	1024×768ドット	
記録選択 静止画の記録方法を設定する	➡テープ	テープのみに記録する	P.165
	➡テープ／➡Ⓜ	テープとカード両方に記録する	

※:最初の設定値は、　　　で表示してあります。

各項目の補足説明

画質設定

- 静止画が撮影できるモードのときは、おおよその撮影可能枚数が画面右上に表示されます（☞ P.57）。

画像サイズ

- 720 × 480 ドットで撮影した画像をデータ変換し、XGA（1024 × 768 ドット）ファイルサイズで保存しています。

記録選択

- ビデオテープに静止画を撮るときに、静止画をメモリーカードにも記録するかどうかを選択できます（☞ P.76）。
- 「➡テープ／➡Ⓜ 」に設定し、ビデオカメラにテープが入っていないときには、メモリーカードにのみ記録されます。

マニュアル用の設定を変更する

ここでは、撮影用の設定のなかで、「Ⓜ」を選択したときに効果がある項目について説明します。

マニュアル設定メニュー

電源ダイヤルを「Ⓜ」に合わせ、「メニュー」、「＋」・「－」、「決定」ボタンで設定する。

項　目	設定項目	特　徴	参　照
手ぶれ補正 手ぶれ補正を設定する	**切**		**P.**167
	入	**手ぶれで映像が振れない**	
5S 5秒撮影のモードを設定する	**切**		**P.**167
	5S	**5秒間だけ撮影する（スナップショットムービー）**	
	アニメ	**1/8秒間だけ撮影する（アニメーション制作）**	
テレマクロ 接写を設定する	**切**	**1mまで接近して撮影できる**	**P.**52
	入	**T側で60cmまで接近可能**	
ワイド効果 ワイドテレビに合わせた画面にする	**切**		**P.**167
	シネマ	**映画風に上下に黒い帯が入る**	
	ワイド	**ワイドテレビと同じ横長の画面になる**	
ボイスポジション 録音される雑音を軽減する	**切**	**自然な音声を録音する**	**P.**201
	入	**風による雑音を軽減して録音する**	

※:最初の設定は、　　　で表示してあります。
※:電源ダイヤルが「撮る」のとき(　　　の設定で動作します。

各項目の補足説明

手ぶれ補正

- 三脚などでビデオカメラを固定して撮影するときは「手ぶれ補正」を「切」にしてください。「入」のままだと被写体の動きに合わせて必要のない補正を行い、不自然な映像になることがあります。
- 手ぶれが大きいとき、コントラスト（明暗差）のほとんどない被写体を撮るとき、映像をデジタル処理するときは補正できないことがあります。
- 手ぶれ補正が働かないときは、液晶画面の「 」表示が点滅、または表示が消えます。

5S

- 「5S」では、撮影ボタンを押してから 5 秒たつと自動的にテープが一時停止します。短いカットの連続したビデオを撮影したいときに便利です。
- 「アニメ」では、撮影ボタンを押すと 1/8 秒分だけ撮影されます。人形や切り絵などを少しずつ動かして 1 コマアニメーションを制作するときに使用します。

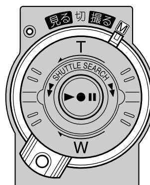
ワイド効果

- **普通のテレビ（画面比率 4:3）やファインダー、液晶画面で見るときは**
  ワイド映像は、縦長の映像が映ります。シネマ映像は、上下に黒い帯が入った映像が映ります。
- **ワイドテレビで再生するときは**
  ワイドで撮った映像には、ワイド用の識別信号が記録されています。S2 出力端子をＳ映像コードでワイドテレビに接続してください。テレビの S2 端子に接続すれば、ワイド、シネマをテレビが自動判別します。テレビの S1 端子に接続すると、ワイドを自動判別します。テレビ側に S2 または S1 端子がないときは、S 端子に接続してください。自動判別はできません。なお撮影中、または撮影停止中は、ワイド用の識別信号が出力されません。ワイドテレビで見やすい映像に調節してください。（詳細はお使いのワイドテレビの取扱説明書をご覧ください）。
- **ビデオデッキでダビングしたワイド映像を再生するときは**
  ワイド映像になるようにテレビ側でモードを切り替えてください（詳細はお使いのワイドテレビの取扱説明書をご覧ください）。
- **ワイド映像とシネマ映像を混在させて撮ったときは**
  早送り再生中、巻戻し再生中は、ワイド映像とシネマ映像を判別できません。

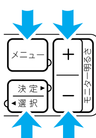
設定のしかた

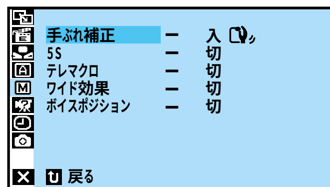
例として、テレマクロの設定を「入」に変更します。

1 「Ⓜ」の位置に合わせる



2 「メニュー」ボタンを押してメニューを表示し、「＋」・「－」ボタンで「Ⓜマニュアル」を選んで「決定」ボタンを押す



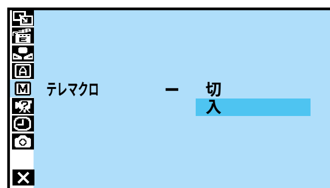


マニュアル設定メニューが表示されます。

3 「テレマクロ」を選び、「決定」ボタンを押す

「切」「入」が表示されます。

4 「入」を選び、「決定」ボタンを押す



5 「決定」ボタンを2回押して撮影画面に戻る

操作音やランプを消す、機能デモを表示する

システム設定メニュー

電源ダイヤルを「Ⓜ」「見る」のいずれかに合わせ、「メニュー」、「＋」・「－」、「決定」ボタンで設定する。

項　目	設定項目	特　徴	参　照
ブザー 操作音を消す	**切**	**操作音を消す**	**P.**201
	ブザー	**一部の操作のみブザー音**	
	メロディー	**操作するごとにメロディー音**	
タリー 撮影ランプを消す	**切**		**P.**169
	入	**撮影中にランプが点灯する**	
デモモード プログラムAEの効果をデモで確認する	**切**		**P.**169
	入		
プリセット すべての設定をもとに戻す	**キャンセル**		**P.**201
	実行	**すべての設定を初期値の状態に戻す**	
音声入力切替 アフレコ時に効果音を入れる	**マイク**	**ビデオカメラ内蔵のマイクから入力**	**P.**141
	効果音	**メモリーカードの効果音を入力**	

各項目の補足説明

タリー

- 「入」では、撮影中であることを撮影ランプを点灯させてお知らせします。
- 「切」では、撮影ランプを点灯させません。

デモモード

- カセットテープを入れずに電源を入れると、液晶画面にビデオカメラの機能デモを表示します。
- 機能デモの表示中にズームなどの操作を行うと、一時的に機能デモの表示を停止し、約1分後に再開されます。
- 通常はデモモードを「切」にしてご使用ください。「入」のままにしていると、設定できない機能があります。

プリセット

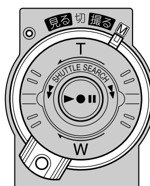
- プリセットを実行すると、プログラムAE設定は出荷時の設定である「ナイトアイ」に戻らず「切」になります。

設定のしかた

例として、デモモードの設定を「切」に変更します。

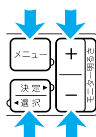
1 「M」の位置に合わせる

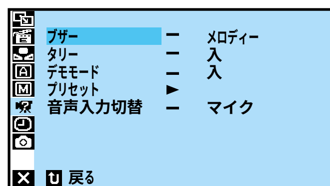
• 「見る」の位置に合わせても設定できます。



2 「メニュー」ボタンを押してメニューを表示し、「+」・「−」ボタンで「 システム」を選んで「決定」ボタンを押す

システム設定メニューが表示されます。

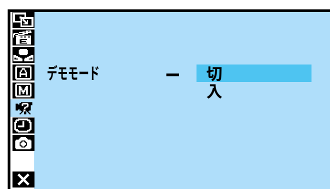




3 「デモモード」を選び、「決定」ボタンを押す

「入」「切」が表示されます。

4 「切」を選び、「決定」ボタンを押す

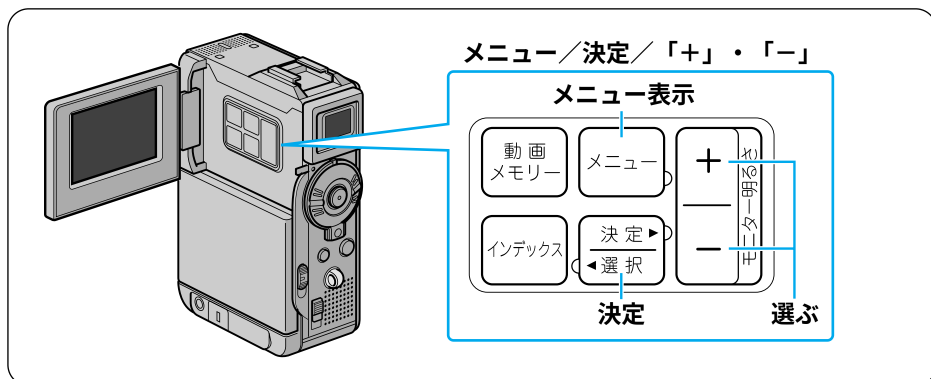


5 「決定」ボタンを 2 回押して撮影画面に戻る

プリント情報を設定する[DPOF 設定]

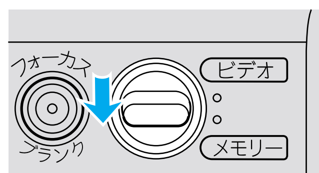


今後の自動プリントシステムなど将来の環境を考慮し、自動プリントするための情報を記録する DPOF(Digital Print Order Format)規格に対応しています。
DPOF 設定で自動プリントの指定ができるのは、メモリーカードに記録された静止画のみです。ビデオの映像を DPOF 設定によってプリントしたいときは、プリントしたい場面をあらかじめ静止画としてメモリーカードにコピーしておきます（☞ P.111）。

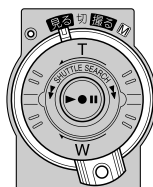


すべての静止画を１枚ずつプリントするよう設定する

1 スイッチを「メモリー」の位置に合わせる

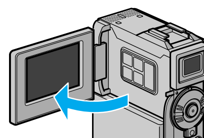


2 「見る」の位置に合わせる



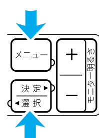
3 液晶画面を開く

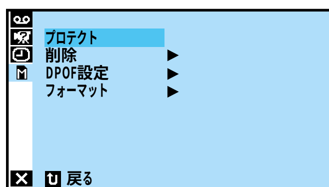
液晶画面に静止画が表示されます。



4 「メニュー」ボタンを押して、メニューを表示し、「決定」ボタンを押す

メモリー再生モード設定メニューが表示されます。



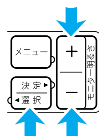


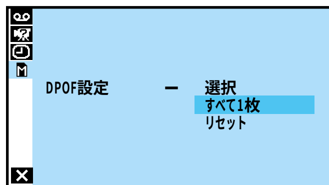
5 「DPOF 設定」を選び、決定する

「選択」「リセット」などが表示されます。

6 「すべて１枚」を選び、決定する

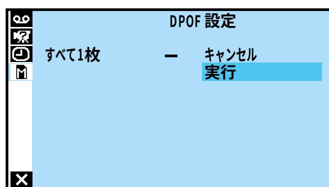
「キャンセル」「実行」が表示されます。





7 「実行」を選び、決定する

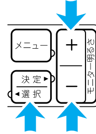
再生画面に戻ります。

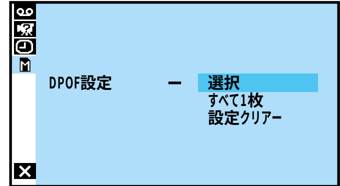


静止画とプリント枚数を選んで設定する

1 **「すべての静止画を１枚ずつプリントするよう設定する」（☞ P.171）の手順 6 で「選択」を選び、決定する。**

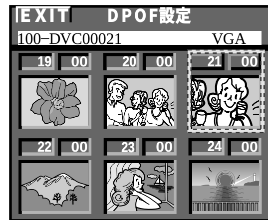
DPOF 設定画面が表示されます。





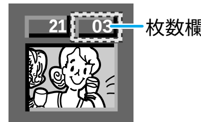
2 **「＋」・「－」ボタンでプリントしたい静止画に枠線をあわせ、「決定」ボタンを押す**

静止画の枚数欄が選択されます。



3 **枚数欄にプリントする枚数を設定し、「決定」ボタンを押す**

- 最大 15 枚まで設定できます。

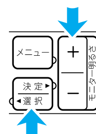


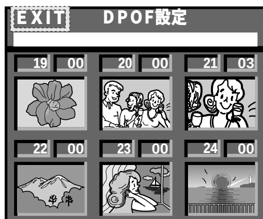
4 **他の静止画もプリントしたいときは、手順 2 ～ 3 を繰り返す**

- 枚数を間違えて設定してしまったときは、その静止画に枠線を合わせて「決定」ボタンを押し、枚数を設定しなおします。

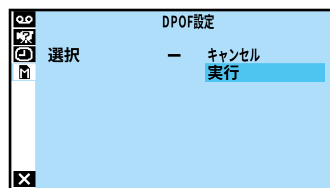
5 **「＋」ボタンで「EXIT」を選び、「決定」ボタンを押す**

「キャンセル」と「実行」が表示されます。





6 「実行」を選び、「決定」ボタンを押す



再生画面に戻ります。

枚数をすべて 0 枚に戻すには

「すべての静止画を 1 枚づつプリントするよう設定する」（☞ P.171）の手順 6 で「リセット」を選んでください。すべての静止画が 0 枚に設定されます。

ご注意

- 操作中は電源を抜かないでください。静止画像ファイルが壊れます。安全のため、DPOF 設定の実行中は電源ダイヤルを含むすべてのボタンが働きません。



- DPOF 対応プリンターを使用する場合、上記の操作をしたメモリーカードを入れると選択した静止画だけを自動的に印刷できます。
- テープの映像を印刷するには、あらかじめメモリーカードへコピーしてください（☞ P.111）。

メモリーカードを初期化する



万一、一部のデータが読み書きできなくなったなどの不具合が生じた場合は、メモリーカードをフォーマットすることで機能を回復できることがあります。通常、メモリーカードのフォーマットは不要ですが、どうしてもフォーマットする必要が生じた場合は、下記の手順で行ってください。
フォーマットするとメモリーカード内のファイル（静止画、サウンド、動画）はすべて消去されます。

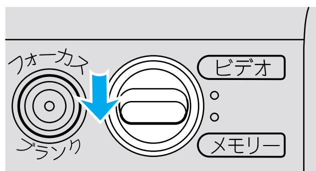
1 AC アダプターを取り付ける

- AC アダプターの取り付け（☞ P.65）

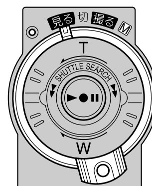
2 保存したいファイルがあればコピーする

- パソコンにファイルを取り込むには（☞ P.145）
- ファイルが壊れているときは、コピーできないこともあります。

3 スイッチを「メモリー」の位置に合わせる

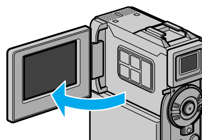


4 「見る」の位置に合わせる



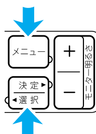
5 液晶画面を開く

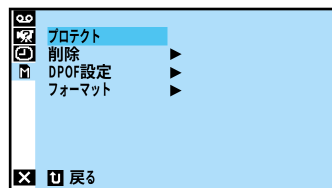
液晶画面に静止画が表示されます。



6 「メニュー」ボタンを押してメニューを表示し、「決定」ボタンを押す

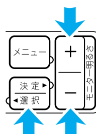
メモリー再生モード設定メニューが表示されます。

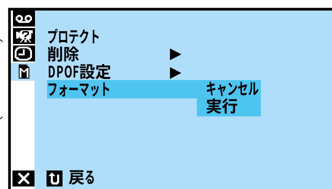




7 「＋」・「－」ボタンで「フォーマット」を選び、「決定」ボタンを押す

「キャンセル」「実行」が表示されます。

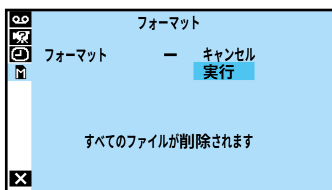




8 「実行」を選び、「決定」ボタンを押す

- フォーマットをやめるには「キャンセル」を選びます。

メモリーカードがフォーマットされます。フォーマットが終了すると、再生画面に戻ります。



ご注意

- フォーマット中は電源を切ったり、ほかの操作をしないでください。故障の原因となります。
- ファイルにプロテクトをかけていても、フォーマットした場合は消去されます。必要なファイルはパソコンに転送して保存してください。



- フォーマットしても、メモリーカードの機能が回復しない場合は、新しいメモリーカードを購入してください。

故障かな？と思ったら

このビデオカメラはマイコンを使用しています。
雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。そんなときはビデオカメラから電源（バッテリー、AC アダプターなど）をはずし、あらためてご使用ください。それでも不具合があり、以下の処置をしても改善されない場合は、お買い上げ販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

	こんなとき	ご確認ください	参照
電源	**電源が入らない**	● 電源コードを正しく接続してください。 ● バッテリーを充電してください。 ● 液晶画面を開くか、ファインダーを引き出してください。	**P.**65 **P.**31 **P.**42
	「日時を設定して下さい」が表示される	● 内蔵の時計用電池がなくなっています。AC アダプターなどの電源を 24 時間以上接続したあと日時を設定してください。	**P.**44
撮影中	**撮影できない**	● 撮影モードスイッチを正しく設定してください。 ● テープの誤消去防止用つまみを「REC」側にしてください。 ●「テープおわり」と表示されていませんか？ ● 電源ダイヤルを「撮る」または「M」にしてください。 ● カセットカバーを閉じてください。	**P.**46 **P.**186 **P.**206 **P.**42 **P.**36
	映像が出ない	● 電源をもう一度入れ直してください。	**P.**42
	メニューの機能が使えない	● 電源ダイヤルを「M」にしてください。	**P.**42
	自動でピントが合わない	● 電源ダイヤルを「撮る」にしてください。「M」のまま撮影するときは、「フォーカス」ボタンを押して手動フォーカスを解除してください。 ● 暗いところや明暗差のないものを撮影していませんか？ ● レンズにゴミや水滴などが付いていませんか？	**P.**86 **P.**188
	撮影中、液晶画面に日時が出ない	●「日時表示」を「入」にしてください。 ● 対面撮影していませんか？	**P.**120 **P.**58
	撮影した映像の縦に明るい線が出る	● 強い光の当たる被写体を撮影しませんでしたか？　被写体に強い光が当たると、コントラストの違いで線が出ることがあります。故障ではありません。	–
	太陽光が映ると、画面が一瞬赤くなったり、黒くなったりする	● 故障ではありません。	–
	静止画を撮っても別売フラッシュが発光しない	● フラッシュが充電中ではありませんか？　画面に ⚡ が点滅していたら充電中です。充電には約 10 秒ほどかかる場合があります。 ● ビデオ（動画）の撮影中ではフラッシュは発光しません。 ● 4 マルチ、9 マルチモードの静止画では発光しません。 ●「感度アップ」が「切」のとき、プログラム AE で「夜景」を設定したときは発光しません。 ● バッテリー残量表示が点滅しているときは、発光しません。 ● プログラム AE を使用しているときは発光しません。	–

	こんなとき	ご確認ください	参照
撮影中	**撮影した静止画が暗い**	●「逆光補正」ボタンを押してください。 ● フラッシュ発光部分を指などで覆っていませんか？　フラッシュ発光部分をよく確認して、覆わないようにしてください。 ● 被写体までの距離が離れすぎていませんか？　フラッシュの効果は約 0.7m から 2m の範囲です。	P.75
	撮影した静止画が明るい	●「プログラム AE」の「スポットライト」を選択してください。	P.96
	撮影した静止画の色がおかしい	● 照明の色や被写体に白い部分がない場合、または被写体の背後にいろいろな光源がある場合に色がおかしくなるときがあります。白い被写体を画角に入れて撮影してください。	P.87
	デジタルズームができない	●「ズーム」が「10 倍」に設定されているときは、ズームは 10 倍までしか使えません。 ●「プログラム AE」で「ゴースト」を選択しているときは、ズームは 10 倍ズームまでしか使えません。 ●「場面切替」で「P ワイプ」を選択しているときはデジタルズームは使えません。	P.163 P.96 P.90
	手ぶれ補正が働かない	●「手ぶれ補正」を「入」にしてください。	P.166
	「プログラム AE」や「場面切替」機能が使えない	● 電源ダイヤルを「Ⓜ」にしてください。	P.96 P.90
	「場面切替」の「P ワイプ」での切替が使えない	● 撮影中に電源ダイヤルを「切」にしないでください。 ● 撮影中に電源を切らないでください（撮影停止を 5 分以上続けると、自動的に電源が切れます）。	P.90 P.90
	「場面切替」の「P ワイプ：オーバーラップ」が使えない	● 撮影中に「プログラム AE」を設定、変更しないでください。 ●「プログラム AE」の「セピア」や「白黒」「高感度」を選択しているときは使えません。 ●「ワイド効果」で「ワイド」を選択しているときは使えません。	P.98 P.96 P.166
	「場面切替」の「P ワイプ」でのワイプ効果が使えない	●「プログラム AE」の「高感度」を選択しているときは使えません。 ●「ワイド効果」で「切」以外を選択しているときは使えません。	P.96 P.166
	「場面切替」の「フェーダー：白黒」が使えない	●「プログラム AE」の「セピア」や「白黒」を選択しているときは使えません。	P.96
	「プログラム AE」の「ゴースト」が使えない	●「ワイド効果」で「ワイド」を選択しているときは使えません。 ●「場面切替」の「P ワイプ」で撮影しているときは使えません。 ●「場面切替」のフェーダー効果を使ってフェードイン、フェードアウトしているときは使えません。	P.166 P.90 P.90
	「プログラム AE」の「映画効果」や「ストロボ」を選択してもコマ落とし効果が使えない	●「場面切替」の「P ワイプ」で撮影しているときは使えません。	P.90
	「白バランス」が設定できない	●「プログラム AE」で「セピア」や「白黒」を選択しているときは使えません。	P.96

次へ続く

故障かな？と思ったら

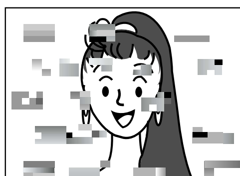
	こんなとき	ご確認ください	参照
撮影中	**液晶画面の映像が暗い、または白くなる**	● 液晶画面の角度や明るさを調節してください。 ● 液晶画面の寿命が短くなっている可能性があります。お買い上げの販売店、またはお近くのビクターサービス窓口にご相談ください。	P.49 P.194
	液晶画面の裏側が熱くなる	● 液晶画面を長時間使用していませんか？　長時間使用すると、液晶画面裏の蛍光管が熱くなります。液晶画面を切るか電源を切ってしばらく放置しておくと元に戻ります。	—
	液晶画面に表示ムラが出る	● 液晶画面やそのまわりを押しませんでしたか？　液晶画面を圧迫すると映像ムラが生じます。手を離してしばらく放置しておくと元に戻ります。	—
	液晶画面のアイコン表示が点滅する	●「場面切替」「プログラム AE」「手ぶれ補正」機能のうち、同時に使用できない機能を選択しているときは各機能のアイコンが点滅します。	P.90 P.96 P.166
	「ツユが付きました」と表示される	● メッセージが消えてから使用してください。	P.183
	「ヘッドが汚れています」と表示される	● 別売のデジタルビデオヘッドクリーナーテープでヘッドを清掃してください。	P.182
	撮影中に音声が聞こえない	● ヘッドホンで聞くことができます。ビデオを再生して音量を調節してください。	P.60
再生中	**液晶画面の映像が乱れる**	●テープの無記録部分の再生、高速再生、および静止画再生中は液晶画面の映像が乱れることがあります。故障ではありません。	—
	テープの、巻戻し、早送りができない	●電源ダイヤルを「見る」にしてください。	P.59
	メモリーカードの再生ができない	●電源ダイヤルを「見る」にしてから、モード選択スイッチを「メモリー」に合わせてください。	P.63
	テープは回っているが再生されない	●カセットカバーを閉じてください。 ●テレビのチャンネルをビデオ用に設定してください。	P.36 P.66
	映像にモザイク状のノイズが出る	● 別売のデジタルビデオヘッドクリーナーテープでヘッドを清掃してください。	P.182
	映像が映らず青い画面になる	● 別売のデジタルビデオヘッドクリーナーテープでヘッドを清掃してください。	P.182
その他	**再生画像が映らない**	● S 映像コードを使用してください。	P.68
	液晶画面に「E01」など、E の付いた数字が表示される	● なんらかのエラーが発生しています。この間ビデオカメラは操作できません。バッテリーと電源を取り外してつけなおし表示が消えてからお使いください。2、3 度くり返しても表示が消えないときはお買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。また、テープは取り出さないでください。	P.194
	液晶画面の映像が暗い	● 寒い場所でビデオを再生していませんか？　寒い場所では、多少液晶画面が暗く見えます。故障ではありません。 ● 液晶画面の明るさを調節してみてください。	— P.49

	こんなとき	ご確認ください	参照
その他	**液晶画面に映像が表示されない**	● ファインダーを引き出していませんか？ ● 液晶画面の明るさを調節してみてください。 ● 液晶画面を 180°回転しているときは、液晶画面を一度確実に開いてください。	P.50 P.49 —
	液晶画面とファインダーに黒、赤、青、緑の点が出る	● 故障ではありません。	P.185
	ファインダー内にゴミが入っている	● 市販のレンズブロワーでごみを取ってください。	P.184
	AC アダプターの充電ランプがつかない	● 低温（10 ℃以下）や高温（30 ℃以上）で充電していませんか？ 10 〜 30 ℃の環境で充電してください。周囲の温度が低すぎたり高すぎたりすると、バッテリー保護のため充電が中止されることがあります。	P.32
	テープが入らない	● テープの向きを確かめてください。 ● バッテリーの残量を確かめてください。	P.35 P.48
	メモリーカードが入らない	● メモリーカードの向きを確かめてください。	P.37
	メモリーカードの画像を削除できない	●プロテクトを解除してください。	P.160
	DV コードで接続しているとき、操作ができない	● 電源が入った状態で DV コードを抜き差ししませんでしたか？一度電源を切り、接続をやり直してから操作してください。	P.126 P.156
	USB 接続時に通信エラーが発生する	● USB ケーブルを正しく接続してください。 ●ソフトウェアを正しくインストールしてください。	P.145 P.146
	ファイルのコピーができない	●コピー先があるフォルダがあるドライブに空き容量があるか確認してください。 ●コピー先があるフォルダがあるドライブが書き込み禁止になっていないか確認してください。 ●コピー先のフォルダに同じ名前のファイルがないか確認してください。	—

再生中の映像にノイズが出たら

ビデオカメラを長時間使用していると、ヘッドに空気中のほこりやちりが付着します。また、傷のあるテープを使用したときにテープの磁性粉がはがれてヘッドに付着したりします。ヘッドが汚れると次のような症状が出ます。

- 撮影中に「⊗ ヘッドが汚れています」と表示される
- 再生しても音や映像が出ない（青い画面になる）
- 再生すると、映像がモザイク画（ブロック状のノイズ）になる
- 再生すると、映像に黒色やモザイク状の横しまが出る





このようなときは、別売のデジタルビデオヘッドクリーナー（M-DV2CL）テープをビデオカメラで再生して、ヘッドを清掃してください。



M-DV2CL を長時間繰り返し再生すると、ヘッド摩耗の原因になりますのでご注意ください。（ビデオカメラで M-DV2CL を再生すると、20 秒後に自動的に再生を停止します）

詳しくは M-DV2CL の取扱説明書をご覧ください。

- **M-DV2CL でクリーニングしても鮮明な映像が映らないときは**
  ヘッドが摩耗しています。または、テープに傷があります。お買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。
- **定期点検を行ってください**
  ヘッドやテープを動かす機械部品は、お使いになる間に汚れたり、摩耗したりします。ビデオカメラの性能を維持し、いつも美しい画面をご覧いただくために、およそ使用時間 1000 時間を目安に定期点検に出されることをおすすめします。定期点検は、お買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

「ツユが付きました」と表示されたら

よく冷えたビールをコップに注ぐと、コップのまわりに徐々に水滴が付着します。この状態を「つゆつき」といいます。ビデオカメラでつゆつきが発生すると、心臓部のヘッドドラムのまわりに水滴が付着し、テープが貼りついてしまいます。

■ つゆつきはこんなときに起こります



- ビデオカメラを寒いところから暖かいところに急に移動したとき
- 湿気の多い場所でビデオカメラを使用しているとき
- 暖房した直後の部屋や、エアコンなどの冷風がビデオカメラに直接当たるとき

■ つゆつきが発生すると



- 液晶画面に「💧ツユが付きました」と「しばらくお待ち下さい」が交互に表示され、ビデオカメラが停止します。この間、カセットの出し入れはしないでください。
- 通常、つゆつきは徐々に発生するため、10～15分間はメッセージが表示されないことがあります。メッセージが表示される前でもレンズや保護ガラスに水滴が付いているときはヘッドドラムにも水滴が付着している可能性があります。カセットカバーを開けないでください。
- つゆつきはレンズの内側にも発生します。レンズに水滴が付着しているときれいに撮影できませんので、つゆつきがなくなってから撮影してください。

■ 再び使い始めるときは

メッセージが消えてからご使用ください。メッセージが消えないときは点検が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

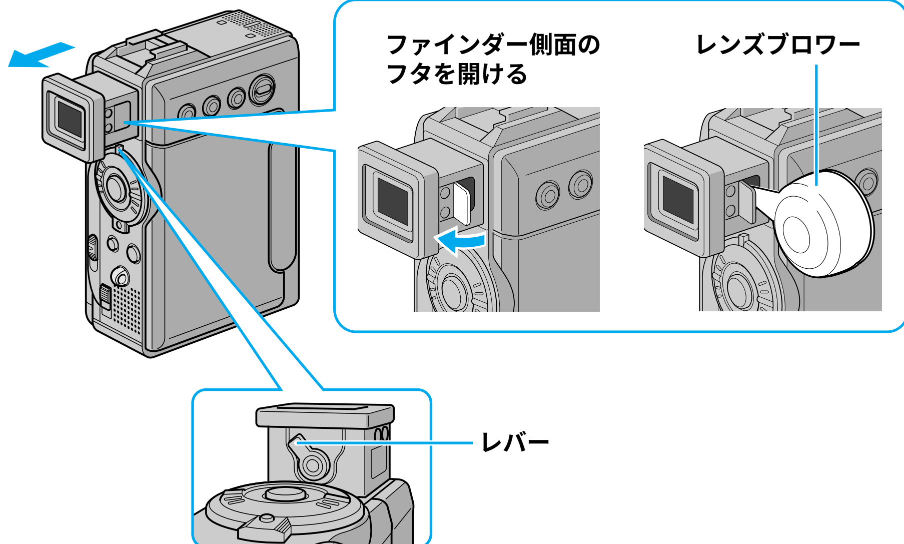
寒冷地帯では露が凍結し、霜になることがあります。寒冷地帯ではメッセージが消えるまでに、さらに時間がかかることがあります。

■ つゆつきのトラブルを防ぐには

寒いところから暖かいところ、冷風の効いたところから温度、湿度の高い場所に移動したときは、ビデオカメラとテープをしばらく放置して、使用する環境になじませてからご使用ください。
例えばスキー場で撮影後、暖房の効いた部屋に入るときは、ビニール袋などにビデオカメラを入れて空気が入らないように密封し、しばらくその状態で室温になじませてからご使用ください。

ファインダーの中にゴミが入ったら

ファインダーの内部にゴミなどが入ったときは､ファインダー側面のフタを開け､レンズブロワーでゴミを取ってください。ファインダー内部のすきまが狭い場合は、ファインダー下にあるレバーを動かして広げてください。レバーを動かした後は、再度ファインダーの調節を行ってください（☞ P.50）。
終わったらファインダー側面のフタを確実に閉め､ファインダーをもとに戻します。



使用上のご注意

ビデオカメラについて

■ 本機は DV 方式のデジタルビデオカメラです。
従来式のビデオ、および DV 方式以外のデジタルビデオとは互換性がありません。

■ 電源（バッテリーや AC アダプター）をはずすときは、必ず電源ダイヤルが「切」になっていることを確認してください。
ビデオカメラの動作中に電源をはずすと、テープやメモリーカードを傷めたり誤動作の原因になります。

■ 長時間使用しないときは電源ダイヤルを「切」にしてください。
長時間電源を入れたままにしておくと、ビデオカメラの表面が温かくなります。

■ ビデオカメラを保管するときはカセットテープを取り出し、電源を切り、バッテリーを取りはずしてください。
ときどき電源を入れて動作を点検してください。

液晶画面について

■ 表面を強く押したり強い衝撃を与えないでください。
傷がついたり割れたりして故障の原因となることがあります。

■ 小さな光る点や黒い点が出ることがあります。
ファインダーや液晶画面には 99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の小さな光る点（赤、青、緑）や黒い点が出ることがあります。故障ではありません。
これらはテープやメモリーカードには記録されません。

時計用電池について

日時を記憶するために充電式の電池が内蔵されています。ビデオカメラに、バッテリーや AC アダプターなどの電源を接続すると常に充電されますが、ご購入時や、約 3ヵ月間使わずに保管していると電池が放電され、日時が消えてしまうことがあります。このようなときは、AC アダプターなどの電源を 24 時間以上接続してください。電源の入/切に関係なく電池が充電されますので、日時を合わせてビデオカメラをお使いください（☞ P.44）。日時を合わせなくても、ビデオカメラで撮影することはできます。

使用上のご注意

カセットテープおよびメモリーカードについて

■ 本機はDV方式のデジタルビデオカメラです。また、デジタルスチルカメラとしても使用できます。

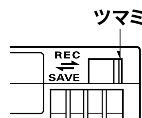
Mini DV

Mini DV マークの付いたデジタルビデオカセットテープをご使用ください。

MultiMediaCard マーク、または SD マークの付いたメモリーカードをご使用ください。

■ 大切な録画を消してしまわないように注意してください。

保存しておきたい録画済みカセットテープは、カセット背面にあるツマミを「SAVE」の矢印方向に引いてください（ツマミを「REC」の方向に引くと、再び録画できます）。



■ 事前に試し撮りをしてください。

大切な録画をするときは、事前に試し撮りを行い、正常に録画、録音されていることをご確認ください。

■ 内容の補償についてはご容赦ください。

万一、ビデオカメラ、カセットテープおよびメモリーカードなどの不具合により正常に録画、録音や再生ができなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ 権利者に無断で使用できません。

あなたがビデオカメラで録画、録音したビデオは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

■ 撮影を制限している場所があります。

鑑賞や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場所がありますのでご注意ください。

■ モザイク状のノイズが出る場合があります。

LPモードで録画されたカセットテープは、他のLPモードのあるデジタルビデオで再生した場合、モザイク状のノイズが出る場合があります。また、LPモードのないデジタルビデオでは正常に再生できません。

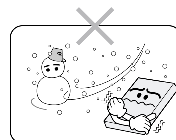
■ カセットテープおよびメモリーカードは湿気が少なく風通しのよい、カビの発生しない場所に保存してください。

■ メモリーカードは精密機器です。曲げたり、落としたり、強い力、衝撃、振動を与えないでください。

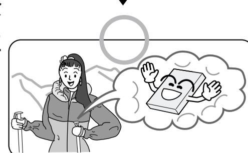
バッテリーについて

■ リチウムイオンバッテリーの特性

リチウムイオンバッテリーは小型で高容量のバッテリーです。しかし、冬場の屋外などの低温（10 ℃以下）でバッテリーが冷えている場合、バッテリーの使用時間が短くなる特性があり、動作しないことがあります。このような時は、バッテリーをポケットに入れるなどして温かくし、撮影前にビデオカメラに取り付けてください。カイロなどをご使用になっている場合は、直接カイロがバッテリーに触れないようにご注意ください。







■ リチウムイオンバッテリーの保存

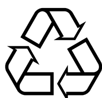
充電された状態で長期間保存すると、特性が劣化することがあります。
長期間保存する場合は、使い切った状態で保存してください。

① テープを入れずに電源を入れる
② ビデオカメラの電源が自動的に切れるまで待ってから、バッテリーを取りはずす

- 長期間保存する場合は、半年程度に一回充電し、再び使い切ってから保存してください。
- ビデオカメラを使用しないときは、必ずバッテリーをビデオカメラや AC アダプターから取りはずしてください。
  取り付けたままにしておくと、電源が切れていても微量の電流が流れていますので、やがて過放電になり使用できなくなる恐れがあります。
- ご使用にならないときは、バッテリーキャップを取り付けて保存してください。
- 涼しい所で保存してください。
- 周囲の温度が 15 ℃～ 25 ℃くらいの乾燥した所をお勧めします。
- 暑い所や極端に寒い所は避けてください。



リチウムイオンバッテリーのリサイクルについて



美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。
ご使用済みの電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

日常のお手入れ

ビデオカメラおよび別売プリンターの汚れを取る

バッテリー、AC アダプターまたは電源プラグをはずして電源を切ってから、次のようにお手入れしてください。

- 汚れを乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは水で薄めた中性洗剤に布を浸し、固く絞ってから汚れを拭きます。その後、乾いた布で水分を拭き取ってください。

ご注意

- ベンジンやシンナーは使用しないでください。損傷や故障の原因になります。
- 化学ぞうきんや洗剤をご使用になるときは、ご使用になる製品の注意書きに従ってください。
- ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

レンズや液晶画面の汚れを取る

■ レンズの汚れを取るには

市販のレンズブロワーでほこりを落とし、市販のクリーニングクロス、または市販のレンズクリーニングペーパーなどで汚れを落としてください。汚れたまま放置しておくと、カビなどが発生することがあります。

■ 液晶画面の汚れを取るには

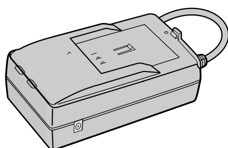
市販のレンズブロワーでホコリを落とし、市販のクリーニングクロスなどで汚れを落としてください。

アクセサリー一覧

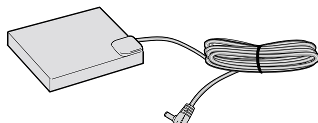
アクセサリーキット（別売）

ビデオカメラをご使用になるには、別売のアクセサリーキット（VU-P3KIT）をお買い求めください。

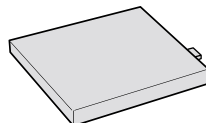
アクセサリーキット



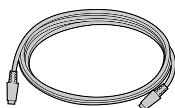
ACアダプター
AA-V100



DCコード
長さ：約2.0m



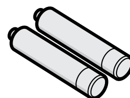
バッテリー
BN-V107



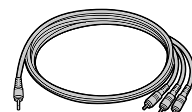
S映像コード
長さ：約1.5m
ドッキングステーションとS映像対応のテレビ、またはビデオデッキ接続用



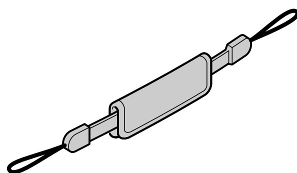
リモートコントロール
RM-V717（リモコン）



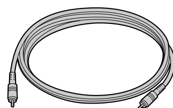
単4乾電池（2本）
（リモコン用電池確認用）



映像/音声コード（φ3.5）
▶φ3.5ミニプラグ
ピンプラグ×3
長さ：約1.5m
ビデオカメラとテレビ、またはビデオデッキ接続用



グリップベルト

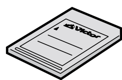


編集コード
長さ：約1.5m
自動編集用

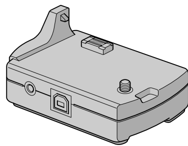


- 映像機器と接続したときにおきるノイズを軽減するために、付属のコードまたは別売のコード用としてフェライトコアが付属される場合があります。この場合、フェライトコアの付いている側の端子をビデオカメラ側に接続してください。
- 別売アクセサリーキットの取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 製品の形状は予告なく変更されることがあります。

アクセサリーキット　（つづき）



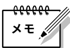
メモリーカード（1枚）
8MB SD Memory Card



ドッキングステーション
CU-V507

その他の別売アクセサリー：

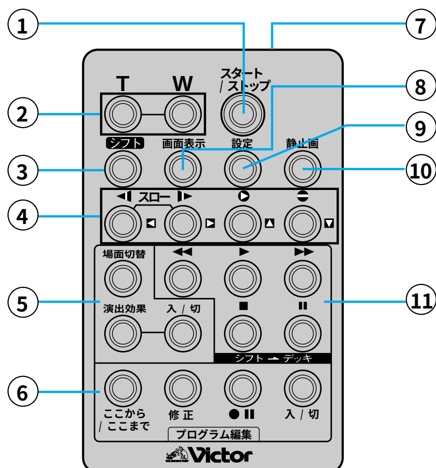
バッテリーパック	**BN-V114**	フロッピーディスクアダプター	**CU-V41**
バッテリーキット	**VU-V856KIT**	USB リーダー／ライター	**CU-V70**
バッテリーキット	**VU-V840KIT**	ビデオフラッシュ	**VL-F3**
DV ケーブル	**VC-VDV204**	オートビデオライト	**VL-V3**
マルチメディアカード（8 MB）	**CU-MM**	ステレオズームマイク	**MZ-V3**
マルチメディアカード（16MB）	**CU-MM**	デジタルビデオプリンター	**GV-DT5**
PC カードアダプター	**CU-V51**		

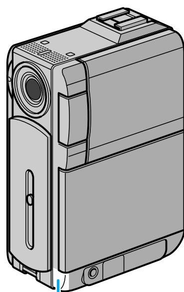


- 別売アクセサリーの詳細については、ビクタービデオカメラカタログを参照してください。

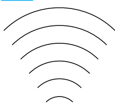
リモコン（別売）

別売アクセサリーキットのリモコンを使うと、ビデオカメラをはなれたところから操作できます。





リモコン
受光部

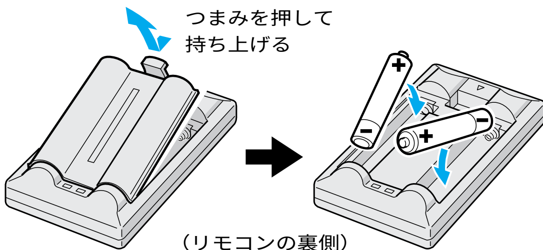




リモコンの操作方法

操作範囲は屋内で約 5m です。
ビデオカメラのリモコン受光部に向けて操作してください。角度によっては操作できない場合があります。また、ビデオカメラのリモコン受光部に直射日光や照明の強い光が当たると、ビデオカメラが誤動作したり、動作しないことがあります。

リモコン電池の入れかた



（リモコンの裏側）

アクセサリー一覧

	ボタン名		ボタンの機能	参　照
①		スタート/ストップボタン	撮影をスタートまたはストップする。	P.53
②	T	ズームボタン	映像が大きくなる。	P.52,118
	W	ズームボタン	大きくした映像が元に戻る。	
③		シフトボタン	拡大した再生映像を上下左右に動かす。	P.118,129
④	◀❙	スロー（逆転）ボタン/左ボタン	テープをスローで巻き戻し再生する。 再生ズームした映像を左に動かす。	P.61, 118
	❙▶	スロー（正転）ボタン/右ボタン	テープをスローで再生する。 再生ズームした映像を右に動かす。	P.61, 118
	▶	インサートボタン/上ボタン	インサート編集を行う。 再生ズームした映像を上に動かす。	P.118, 138
	⊖	アフレコボタン/下ボタン	アフレコ編集を行う。 再生ズームした映像を下に動かす。	P.118, 140
⑤		場面切替ボタン	自動編集中、場面切替効果を選択する。	P.90
		演出効果ボタン	再生中や自動編集中、プログラムAEの効果を選択する。	P.119
		演出効果 入/切ボタン	再生映像にプログラムAEの効果を加える。	P.96
⑥		ここから/ここまでボタン	自動編集の開始と終了を指定する。	P.132
		修正ボタン	自動編集を修正する。	P.134
	●❚❚	ビデオ準備ボタン	自動編集でビデオデッキを録画一時停止にする。	P.133
		入/切ボタン	自動編集表示画面を表示する。	P.132
⑦		リモートポーズ（入力） 端子	編集コードを接続する。	P.131
⑧		画面表示ボタン	テレビに出てくるメッセージを出したり、消したりする。	P.132
⑨		設定ボタン	編集に使用するビデオデッキのメーカーを設定する。	P.129
⑩		静止画ボタン	静止画を撮影する。	P.56
⑪	◀◀	巻戻しボタン	テープを巻き戻す。 前の静止画を再生する。	P.59 P.63
	▶	再生ボタン	テープを再生する。 静止画を連続再生で再生する。	P.59 P.63
	▶▶	早送りボタン	テープを早送りする。 次の静止画を再生する。	P.59 P.63
	■	停止ボタン	テープを停止する。 連続再生をやめる。	P.59 P.63
	❚❚	一時停止ボタン	テープを一時停止する。	–

保証とアフターサービス

保証書（別途添付しています）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から１年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、デジタルビデオカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低８年間保有しています。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口」にお問い合わせください。

修理を依頼される場合（持込修理）

178～184ページに従って調べてください。なお異常のあるときは、電源を切り、必ずバッテリーまたはACアダプターを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。本機、DVカセットテープなどの万一の不具合により、正常に録画・録音・再生ができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。

ご連絡していただきたい内容

品名	デジタルビデオカメラ
型名	GR-DVP3
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	
お名前	
電話番号	（　　）　ー

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店にて修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料修理させていただきます。

その他

愛情点検

●長年ご使用のビデオカメラ、プリンターの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。



このような症状はありませんか

●再生しても映像や音声が出ない。
●異常な臭いや音がする。
●水や異物が入った。
●その他の異常や故障がある。



ご使用を中止

故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください。

サービス窓口案内



ビクターサービス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご用命ください

ご贈答品等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29
	苫小牧S.S.	(0144)34-6682	053-0032	苫小牧市緑町2-7-11
	旭川S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路S.S.	(0154)24-0797	085-0036	釧路市若竹町6-13
	帯広S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函館S.S.	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町4-16函館あおば生命ビル1F
東北				
青森	青森S.C.	(0177)23-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸S.S.	(0178)44-4521	031-0804	八戸市青葉2-21-2
	弘前S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)28-4991	970-8034	いわき市平上荒川字桜町19-4
	会津若松S.S.	(0242)38-1355	965-0831	会津若松市表町1-44ハイツシンフォニー101号
	福島S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関東・甲信越				
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(025)241-4003	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	新潟S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下下条2-1366-1
	上越S.S.	(0255)45-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(026)221-7607	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	長野S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本S.S.	(0263)25-9165	390-0828	松本市庄内2-4-21
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(027)255-5982	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	前橋S.C.	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(028)635-2938	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	宇都宮S.C.	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	土浦S.C.	(0298)21-8756	300-0813	土浦市富士崎1丁目10-1
	水戸S.S.	(029)246-1560	310-0836	水戸市元吉田町1077
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(055)227-5773	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	甲府S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
千葉				
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	木更津S.S.	(0438)23-3035	292-0000	木更津市清見台2-1-3 グレイスビル1F
	柏S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
東京				
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原S.S	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	首都圏メンテナンスセンター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
埼玉				
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮S.C.	(048)654-5241	330-0037	大宮市東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
	川越S.S.	(0492)42-4496	350-1106	川越市小室491-1
神奈川				
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	横須賀S.S.	(0468)34-9261	239-0831	横須賀市久里浜6-4-1
	川崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
静岡				
静岡	静岡S.C.	(054)282-4141	422-8006	静岡市曲金6-5-28
	沼津S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
東海・北陸				
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河S.C.	(0564)26-1005	444-2133	岡崎市井ノ口町字河原西31-1
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1
岐阜	岐阜S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町4丁目1-3
石川	金沢S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本4丁目65-17
福井	福井S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211

・所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

0101

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
近畿				
滋賀	滋賀S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31番地の1
京都北部	福知山S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良S.S.	(07442)4-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	大阪南S.C.	(06)6768-5489	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16
	堺S.C.	(0722)54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	大阪メンテナンスセンター	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
中国				
岡山	岡山S.C.	(086)243-1566	700-0926	岡山市西古松西町8-23
広島	広島S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山S.S.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口S.C.	(0839)73-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下関S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
四国				
香川	高松S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島S.C.	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知S.S.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松山S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
	新居浜S.S.	(0897)67-1030	792-0881	新居浜市松神子2-2-25
九州・沖縄				
福岡	福岡S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米S.S.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州S.C.	(093)921-3981	802-0065	北九州市小倉北区三萩野2-9-3
佐賀	佐賀S.S.	(0952)26-8785	840-0023	佐賀市本庄町大字袋265-1
長崎	長崎S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分S.C.	(097)543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見8-1-10
宮崎	宮崎S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上7丁目9-8
沖縄	沖縄S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16
山陰				
島根	山陰ビクター販売(株)サービスセンター（松江・米子担当）	(0852)31-8900	690-0823	松江市学園1丁目16-39
	出雲営業所サービス係	(0853)21-4611	693-0001	出雲市今市町854
	浜田営業所サービス係	(0855)22-1584	697-0023	浜田市長沢町671-1
鳥取	鳥取営業所サービス係	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1

●海外主要都市でのビデオムービーご相談窓口

カナダ　JVC CANADA INC.
・トロント　〔416-293-1311〕
21 Finchdene Square, Scarborough, Ontario M1X 1A7

アメリカ　JVC SERVICE & ENGINEERING COMPANY OF AMERICA
・ロサンゼルス　〔714-229-8011〕
5665 Corporate Avenue Cypress, CA 90630-0024
・ニュージャージー　〔973-396-1000〕
10 New Maple Avenue, Pine Brook, NJ 07058-9641
・ホノルル　〔808-833-5828〕
2969 Mapunapuna Place, Honolulu, HI 96819-2040

イギリス　JVC（U.K.）LIMITED
・ロンドン　〔0208-450-3282〕
JVC BUSINESS PARK, 14 Priestley Way, London NW2 7BA

フランス　JVC FRANCE S.A.
・パリ　〔01-61-04-11-11〕
1, Avenue, Eiffel 78422 Carrieres Sur Seine Cedex

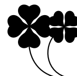
シンガポール　JVC ASIA PTE. LTD.
・シンガポール　〔255-8155〕
31Kaki Bukit Road 3, #06-18 Techlink, Singapore 417818

（注）・その他の地域に関しては、おでかけの前にお客様ご相談センターにご相談ください。・海外では日本の保証書は適用されません。
・日本語での対応はできないサービスセンターもございます。

●ビクター製品についてのご相談窓口

お買物相談、お取扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は、下記にご相談ください。

お客様ご相談センター	(03)5684-9311	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7　ビクター本郷ビル
	(06)6765-4161	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16　大阪ビクタービル



こころのかよう
サービス

サービスネットワークＢＳ　9001

海外でお使いになるときは

本機は海外でも使用可能です

別売の AC アダプターを使ってバッテリーを充電したりコンセントから直接電源を確保できます。ただし、コンセントの形状は国によって異なります。訪問国のコンセントに合った変換プラグをご用意ください。詳細は旅行代理店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

コンセントの形状と使用する変換プラグ

コンセントの形状					
使用する変換プラグ	ACパワーアダプターのプラグを直接、差し込みます。 主に北米、南米など	主にオーストラリア	主にヨーロッパ		

現地のテレビで再生画像を見る

NTSC 方式の映像、音声入力端子付きテレビが必要です。NTSC 方式を採用している国、および地域は以下の通りです。

- アメリカ合衆国
- プエルトリコ
- バルバドス
- キューバ
- フィリピン
- チリ
- コロンビア
- 台湾
- バミューダ
- バハマ
- カナダ
- 米領サモア
- 韓国
- コスタリカ
- メキシコ
- ニカラグア
- パナマ
- エルサルバドル
- ペルー
- グアム
- グァテマラ
- ミクロネシア
- スリナム
- ハイチ
- エクアドル
- ベネズエラ
- ミャンマー
- ボリビア
- ホンジュラス
- ドミニカ
- トリニダード・トバコ



- **再生できるテープは**
  日本と同じ NTSC 方式で撮影したミニ DV テープが再生できます。
- **海外で故障したときは**
  「サービス窓口案内」（☞ P.194）の「海外主要都市でのビデオムービーご相談窓口」にご相談ください。日本語での対応ができない窓口もあります。海外では日本の保証書は適用されません。
  その他の地域に関しては、日本にお持ち帰りになった後、お買い上げ販売店にご相談ください。

主な仕様

一般

項　　目	仕　　様
電源	DC 6.3 V（ACアダプター使用時）DC 7.2 V（バッテリー使用時）
消費電力	4.1 W（ファインダー使用時）、5.0 W（液晶画面使用時）
外形寸法	43 mm × 115 mm × 80 mm（幅×高さ×奥行き）
質量	本体質量　約 340 g 撮影時質量　約 410 g （グリップベルト、バッテリーBN-V107、カセットM-DV30ME含む）
許容動作温度	0 °C ～ 40 °C
許容相対湿度	35 % ～ 80 %
許容保存温度	–20 °C ～ 50 °C

カメラ部

項　　目	仕　　様
撮像素子	1/4型 68万画素CCD （撮像エリア 34万画素）
レンズ	F1.8、f=3.7 mm ～ 37 mm （35 mmカメラ換算：47.5 mm ～ 475 mm）
ズーム倍率	光学10倍、最大200倍（デジタル使用）
最低照度	9ルクス

※各種フィルターおよびコンバージョンレンズの取り付けはできません。

主な仕様

液晶画面／ファインダー部

項　　目	仕　　様
液晶画面	2.0型、20万画素　ポリシリコンカラー液晶
ファインダー	0.44型、11万3千画素　ポリシリコンカラー液晶

デジタルビデオカメラ部

項　　目	仕　　様
録画／再生方式	DV方式（SD仕様） 映像：デジタルコンポーネント記録 音声：PCMデジタル記録、32 kHz 4チャンネル（12BIT)、 48 kHz 2チャンネル（16BIT）、44.1kHz（再生のみ）
信号方式	NTSC日米標準信号方式
使用カセット	ミニDVカセット
録画／再生時間	SPモード：80分、LPモード：120分（DVM80テープ使用時）
早送り／巻き戻し時間	約3分（DVM60テープ使用時）

デジタルスチルカメラ部

項　　目	仕　　様
記憶メディア	マルチメディアカード、SDメモリーカード
圧縮方式	JPEG準拠
画像サイズ	XGA（1024×768ドット） VGA（640×480ドット）
画質	2モード（ファイン／スタンダード）
撮影可能枚数	VGA（ファイン：約37枚、スタンダード：約105枚） XGA（ファイン：約16枚、スタンダード：約51枚） アクセサリーキット（VU-P3KIT）に付属の SDメモリーカード［8MB］使用時

端子部

項　　目	仕　　様
DV入力／出力端子※1	4ピン（i.LINK／IEEE1394準拠）
S2（映像）出力端子※2	アナログ出力（Y:1.0 V(p-p)、75Ω　C:0.29 V(p-p)、75Ω）
AV出力端子※1	φ3.5 mmミニジャック 映像： アナログ出力（1.0 V(p-p)、75Ω） 音声： ステレオ／アナログ出力（300 mVrms、1 kΩ）
ヘッドホン端子※2	φ3.5 mmミニジャック
編集端子※2	φ3.5 mmミニジャック
USB端子※2	Bタイプ

※1 ビデオカメラ本体のみに装備
※2 ドッキングステーションのみに装備

●仕様および外観は、改良のため予告無く変更することがありますので、ご了承ください。

- ビデオカメラは、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。
  ビデオカメラは、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。この取扱説明書に従って正しく取り扱いをしてください。

メニュー一覧

撮影時

電源ダイヤルを「M」に設定し、「メニュー」ボタンを押すと表示されます。

アイコン	メニュー
	場面切替 切 フェーダー：白 フェーダー：黒 フェーダー：白黒 モザイク ワイプ：コーナー ワイプ：ウィンドウ ワイプ：スライド ワイプ：ドア ワイプ：スクロール ワイプ：シャッター P オーバーラップ P ワイプ：コーナー P ワイプ：ウィンドウ P ワイプ：スライド P ワイプ：ドア P ワイプ：スクロール ワイプ：シャッター
	プログラムAE 切 A ナイトアイ★ 2 高感度 10倍 1 高感度 4倍 1/60 シャッター1/60 1/100 シャッター1/100 スポーツ スノー スポットライト 夜景 セピア B/W 白黒 映画効果 ストロボ ゴースト

アイコン	メニュー
	白バランス オート ワンタッチ はれ くもり ハロゲン

■ は初期値

★ お買い上げ時には「ナイトアイ」に設定されています。

■■■は初期値

アイコン	メニュー	サブメニュー		
A	**フルオート**			
	録画モード	SP	LP	
	音声モード	12BIT	16BIT	
	ズーム	10倍	40倍	200倍
	記念写真モード	ピンナップ	フレーム	フル
		4マルチ	9マルチ	
	感度アップ	切	AGC	オート
	戻る			
M	**マニュアル**			
	手ぶれ補正	切	入	
	5S	切	5S	アニメ
	テレマクロ	切	入	
	ワイド効果	切	シネマ	ワイド
	ボイスポジション	切	入	
	戻る			
	システム			
	ブザー	切	ブザー	メロディー
	タリー	切	入	
	デモモード	切	入	
	プリセット	キャンセル	実行	
	音声入力切替	マイク	効果音	
	戻る			
	日時／表示			
	画面表示切替	モニター	モニター/TV	
	日時表示	切	オート	入
	タイムコード	切	入	
	年月日時計合わせ			
	戻る			
	静止画撮影			
	画質設定	ファイン	スタンダード	
	画像サイズ	VGA	XGA	
	記録選択	➡	➡／➡M	
	戻る			
	終　了			



- アイコンが青く点滅しているとき、またはアイコンが表示されないときは、その機能は動作しません。

索引

メニュー一覧

再生時

電源ダイヤルを「見る」に設定し、「メニュー」ボタンを押すと表示されます。
「メモリー再生モード」を選択するには、電源ダイヤルを「見る」に設定したあと、モード選択スイッチを「メモリー」に合わせて静止画を再生できる状態にしてください。

■ は初期値

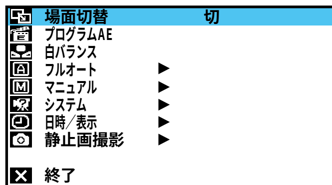
アイコン	メニュー	サブメニュー		
	ビデオ再生モード			
	音声切替	**ステレオ**	音声L	音声R
	12BIT音声	**ミックス**	音声1	音声2
	シンクロ補正	－1.3～ **±0.0** ～＋1.3		
	録画モード	**SP**	LP	
	➡ コピー	**切**	入	
	戻る			
	システム			
	ブザー	切	ブザー	**メロディー**
	タリー	切	**入**	
	デモモード	切	**入**	
	プリセット	**キャンセル**	実行	
	音声入力	**マイク**	効果音	
	戻る			
	日時／表示			
	画面表示切替	モニター	**モニター/TV**	
	日時表示	切	**オート**	入
	タイムコード	**切**	入	
	戻る			
	メモリー再生モード			
	プロテクト	（プロテクト画面を表示します）		
	削除	**キャンセル**	表示画像	選択　すべて
	DPOF設定	**選択**	すべて1枚	リセット
	フォーマット	**キャンセル**	実行	
	終　了			

メニューの使い方

ここでは、撮影時のメニューを例に使い方を説明します。

1 「メニュー」ボタンを押す

次の画面が表示されます。

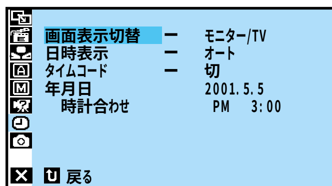


2 「＋」・「－」ボタンでメニューを選択する

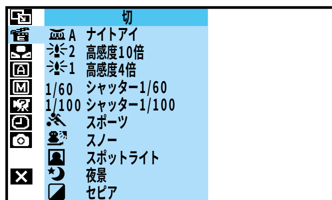
3 「決定」ボタンを押す

メニューの最初の項目が選択されます。

サブメニュー有：



サブメニューなし：



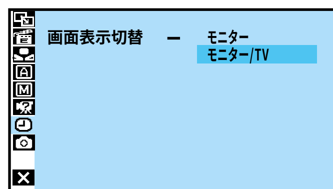
4 メニューから項目を選択する

- **サブメニューなし**

→手順 7 へ進みます

5 「決定」ボタンを押す

サブメニューが表示されます。



6 サブメニューの項目を選択する

7 「決定」ボタンを押す

8 元の画面に戻る

- **「終了」が選択されているとき**

→「決定」ボタンを押します。

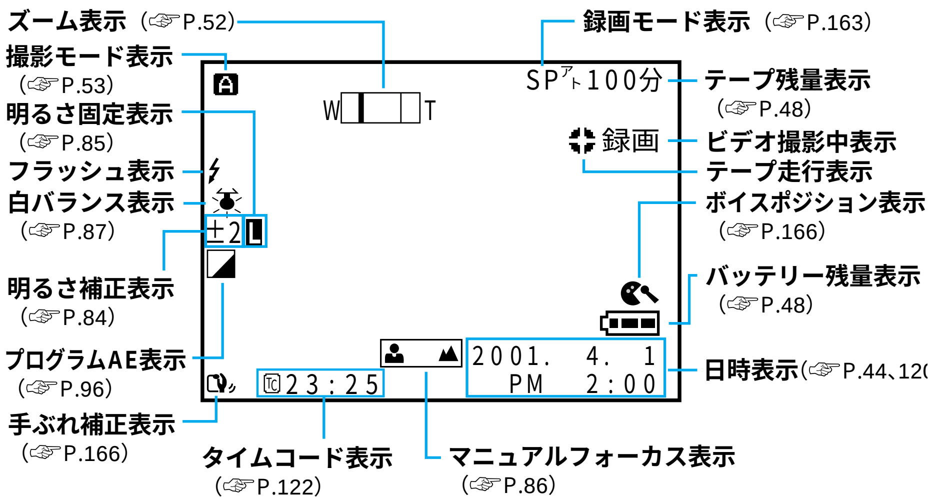
- **「戻る」が選択されているとき**

→「決定」ボタンを 2 回押します。

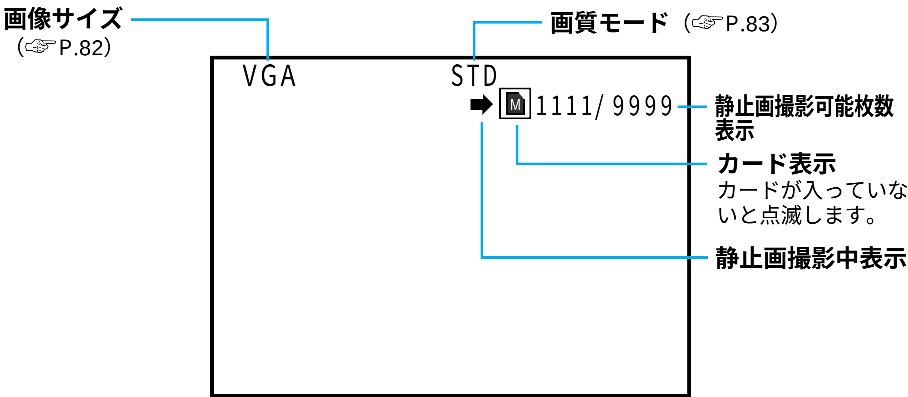
画面表示の見かた

撮影時の表示

ビデオ撮影



静止画撮影

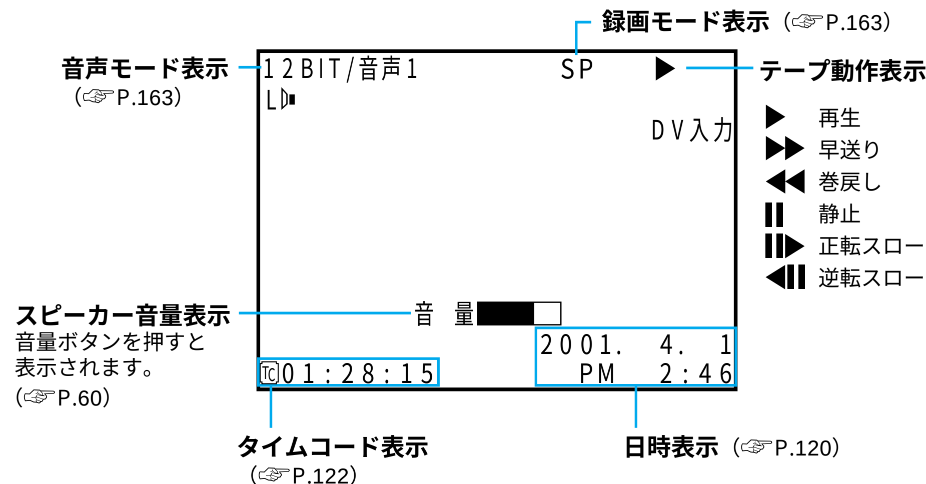




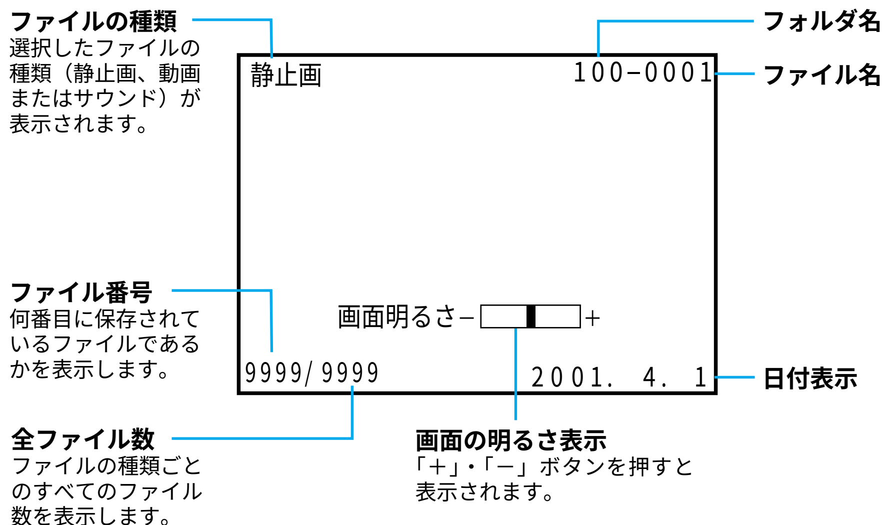
- **アイコンが青く点滅しているとき、またはアイコンが表示されないときは、その機能は動作しません。**

再生時の表示

ビデオ再生



メモリー再生



画面表示の見かた

撮影／再生時の確認表示

メッセージ	対処	参照
E01～E06　セーフティーが働きました バッテリーを外して付け直して下さい	バッテリーと電源をはずしてつけなおしてください	**P.**180
ツユが付きました しばらくお待ち下さい	１時間以上待ってください	**P.**183
ヘッドが汚れています クリーニングカセットをためして下さい	クリーニングカセットを使用してください	**P.**182
インサート録画できません	カセットのツマミが「REC」側になっていることを確認してください 録画モードを SP にして撮影したテープに交換してください	**P.**186 **P.**54, 163
音声 16BIT(12BIT)	撮影時の音声モードを表示しています	**P.**163
音声アフレコできません	カセットのツマミが「REC」側になっていることを確認してください 録画モードを SP、音声モードを 12BIT にして撮影したテープに交換してください	**P.**186 **P.**54, 163
カードエラーです	メモリーカードを入れなおしてください メモリーカードを交換してください	**P.**37
記録された静止画（動画／サウンド）がありません	メモリーカードに静止画、または動画、サウンドを記録してください	**P.**56
このテープは録画できません テープのツマミを確認して下さい	カセットのツマミを「REC」側にしてください	**P.**186
コピーガードがかかっています	再生側のテープを交換してください	**P.**35
再生できません ライトプロテクトがかかっています	SD メモリーカードのライトプロテクトをはずしてください	**P.**38
サウンドファイルがありません	サウンドファイルの記録されたメモリーカードに交換してください メモリーカードにサウンドファイルをコピーしてください	**P.**37 **P.**150
しばらくお待ち下さい	しばらくお待ちください	－
テープおわり	テープを交換してください	**P.**35
テープがちがいます！	正しいテープと交換してください	**P.**35
テープを入れて下さい！	テープを入れてください	**P.**35
日時を設定して下さい！	日時を設定しなおしてください	**P.**44

メッセージ	対処	参照
メモリーがいっぱいです	メモリーカードを交換するか、ファイルを削除してください	**P.**37, 70
メモリーカードへ記録できません	メモリーカードを交換するか、ファイルを削除してください SD メモリーカードのライトプロテクトをはずしてください	**P.**37, 70 **P.**38
メモリーカードを入れて下さい！	メモリーカードを入れてください	**P.**37
メモリーカードをフォーマットして下さい！（未フォーマット！）	メモリーカードを初期化（フォーマット）してください	**P.**175
ライトプロテクトがかかっています	メモリーカードを交換するか、SD メモリーカードのライトプロテクトをはずしてください	**P.**37, 38
レンズカバー	レンズカバーを開けてください 明るい場所で撮影してください	**P.**42

五十音順索引

■な■

■は■

■ま■

■や■

■ら■

■わ■

■アルファベット/数字■

メモ

Tokyo Video Festival
An International Video Contest for the People Around the World
東京ビデオフェスティバル

■「東京ビデオフェスティバル」は日本ビクターが主催するどなたでも参加できる国際的ビデオフェスティバルです。審査は著名な映画監督、俳優、作家の方々によって行われます。
■入賞作品のダイジェスト動画映像はビクターホームページでご覧いただけます。

■お問い合わせ先
日本ビクター株式会社　東京ビデオフェスティバル事務局
〒105-0004 東京都港区新橋1-7-1 ビクタービル内
☎03-3289-2815 Fax: 03-3289-2819
E-mail: jvc-tvf1@mb.kcom.ne.jp　（2001年3月現在）

製品についてのご相談や修理のご依頼は

お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング**	本製品についての技術的なお問い合わせは **DVご相談窓口**
194〜195ページをご覧ください。	**☎(045)450-2770**

お買い物情報や製品についての全般的なご相談
お客様ご相談センター

東京	大阪
東京 ☎(03) 5684-9311 〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル	**大阪 ☎(06) 6765-4161** 〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

ビクターホームページ　http://www.jvc-victor.co.jp/



JVC
日本ビクター株式会社



ホームAVネットワークビジネスユニット
〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地



0201FOV＊HT＊VP